

HANDBOOK

2022

本学園で学ぶ人のために

学校法人 山口学園
ECC国際外語専門学校

CONTENTS

学校法人山口学園	山口学園の理念		2
	山口学園の沿革		2
ECC 国際外語専門学校	教育目的		4
	教育目標、ディプロマポリシー、カリキュラムポ リシー		5
	学則		24
	学校法人山口学園 教務規約		30
	学校生活の基本ルール		39
	留学規定		40
	連絡窓口、事務局		43
	産能短大 併修関連		46
学校生活にあたって	授業・単位・試験について		47
	学費・奨学金制度		49
	学生証・学籍番号・通学定期券など		50
	こんな時は？		52
	各種申請手続		54
	災害対策マニュアル		56
	個人情報保護に関する基本方針		57
	学生相談室・保健室		58
	ECC 社会貢献・国際交流センター		59
	山口学園の Global 教育		61
	3 校共通 検定・資格単位認定数一覧		64
就職活動に備えて	就職活動に備えて		66
	就職指導スケジュール		67
施設の利用	ECC 国際外語専門学校 施設の利用		69
	アーティスト美容専門学校学内サロン紹介		71
山口学園校舎案内図	山口学園校舎案内図		72
	ECC 国際外語専門学校 校舎案内図		73
	ECC 国際外語専門学校 年間スケジュール		83
	学科・コース一覧		95

学校法人 山口学園

山口学園の理念

実践的な専門知識の教育と技能の習得を通じて、社会が求むところの高度専門職業人の養成、且つ、豊かな社会、平和と幸福を希求してやまないところ豊かな社会人の育成をはかる。

山口学園の沿革

- | | |
|--------|--|
| 1962 年 | 大阪市住吉区に ECC 外語学院創設 |
| 1970 年 | ホノルル市長杯全日本 ECC 英語弁論大会を開催 |
| 1971 年 | 5 月 ホノルル市長杯全日本青少年英語弁論大会を開催 10 月 ECC 教育研究所開設 |
| 1983 年 | 11 月 学校法人山口学園設立認可 |
| 1984 年 | 2 月 学校法人山口学園「国際外語専門学校」設立（現：ECC 国際外語専門学校設立） |
| 1986 年 | 高度情報化社会に対応する人材育成を基本理念に ECC コンピュータ学院・大阪校を設立 |
| 1987 年 | 7 月 ECC ビジネス学院設立 |
| 1989 年 | 4 月 ECC コンピュータ学院・大阪校新校舎完成 |
| 1992 年 | 4 月 ECC 国際外語専門学校・新校舎増築 |
| 1997 年 | 4 月 ECC コンピュータ学院・大阪校を前身に、学校法人山口学園「ECC コンピュータ専門学校」（大阪府認可の専修学校）を設立 |
| 1999 年 | 4 月 ECC ビジネス学院を ECC カレッジグループへと発展改称 |
| 2001 年 | 4 月 社会貢献活動を具体化するため、ECC 国際外語専門学校にボランティアセンターを設置 |
| 2003 年 | 4 月 ECC カレッジグループの ECC アーティストカレッジ・大阪校を前身に、学校法人山口学園「ECC アーティスト専門学校」（大阪府認可の専修学校）を開校 |
| 2004 年 | 3 月 ECC アーティスト専門学校・第2校舎完成
4 月 ECC 国際外語専門学校ボランティアセンターを起源とし、「ECC 社会貢献センター」を設立 |

- 2005 年 3 月 ECC コンピュータ専門学校・第3校舎完成／
ECC 国際外語専門学校・大阪梅田（中崎町）に新校舎完成・移転
- 2006 年 4 月 ECC アーティスト専門学校に美容師国家資格の取得を目指す「美容科」
（全日制・2年間・厚生労働省認可）を新設
- 2008 年 4 月 ECC アーティスト専門学校に美容師国家資格の取得を目指す「美容科通信課程」
（通信制・3年間・厚生労働省認可）を新設
- 2014 年 2 月 ECC 国際外語専門学校エアライン学科、ホテル・観光学科、ECC コンピュータ専門学校
高度情報処理研究学科、ECC アーティスト専門学校トータルビューティ学科、
アーティスト学科、美容科が文部科学大臣より職業実践専門課程に認定
- 2015 年 2 月 ECC コンピュータ専門学校マルチメディア研究学科が、文部科学大臣より
職業実践専門課程に認定
- 2016 年 2 月 ECC 国際外語専門学校こども教育研究学科、ECC コンピュータ専門学校
マルチメディア学科が文部科学大臣より職業実践専門課程に認定。
- 2016 年 4 月 ECC アーティスト専門学校が、ECC アーティスト美容専門学校に校名変更。
- 2017 年 4 月 ECC 国際外語専門学校・第3校舎完成
- 2018 年 9 月 ECC アーティスト美容専門学校・第3校舎完成
- 2021 年 4 月 ECC コンピュータ専門学校・第4校舎完成
ECC コンピュータ専門学校「高等部」（全日制・3年間）を新設

ECC国際外語専門学校

■教育目的■

本学は学校教育法及び教育基本法に基づき、語学ビジネス専門教育を通じて、実社会に有用な人材の育成を目的とする。以て国際間の人々の交流と相互理解を促進し、世界の文化向上とその恒久平和樹立に寄与したい。

In faithfully adhering to the principles of the Fundamental Law of Education and the School Education Law set forth by the Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology, it is the aim of our language and business courses to foster personal development, an international outlook and practical capabilities combined with leadership. In this way, we hope to promote mutual understanding and international exchange among peoples, and thus contribute to the development of the culture of the world and to the establishment of perpetual peace on earth.

■ECC国際外語専門学校 教育目標■

『国際派進路の実現』

本格的なグローバル社会と仕事のステージの長期化を生き抜く人財を育成するために下記の4つの「力」を養う。

（専門力）

業界や進学先から求められる専門性の高い知識、高度な接客技術やマナーに加え、問題解決力や幅広い視野、トレンドを察知する能力を養う。

企業連携を通じて最新の知識や技能を身につけられる実践的な職業教育に取り組む。

（国際力）

日々の語学学習や資格取得を通じて高い言語能力と海外留学、語学研修、留学生との交流を通じて、異文化を理解し、幅広い世界観や国際感覚を養う。

（人間力）

社会貢献活動などを通じて奉仕の心や他者を理解すること、自らの考えを発信する力、リーダーシップ、協調性、責任感、問題解決力を養う。

（ICT 活用力）

21 世紀の知識基盤社会において、情報を知識として有効活用できる ICT 活用力を養う。

■ECC国際外語専門学校 ディプロマポリシー■

ECC 国際外語専門学校は山口学園の理念、本校の教育目的、教育目標に基づくカリキュラムを履修し、卒業に必要な単位を修めかつ卒業までに指定された科目を修得した学生に対して、卒業を認定する。

（専門力）

業界や進学先から求められる専門性の高い知識を有し、高度な接客技術やマナーを実践できるようになる。

（国際力）

グローバル社会に対応した高い言語能力と幅広い世界観や国際感覚を身につけ意思疎通を図れるようになる。

（人間力）

柔軟な思考力を持ち、多様な意見を受け入れつつ、自身の意見を発信できるようになる。

（ICT 活用力）

ICT を活用し職務遂行上の課題や問題を自身が保有する知識や技能を発揮して解決することができるようになる。

■ E C C 国際外語専門学校 カリキュラムポリシー ■

E C C 国際外語専門学校では、山口学園の理念・本校の教育目的および教育目標に基づき、実社会が求める人財像等も踏まえながらカリキュラムを編成する。ディプロマポリシーに掲げる力を身に付けるために、以下の意図を以てカリキュラムを編成している。

（教育内容）

コース専門科目と共通英語科目、コース独自の課外プログラムを通じて、専門力・国際力・人間力・I C T 活用力を身に付ける。コース専門科目では、目指す業界や進学先に必要な技能や知識を養う。共通英語科目「聞く」「話す」「読む」「書く」の英語の4技能に加え、自ら探求し、自分の考えを深め、思いを発信する自律3技能「調べる」「考える」「伝える」の全7技能を養う。

（教育方法）

- ・ 目指す業界や進学先で求められる知識・教養や技術を身に付ける。（1 年次～卒業年次）
- ・ 業務や進学先で求められる語学運用能力を身に付ける。（1 年次～卒業年次）
- ・ 企業訪問や国内外でのインターンシップ、G E A (プレゼンテーションコンテスト)、ボランティア活動、海外留学などを通して、傾聴する力や自身の発信力、積極性を身に付ける。（1 年次～卒業年次）
- ・ オフィス系科目の学習やオンラインコンテンツへの取り組み、L M S の利活用を通じて、デジタルデバイスを活用した問題解決力を身に付ける。（1 年次～卒業年次）

国際キャリア学科 海外インターンシップコース

■国際キャリア学科 海外インターンシップコース 教育目標■

海外のビジネスで通用する異文化対応力とコミュニケーション力を有し、目指す業界で求められている知識と、ビジネススキルを実践できる人財育成を目的とする。

■国際キャリア学科 海外インターンシップコース ディプロマポリシー■

本コースの教育目標を達成するため、次に掲げる資質・能力を備え、卒業に必要な単位を修めた者に卒業を認定する。

（専門力）

- ・ 目指す業界に必要な専門知識を有し、実践的なビジネススキルを使いこなせるようになる。
- ・ 海外での就労体験や生活を通じて主体的な行動ができ、柔軟に物事を捉え、批判的な考察、論理的な思考ができるようになる。

（国際力）

- ・ グローバル社会に対応した高い英語運用能力を身に付け、自在に意思疎通を図ることができるようになる。

（人間力）

- ・ 柔軟な思考力を持ち、多様な意見を受け入れつつ、自身の意見を発信できるようになる。

（ICT活用力）

- ・ ICTを活用し職務遂行上の課題や問題を自身が保有する知識や技能を発揮して解決することができるようになる。

■国際キャリア学科 海外インターンシップコース カリキュラムポリシー■

ディプロマポリシーに掲げる力を身に付けるために、以下の意図をもってカリキュラムを設定している。

（教育内容）

コース専門科目では、目指す業界に必要な技能や知識を養うと共に、海外で働くための主体性を身に付ける。共通英語科目「聞く」「読む」「話す」「書く」の英語の4技能に加え、自ら探求し、自分の考えを深め、思いを発信する自律3技能「調べる」「考える」「伝える」の全7技能を養う。

（教育方法）

- ・ 目指す業界の現状や企業について、理解を深めるとともに、海外で働くための知識や主体性を身に付ける。
- （1 年前期）
- ・ 資格取得を通じて、業務で求められる英語運用能力を身に付ける。（1 年前期～3 年後期）
 - ・ 留学を通して、語学運用能力を高めるとともに、海外生活の中で自主的に行動できる力を身に付ける。（2 年前期～2 年後期）
 - ・ 海外での就業経験等を通じて、社会人としての責任感やグローバル社会で求められるコミュニケーション力を身に付ける。（2 年前期～2 年後期）
 - ・ 企業訪問やインターンシップ、G E A (プレゼンテーションコンテスト)、ボランティア活動、海外留学な

どを通して、傾聴する力や自身の発信力、積極性を身に付ける。(1 年前期～3 年後期)

・オフィス系科目の学習やオンラインコンテンツへの取り組み、LMSの利活用を通じて、デジタルデバイスを活用した問題解決力を身に付ける。(1 年前期～3 年後期)

国際キャリア学科 グローバル英語コース

■国際キャリア学科 グローバル英語コース 教育目標■

グローバルな視野と高いコミュニケーション力を有し、多文化共生社会に寄与する人財育成を目的とする。

■国際キャリア学科 グローバル英語コース ディプロマポリシー■

本コースの教育目標を達成するため、次に掲げる資質・能力を備え、卒業に必要な単位を修めた者に卒業を認定する。

(専門力)

・主体性、想像力、柔軟性、批判的考察力、論理的思考能力を身に付け、多文化共生社会の中で柔軟なコミュニケーションができるようになる。

(国際力)

・グローバル社会に対応した高い英語運用能力を身に付け、自在に意思疎通を図ることができるようになる。

(人間力)

・柔軟な思考力を持ち、多様な意見を受け入れつつ、自身の意見を発信できるようになる。

(ICT活用力)

・ICTを活用し職務遂行上の課題や問題を自身が保有する知識や技能を発揮して解決することができるようになる。

■国際キャリア学科 グローバル英語コース カリキュラムポリシー■

ディプロマポリシーに掲げる力を身に付けるために、以下の意図をもってカリキュラムを設定している。

(教育内容)

コース専門科目では、ビジネスの場で活用できる英語表現やスキルを養う。共通英語科目「聞く」「読む」「話す」「書く」の英語の4技能に加え、自ら探求し、自分の考えを深め、思いを発信する自律3技能「調べる」「考える」「伝える」の全7技能を養う。

(教育方法)

・豊富な英語のアウトプット学習を通じて、発話力、コミュニケーション力を身に付ける。(1 年前期～1 年後期)

・社会で起こっている事象に関心を持ち、意見を発信する力を身に付ける。(1 年前期～1 年後期)

・ボランティア活動に従事し、経験値を高め、成果物を創出する力を身に付ける。(1 年前期～1 年後期)

・日常英会話だけでなく、ビジネス社会で運用する語彙力・表現力・対応力を身に付ける。(1 年前期～3 年後期)

・資格取得を通じて、グローバル社会に対応した英語運用能力を身に付ける。(1 年前期～3 年後期)

- ・一般常識、教養レベルの向上にも取り組み、関連する資格を取得する力を身に付ける。(1 年前期～3 年後期)
- ・企業訪問やインターンシップ、G E A (プレゼンテーションコンテスト)、ボランティア活動、海外留学などを通して、傾聴する力や自身の発信力、積極性を身に付ける。(1 年前期～3 年後期)
- ・オフィス系科目の学習やオンラインコンテンツへの取り組み、L M S の利活用を通じて、デジタルデバイスを活用した問題解決力を身に付ける。(1 年前期～3 年後期)

国際キャリア学科 国際エアラインコース

■国際キャリア学科 国際エアラインコース 教育目標■

グローバルな視野と高いコミュニケーション力を有し、エアライン業界で求められている知識と、ホスピタリティを実践することができる人財育成を目的とする。

■国際キャリア学科 国際エアラインコース ディプロマポリシー■

本コースの教育目標を達成するため、次に掲げる資質・能力を備え、卒業に必要な単位を修めた者に卒業を認定する。

(専門力)

- ・エアライン業界で求められている知識や教養を習得するとともに、接客技術・マナーを実践できるようになる。

(国際力)

- ・グローバル社会に対応した高い英語運用能力を身に付け、自在に意思疎通を図ることができるようになる。

(人間力)

- ・柔軟な思考力を持ち、多様な意見を受け入れつつ、自身の意見を発信できるようになる。

(ICT活用力)

- ・ICTを活用し職務遂行上の課題や問題を自身が保有する知識や技能を発揮して解決することができるようになる。

■国際キャリア学科 国際エアラインコース カリキュラムポリシー■

ディプロマポリシーに掲げる力を身に付けるために、以下の意図をもってカリキュラムを設定している。

(教育内容)

コース専門科目では、目指す業界に必要な専門的スキルや知識を身につける。共通英語科目「聞く」「読む」「話す」「書く」の英語の4技能に加え、自ら探求し、自分の考えを深め、思いを発信する自律3技能「調べる」「考える」「伝える」の全7技能を養う。

(教育方法)

- ・豊富な英語のアウトプット学習を通じて、発話力、コミュニケーション力を身に付ける。(1 年前期～1 年後期)
- ・異文化や世界情勢を理解し、国際感覚を持ったコミュニケーション能力を身に着ける。(1 年前期～1 年後期)

- ・エアライン業界の現状や、業界の企業について深い知識を身につける。(1 年前期～2 年前期)
- ・キャビンアテンダントやグランドスタッフの具体的な業務を理解し、実務を行うスキルを身につける。(2 年後期)
- ・資格取得を通じて業務で使う高い英語運用能力、第二外国語運用能力を身に付ける。(1 年前期～3 年後期)
- ・接客業に不可欠なマナーや教養を、資格取得を通じて身に付ける。(1 年前期～3 年後期)
- ・エアライン業界に求められる人材について理解するとともに、教養を身に付け、それを体現できる力を身に付ける。(2 年後期～3 年後期)
- ・企業訪問やインターンシップ、GEA(プレゼンテーションコンテスト)、ボランティア活動、海外留学などを通して、傾聴する力や自身の発信力、積極性を身に付ける。(1 年前期～3 年後期)
- ・オフィス系科目の学習やオンラインコンテンツへの取り組み、LMSの利活用を通じて、デジタルデバイスを活用した問題解決力を身に付ける。(1 年前期～3 年後期)

国際キャリア学科 国際ホテルコース

■国際キャリア学科 国際ホテルコース 教育目標■

グローバルな視野と高いコミュニケーション力を有し、ホテル業界で求められている知識と、ホスピタリティを実践することができる人財育成を目的とする。

■国際キャリア学科 国際ホテルコース ディプロマポリシー■

本コースの教育目標を達成するため、次に掲げる資質・能力を備え、卒業に必要な単位を修めた者に卒業を認定する。

(専門力)

- ・ホテル業界で求められている知識や教養を習得するとともに、接客技術・マナーを実践できるようになる。

(国際力)

- ・グローバル社会に対応した高い英語運用能力を身に付け、自在に意思疎通を図ることができるようになる。

(人間力)

- ・柔軟な思考力を持ち、多様な意見を受け入れつつ、自身の意見を発信できるようになる。

(ICT活用力)

- ・ICTを活用し職務遂行上の課題や問題を自身が保有する知識や技能を発揮して解決することができるようになる。

■国際キャリア学科 国際ホテルコース カリキュラムポリシー■

ディプロマポリシーに掲げる力を身に付けるために、以下の意図をもってカリキュラムを設定している。

(教育内容)

コース専門科目では、目指す業界に必要な専門的スキルや知識を身につける。共通英語科目「聞く」「読む」「話す」「書く」の英語の4技能に加え、自ら探求し、自分の考えを深め、思いを発信する自律3技能「調べる」「考える」「伝える」の全7技能を養う。

(教育方法)

- ・ホテルでの宿泊部門・料飲部門・宴会部門での業務を理解し、現場で動ける力を身に付ける。(1 年前期～2 年後期)
- ・国内ホテルでのインターンシップの経験を通じて接客技術や実践力を身に付ける。(1 年前期)
- ・資格取得を通じて、業務で求められる英語運用能力を身に付ける。(1 年前期～3 年後期)
- ・接客業に不可欠なマナーや教養を、資格取得を通じて身に付ける。(1 年前期～3 年後期)
- ・ホテル業界に求められる人材について理解するとともに、教養を身に付け、それを体現できる力を身に付ける。(1 年後期～3 年後期)
- ・豊富な英語のアウトプット学習を通じて、発話力、コミュニケーション力を身に付ける。(2 年前期～2 年後期)
- ・企業訪問やインターンシップ、G E A (プレゼンテーションコンテスト)、ボランティア活動、海外留学などを通して、傾聴する力や自身の発信力、積極性を身に付ける。(1 年前期～3 年後期)
- ・オフィス系科目の学習やオンラインコンテンツへの取り組み、L M S の利活用を通じて、デジタルデバイスを活用した問題解決力を身に付ける。(1 年前期～3 年後期)

総合英語学科 総合英語コース 総合英語専攻

グローバル学科 総合英語コース 総合英語専攻

■総合英語学科 総合英語コース 総合英語専攻 教育目標■

■グローバル学科 総合英語コース 総合英語専攻 教育目標■

グローバルな視野とコミュニケーション力を有し、多文化共生社会に寄与する人財育成を目的とする。

■総合英語学科 総合英語コース 総合英語専攻 ディプロマポリシー■

■グローバル学科 総合英語コース 総合英語専攻 ディプロマポリシー■

本コースの教育目標を達成するため、次に掲げる資質・能力を備え、卒業に必要な単位を修めた者に卒業を認定する。

(専門力)

- ・主体性、想像力、柔軟性、批判的考察力、論理的思考能力を身に付け、多文化共生社会の中で柔軟なコミュニケーションができるようになる。

(国際力)

- ・グローバル社会に対応した英語運用能力を身に付け、自在に意思疎通を図ることができるようになる。

(人間力)

- ・柔軟な思考力を持ち、多様な意見を受け入れつつ、自身の意見を発信できるようになる。

(ICT活用力)

- ・ICTを活用し職務遂行上の課題や問題を自身が保有する知識や技能を発揮して解決することができるようになる。

■総合英語学科 総合英語コース 総合英語専攻 カリキュラムポリシー■

■グローバル学科 総合英語コース 総合英語専攻 カリキュラムポリシー■

ディプロマポリシーに掲げる力を身に付けるために、以下の意図をもってカリキュラムを設定している。

（教育内容）

コース専門科目では、ビジネスの場で活用できる英語表現やスキルを養う。共通英語科目「聞く」「読む」「話す」「書く」の英語の4技能に加え、自ら探求し、自分の考えを深め、思いを発信する自律3技能「調べる」「考える」「伝える」の全7技能を養う。

（教育方法）

- ・社会で起こっている事象に関心を持ち、意見を発信する力を身に付ける。（1 年前期～2 年後期）
- ・ボランティア活動に従事し、経験値を高め、成果物を創出する力を身に付ける。（1 年前期～2 年後期）
- ・日常英会話だけでなく、ビジネス社会で運用する語彙力・表現力・対応力を身に付ける。（1 年前期～2 年後期）
- ・資格取得を通じて、グローバル社会に対応した英語運用能力を身に付ける。（1 年前期～2 年後期）
- ・資格取得を通じて一般常識、教養を身に付ける。（1 年後期～2 年後期）
- ・企業訪問やインターンシップ、GEA（プレゼンテーションコンテスト）、ボランティア活動、海外留学などを通して、傾聴する力や自身の発信力、積極性を身に付ける。（1 年前期～2 年後期）
- ・オフィス系科目の学習やオンラインコンテンツへの取り組み、LMSの利活用を通じて、デジタルデバイスを活用した問題解決力を身に付ける。（1 年前期～2 年後期）

総合英語学科 総合英語コース 語学留学専攻

■総合英語学科 総合英語コース 語学留学専攻 教育目標■

グローバルな視野と高いコミュニケーション力を有し、多文化共生社会に寄与する人財育成を目的とする。

■総合英語学科 総合英語コース 語学留学専攻 ディプロマポリシー■

本コースの教育目標を達成するため、次に掲げる資質・能力を備え、卒業に必要な単位を修めた者に卒業を認定する。

（専門力）

- ・語学学習や 3 か月の留学体験を通じ多文化共生社会で求められる主体性、想像力、柔軟性、批判的考察力、論理的思考能力を身に付けグローバル社会で貢献を果たすことができるようになる。

（国際力）

- ・グローバル社会に対応した高い英語運用能力を身に付け、自在に意思疎通を図ることができるようになる。

（人間力）

- ・柔軟な思考力を持ち、多様な意見を受け入れつつ、自身の意見を発信できるようになる。

（ICT活用力）

- ・ICTを活用し職務遂行上の課題や問題を自身が保有する知識や技能を発揮して解決することができるようになる。

■総合英語学科 総合英語コース 語学留学専攻 カリキュラムポリシー■

ディプロマポリシーに掲げる力を身に付けるために、以下の意図をもってカリキュラムを設定している。

（教育内容）

コース専門科目では、ビジネスの場で活用できる英語表現やスキルを養う。共通英語科目「聞く」「読む」「話す」「書く」の英語の4技能に加え、自ら探求し、自分の考えを深め、思いを発信する自律3技能「調べる」「考える」「伝える」の全7技能を養う。

（教育方法）

- ・社会で起こっている事象に関心を持ち、意見を発信する力を身に付ける。（1 年前期～2 年後期）
- ・留学を通じて、語学運用力を高めると共に、自主的に行動できる力を身に付ける。（1 年後期）
- ・日常英会話だけでなく、ビジネス社会で運用する語彙力・表現力・対応力を身に付ける。（1 年前期～2 年後期）
- ・資格取得を通じて、グローバル社会に対応した英語運用能力を身に付ける。（1 年前期～2 年後期）
- ・資格取得を通じて一般常識、教養を身に付ける。（1 年後期～2 年後期）
- ・企業訪問やインターンシップ、GEA（プレゼンテーションコンテスト）、ボランティア活動、海外留学などを通して、傾聴する力や自身の発信力、積極性を身に付ける。（1 年前期～2 年後期）
- ・オフィス系科目の学習やオンラインコンテンツへの取り組み、LMSの利活用を通じて、デジタルデバイスを活用した問題解決力を身に付ける。（1 年前期～2 年後期）

アジア言語学科 アジア言語コース

■アジア言語学科 アジア言語コース 教育目標■

グローバルな視野とコミュニケーション力を有し、多文化共生社会に寄与することができる人財育成を目的とする。

■アジア言語学科 アジア言語コース ディプロマポリシー■

本コースの教育目標を達成するため、次に掲げる資質・能力を備え、卒業に必要な単位を修めた者に卒業を認定する。

（専門力）

- ・韓国語学習や 3 か月の韓国大学付属語学学校への留学を通じ多文化共生社会で求められる主体性、想像力、柔軟性、批判的考察力、論理的思考能力を身に付けグローバル社会で貢献を果たすことができるようになる。

（国際力）

- ・グローバル社会に対応した英語運用能力を身に付け、自在に意思疎通を図ることができるようになる。

（人間力）

柔軟な思考力を持ち、多様な意見を受け入れつつ、自身の意見を発信できるようになる。

（ICT活用力）

- ・ICTを活用し職務遂行上の課題や問題を自身が保有する知識や技能を発揮して解決することができるようになる。

■アジア言語学科 アジア言語コース カリキュラムポリシー■

ディプロマポリシーに掲げる力を身に付けるために、以下の意図をもってカリキュラムを設定している。

（教育内容）

コース専門科目では、ビジネスの場で活用できる語学表現やスキルを養う。共通英語科目「聞く」「読む」「話す」「書く」の英語の4技能に加え、自ら探求し、自分の考えを深め、思いを発信する自律3技能「調べる」「考える」「伝える」の全7技能を養う。

（教育方法）

- ・就職や韓国大学への編入に必要な韓国語能力を身に付ける。（1 年前期～2 年後期）
- ・韓国への3ヶ月留学を通して多文化コミュニケーション能力、自立心、韓国語能力を身に付ける。（1 年後期）
- ・資格取得を通じて、グローバル社会に対応した英語運用能力を身に付ける。（1 年前期～2 年後期）
- ・GEA(プレゼンテーションコンテスト)、ボランティア活動、海外留学などを通して、傾聴する力や自身の発信力、積極性を身に付ける。（1 年前期～2 年後期）
- ・オフィス系科目の学習やオンラインコンテンツへの取り組み、LMSの利活用を通じて、デジタルデバイスを活用した問題解決力を身に付ける。（1 年前期～2 年後期）

エアライン学科 エアラインコース

■エアライン学科 エアラインコース 教育目標■

グローバルな視野とコミュニケーション力を有し、エアライン業界で求められている知識と、ホスピタリティを実践することができる人財育成を目的とする。

■エアライン学科 エアラインコース ディプロマポリシー■

本コースの教育目標を達成するため、次に掲げる資質・能力を備え、卒業に必要な単位を修めた者に卒業を認定する。

（専門力）

- ・エアライン業界で求められている知識や教養を習得するとともに、接客技術・マナーを実践できるようになる。

（国際力）

- ・グローバル社会に対応した英語運用能力を身に付け、自在に意思疎通を図ることができるようになる。

（人間力）

- ・柔軟な思考力を持ち、多様な意見を受け入れつつ、自身の意見を発信できるようになる。

（ICT活用力）

- ・ICTを活用し職務遂行上の課題や問題を自身が保有する知識や技能を発揮して解決することができるようになる。

■エアライン学科 エアラインコース カリキュラムポリシー■

ディプロマポリシーに掲げる力を身に付けるために、以下の意図をもってカリキュラムを設定している。

（教育内容）

コース専門科目では、目指す業界に必要な技能や知識を養う。共通英語科目「聞く」「読む」「話す」「書く」の英語の4技能に加え、自ら探求し、自分の考えを深め、思いを発信する自律3技能「調べる」「考える」「伝える」の全7技能を養う。

（教育方法）

- ・エアライン業界の現状や、業界の企業の知識を身につける。（1 年前期）
- ・キャビンアテンダントやグランドスタッフの具体的な業務を理解し、実務を行うスキルを身につける。（1 年後期）
- ・資格取得を通じて業務で求められる英語運用能力、第二外国語運用能力を身に付ける。（1 年前期～2 年後期）
- ・接客業に不可欠なマナーや教養を、資格取得を通じて身に付ける。（1 年前期～2 年後期）
- ・エアライン業界に求められる人材について理解するとともに、教養を身に付け、それを体現できる力を身に付ける。（1 年後期～2 年後期）
- ・企業訪問やインターンシップ、GEA(プレゼンテーションコンテスト)、ボランティア活動、海外留学などを通して、傾聴する力や自身の発信力、積極性を身に付ける。（1 年前期～2 年後期）
- ・オフィス系科目の学習やオンラインコンテンツへの取り組み、LMSの利活用を通じて、デジタルデバイスを活用した問題解決力を身に付ける。（1 年前期～2 年後期）

ホテル・観光学科 ホテルコース

■ホテル・観光学科 ホテルコース 教育目標■

グローバルな視野とコミュニケーション力を有し、ホテル業界で求められている知識と、ホスピタリティを実践することができる人財育成を目的とする。

■ホテル・観光学科 ホテルコース ディプロマポリシー■

本コースの教育目標を達成するため、次に掲げる資質・能力を備え、卒業に必要な単位を修めた者に卒業を認定する。

（専門力）

- ・ホテル業界で求められている知識や教養を習得するとともに、接客技術・マナーを実践できるようになる。

（国際力）

- ・グローバル社会に対応した英語運用能力を身に付け、自在に意思疎通を図ることができるようになる。

（人間力）

- ・柔軟な思考力を持ち、多様な意見を受け入れつつ、自身の意見を発信できるようになる。

（ICT活用力）

- ・ICTを活用し職務遂行上の課題や問題を自身が保有する知識や技能を発揮して解決することができるようになる。

■ホテル・観光学科 ホテルコース カリキュラムポリシー■

ディプロマポリシーに掲げる力を身に付けるために、以下の意図をもってカリキュラムを設定している。

（教育内容）

コース専門科目では、目指す業界に必要な技能や知識を養う。共通英語科目「聞く」「読む」「話す」「書く」の英語の4技能に加え、自ら探求し、自分の考えを深め、思いを発信する自律3技能「調べる」「考える」「伝える」の全7技能を養う。

（教育方法）

- ・ホテルでの宿泊部門・料飲部門・宴会部門での業務を理解し、現場で動ける力を身に付ける。（1 年前期～2 年後期）
- ・国内ホテルでのインターンシップの経験を通じて接客技術や実践力を身に付ける。（1 年前期）
- ・資格取得を通じて、業務で求められる英語運用能力を身に付ける。（1 年前期～2 年後期）
- ・接客業に不可欠なマナーや教養を、資格取得を通じて身に付ける。（1 年前期～2 年後期）
- ・ホテル業界に求められる人材について理解するとともに、教養を身に付け、それを体現できる力を身に付ける。（1 年後期～2 年後期）
- ・企業訪問やインターンシップ、G E A (プレゼンテーションコンテスト)、ボランティア活動、海外留学などを通して、傾聴する力や自身の発信力、積極性を身に付ける。（1 年前期～2 年後期）
- ・オフィス系科目の学習やオンラインコンテンツへの取り組み、L M S の利活用を通じて、デジタルデバイスを活用した問題解決力を身に付ける。（1 年前期～2 年後期）

ホテル・観光学科 トラベルコース

■ホテル・観光学科 トラベルコース 教育目標■

グローバルな視野とコミュニケーション力を有し、トラベル業界で求められている知識と、ホスピタリティを実践することができる人財育成を目的とする。

■ホテル・観光学科 トラベルコース ディプロマポリシー■

本コースの教育目標を達成するため、次に掲げる資質・能力を備え、卒業に必要な単位を修めた者に卒業を認定する。

（専門力）

- ・トラベル業界で求められている総合的な知識や教養を習得し、接客技術・マナーを実践できるようになる。

（国際力）

- ・グローバル社会に対応した英語運用能力を身に付け、自在に意思疎通を図ることができるようになる。

（人間力）

- ・柔軟な思考力を持ち、多様な意見を受け入れつつ、自身の意見を発信できるようになる。

（ICT活用力）

- ・ICTを活用し職務遂行上の課題や問題を自身が保有する知識や技能を発揮して解決することができるようになる。

■ホテル・観光学科 トラベルコース カリキュラムポリシー■

ディプロマポリシーに掲げる力を身に付けるために、以下の意図をもってカリキュラムを設定している。

（教育内容）

コース専門科目では、目指す業界に必要な技能や知識を養う。共通英語科目「聞く」「読む」「話す」「書く」の英語の4技能に加え、自ら探求し、自分の考えを深め、思いを発信する自律3技能「調べる」「考える」「伝える」の全7技能を養う。

（教育方法）

- ・国内地理、海外地理、観光業の知識を学び、得た知識を実践する力を身に付ける。（1 年前期～2 年後期）
- ・留学生との交流の場を通じて、多角的な視点から物事を考え発信する力を身に付ける。（1 年後期～2 年後期）
- ・実践的な研修を通じて、現場で求められる知識や英語運用能力を身に付ける。（1 年後期）
- ・接客業に不可欠なマナーや教養を、資格取得を通じて身に付ける。（1 年前期～2 年後期）
- ・トラベル業界に求められる人材について理解するとともに、教養を身に付け、それを体現できる力を身に付ける。（1 年後期～2 年後期）
- ・資格取得を通じて、業務で求められる英語運用能力を身に付ける。（1 年後期～2 年後期）
- ・企業訪問やインターンシップ、G E A（プレゼンテーションコンテスト）、ボランティア活動、海外留学などを通して、傾聴する力や自身の発信力、積極性を身に付ける。（1 年前期～2 年後期）
- ・オフィス系科目の学習やオンラインコンテンツへの取り組み、L M Sの利活用を通じて、デジタルデバイスを活用した問題解決力を身に付ける。（1 年前期～2 年後期）

こども教育研究学科 こども教育コース

■こども教育研究学科 こども教育コース 教育目標■

グローバルな視野とコミュニケーション力を有し、保育業界や、教育業界に貢献することができる人財育成を目的とする。

■こども教育研究学科 こども教育コース ディプロマポリシー■

本コースの教育目標を達成するため、次に掲げる資質・能力を備え、卒業に必要な単位を修めた者に卒業を認定する。

（専門力）

- ・教育に対する情熱や使命感を持ち、幼稚園教諭、保育士として優れた指導力を発揮できるようになる。
- ・教科指導、生活指導、課外活動などの教育活動を推進できるようになる。
- ・幼稚園、保育園での英語授業実践において指導的な役割を担えるようになる。

（国際力）

- ・グローバル社会に対応した英語運用能力を身に付け、自在に意思疎通を図ることができるようになる。

（人間力）

- ・柔軟な思考力を持ち、多様な意見を受け入れつつ、自身の意見を発信できるようになる。

（ICT活用力）

・ICTを活用し職務遂行上の課題や問題を自身が保有する知識や技能を発揮して解決することができるようになる。

■こども教育研究学科 こども教育コース カリキュラムポリシー■

ディプロマポリシーに掲げる力を身に付けるために、以下の意図をもってカリキュラムを設定している。

（教育内容）

コース専門科目では、目指す業界に必要な技能や知識を養う。共通英語科目「聞く」「読む」「話す」「書く」の英語の4技能に加え、自ら探求し、自分の考えを深め、思いを発信する自律3技能「調べる」「考える」「伝える」の全7技能を養う。

（教育方法）

- ・保育士、幼稚園教諭に必要である、保育についての知識や技術、児童英語指導力の基礎を身に付ける。（1年前期～1年後期）
 - ・保育実習を通して理論と実践をつなぎ、こども達との関わり方や、指導方法について身に付ける。（2年前期～2年後期）
 - ・幼稚園実習を通してこども達への指導方法をより深め、他の保育士とのチーム連携力を身に付ける。（3年前期～3年後期）
 - ・3年間で培った保育力と児童英語指導力を組み合わせて、教育業界、保育業界、児童英語業界で即戦力として活躍出来る力を身に付ける。（4年前期～4年後期）
- 資格取得を通じて、グローバル社会に対応した英語運用能力を身に付ける。（1年前期～4年後期）
- ・企業訪問やインターンシップ、GEA(プレゼンテーションコンテスト)、ボランティア活動、海外留学などを通して、傾聴する力や自身の発信力、積極性を身に付ける。（1年前期～4年後期）
 - ・オフィス系科目の学習やオンラインコンテンツへの取り組み、LMSの利活用を通じて、デジタルデバイスを活用した問題解決力を身に付ける。（1年前期～4年後期）

国際ビジネス学科 国際ビジネスコース 国際貿易専攻 国際物流・通関士専攻
グローバル学科 国際ビジネスコース 国際貿易専攻 国際物流・通関士専攻

■国際ビジネス学科 国際ビジネスコース 国際貿易専攻 国際物流・通関士専攻 教育目標■

■グローバル学科 国際ビジネスコース 国際貿易専攻 国際物流・通関士専攻 教育目標■

グローバルな視野とコミュニケーション力を有し、海外取引の現場や貿易・物流業界で活躍できる人財育成を目的とする。

■国際ビジネス学科 国際ビジネスコース 国際貿易専攻 国際物流・通関士専攻 ディプロマポリシー■

■グローバル学科 国際ビジネスコース 国際貿易専攻 国際物流・通関士専攻 ディプロマポリシー■

本コースの教育目標を達成するため、次に掲げる資質・能力を備え、卒業に必要な単位を修めた者に卒業を認定する。

（専門力）

- ・海外取引の現場や貿易・物流業界で必要となる知識を習得し、業務で活用できるようになる。

（国際力）

- ・グローバル社会に対応した英語運用能力を身に付け、自在に意思疎通を図ることができるようになる。

（人間力）

- ・柔軟な思考力を持ち、多様な意見を受け入れつつ、自身の意見を発信できるようになる。

（ICT活用力）

- ・ICTを活用し職務遂行上の課題や問題を自身が保有する知識や技能を発揮して解決することができるようになる。

■国際ビジネス学科 国際ビジネスコース 国際貿易専攻 国際物流・通関士専攻 カリキュラムポリシー■

■グローバル学科 国際ビジネスコース 国際貿易専攻 国際物流・通関士専攻 カリキュラムポリシー■

ディプロマポリシーに掲げる力を身に付けるために、以下の意図をもってカリキュラムを設定している。

（教育内容）

コース専門科目では、目指す業界に必要な技能や知識を養う。共通英語科目「聞く」「読む」「話す」「書く」の英語の4技能に加え、自ら探求し、自分の考えを深め、思いを発信する自律3技能「調べる」「考える」「伝える」の全7技能を養う。

（教育方法）

- ・海外取引の流れを理解し、業務に必要な知識を、資格取得を通じて身に付ける。（1 年前期～2 年後期）
- ・資格取得を通じて、業務で求められる英語運用能力を身に付ける。（1 年前期～2 年後期）
- ・企業訪問やインターンシップ、GEA（プレゼンテーションコンテスト）、ボランティア活動、海外留学などを通して、傾聴する力や自身の発信力、積極性を身に付ける。（1 年前期～2 年後期）
- ・オフィス系科目の学習やオンラインコンテンツへの取り組み、LMSの利活用を通じて、デジタルデバイスを活用した問題解決力を身に付ける。（1 年前期～2 年後期）

国際ビジネス学科 国際ビジネスコース グローバルビジネス専攻

グローバル学科 グローバルビジネスコース

■国際ビジネス学科 国際ビジネスコース グローバルビジネス専攻 教育目標■

■グローバル学科 グローバルビジネスコース 教育目標■

グローバルな視野とコミュニケーション力を有し、国際ビジネス業界で活躍できる知識と多文化共生社会に貢献することができる人財育成を目的とする。

■国際ビジネス学科 国際ビジネスコース グローバルビジネス専攻 ディプロマポリシー■

■グローバル学科 グローバルビジネスコース ディプロマポリシー■

本コースの教育目標を達成するため、次に掲げる資質・能力を備え、卒業に必要な単位を修めた者に卒業を認定する。

（専門力）

- ・国際ビジネス業界で求められる貿易実務や会計の基礎知識を習得するとともに日本企業で働く人材としてマーケティング理論を理解し、データ分析に基づいた企画提案をできるようになる。

（国際力）

・日本語、英語、母国語の多言語運用能力、また日本のビジネスマナーを身に付け、グローバル社会においてより良い人間関係を築くことができるようになる。

（人間力）

・柔軟な思考力を持ち、多様な意見を受け入れつつ、自身の意見を発信、行動ができるようになる。

（ICT活用力）

・ICTを活用し職務遂行上の課題や問題を自身が保有する知識や技能を発揮して解決することができるようになる。

■国際ビジネス学科 国際ビジネスコース グローバルビジネス専攻 カリキュラムポリシー■

■グローバル学科 グローバルビジネスコース カリキュラムポリシー■

ディプロマポリシーに掲げる力を身に付けるために、以下の意図をもってカリキュラムを設定している。

（教育内容）

コース専門科目では、目指す業界に必要な技能や知識を養う。共通日本語科目では「聞く」「読む」「話す」「書く」の日本語の4技能に加え、自ら探求し、自分の考えを深め、思いを発信する自律3技能「調べる」「考える」「伝える」の全7技能を養う。

（教育方法）

・国際経済、経営理論を学び企業経営について理解を深める。貿易実務、簿記の基礎知識を習得する。（1 年前期～1 年後期）

・セールス&マーケティング、データ分析を学び、実社会での企画提案や改善提案に活かせる能力を身に付ける。（2 年前期～2 年後期）

・ビジネスコミュニケーション、実践日本語科目を通じて、実用的な語彙や文法を学ぶ。また仕事における思考力、判断力、表現力を養い、それらを体現できる日本語運用能力を身に付ける。（1 年前期～2 年後期）

・企業連携サービスラーニング、農村宿泊体験、GEA(プレゼンテーションコンテスト)、ボランティア活動、日本人学生との連携授業を通して、傾聴する力や自身の発信力、積極性を身に付ける。（1 年前期～2 年後期）

・オフィス系科目の学習やオンラインコンテンツへの取り組み、LMSの利活用を通じて、デジタルデバイスを活用した問題解決力を身に付ける。（1 年前期～2 年後期）

国際ビジネス学科 国際ビジネスコース グローバルホテル専攻

グローバル学科 グローバルホテルコース

■国際ビジネス学科 国際ビジネスコース グローバルホテル専攻 教育目標■

■グローバル学科 グローバルホテルコース 教育目標■

グローバルな視野とコミュニケーション力を有し、観光・ホテル業界で活躍できる知識とホスピタリティを実践することができる人財育成を目的とする。

■国際ビジネス学科 国際ビジネスコース グローバルホテル専攻 ディプロマポリシー■

■グローバル学科 グローバルホテルコース ディプロマポリシー■

本コースの教育目標を達成するため、次に掲げる資質・能力を備え、卒業に必要な単位を修めた者に卒業を認定する。

（専門力）

・観光・ホテル業界で求められる基礎知識を習得するとともに業界で働く人材として、豊かなサービスマインドで接客対応ができるようになる。

（国際力）

・日本語、英語、母国語の多言語運用能力、また日本の教養マナーや礼儀作法を身に付け、体現できるようになる。

（人間力）

・柔軟な思考力を持ち、多様な意見を受け入れつつ、自身の意見を発信、行動ができるようになる。

（ICT活用力）

・ICTを活用し職務遂行上の課題や問題を自身が保有する知識や技能を発揮して解決することができるようになる。

■国際ビジネス学科 国際ビジネスコース グローバルホテル専攻 カリキュラムポリシー■

■グローバル学科 グローバルホテルコース カリキュラムポリシー■

ディプロマポリシーに掲げる力を身に付けるために、以下の意図をもってカリキュラムを設定している。

（教育内容）

コース専門科目では、目指す業界に必要な技能や知識を養う。共通日本語科目では「聞く」「読む」「話す」「書く」の日本語の4技能に加え、自ら探求し、自分の考えを深め、思いを発信する自律3技能「調べる」「考える」「伝える」の全7技能を養う。

（教育方法）

・ホテルでの他部門にわたる業務を理解し、現場で自発的に協働できる力を身に付ける。（1 年前期～2 年後期）

・国内ホテルでのインターンシップを経験し、接客技術や、チームワーク力を身に付ける。（1 年前期）

・宿泊プランニングやツアープランニングを通じて、商品知識、企画、経営戦略について学び、効果的なプレゼンテーション力を身に付ける。（2 年前期～2 年後期）

・ビジネスコミュニケーション、実践日本語科目を通じて、実用的な語彙や文法を学ぶ。接客日本語や英語力を磨き、それらを体現できる多言語運用能力を身に付ける。（1 年前期～2 年後期）

・企業訪問やインターンシップ、農村宿泊体験、GEA(プレゼンテーションコンテスト)、ボランティア活動、日本人学生との連携授業を通して、傾聴する力や自身の発信力、積極性を身に付ける。（1 年前期～2 年後期）

・オフィス系科目の学習やオンラインコンテンツへの取り組み、LMSの利活用を通じて、デジタルデバイスを活用した問題解決力を身に付ける。（1 年前期～2 年後期）

国際ビジネス学科 大学編入コース

■国際ビジネス学科 大学編入コース 教育目標■

大学へ編入学後、進学先で専攻諸分野の教育研究を通じての教育目標の達成ができ、大学卒業後は、社会で有用かつ、国際間の人々の交流と相互理解を促進し、国内の各分野で活躍できる人材の育成を目標とする。

■国際ビジネス学科 大学編入コース ディプロマポリシー■

本コースの教育目標を達成するため、次に掲げる資質・能力を備え、卒業に必要な単位を修めた者に卒業を認定する。

（専門力）

- ・大学編入学後の大学学部で求められている 1・2 年次までに取得すべき基礎学力、専門知識アカデミックスキルを有している。
- ・編入進学後の学部分野・領域に対して深い関心と探究心を持っている。
- ・幅広い知識と豊かな表現力を身につけて、社会の諸問題を追求・解決しようとする意欲を持っている。

（国際力）

- ・専門分野、領域における英語論文の読解力を備えている。
- ・専門分野、領域において、自ら探求し、自分の考えを深め、思いを英語で発信する技能（「調べる」「考える」「伝える」）を備えている。

（人間力）

- ・柔軟な思考力を持ち、多様な意見を受け入れつつ、自身の意見を発信できるようになる。

（ICT活用力）

- ・ICTを活用し、大学での研究・学習、及び大学卒業後の職務遂行上の課題や問題を自身が保有する知識や技能を発揮して解決することができるようになる。

■国際ビジネス学科 大学編入コース カリキュラムポリシー■

ディプロマポリシーに掲げる力を身に付けるために、以下の意図をもってカリキュラムを設定している。

（教育内容）

コース専門科目では、大学 2 年次・3 年次に編入後、自らの所属する学域・専攻の専門的科目の履修と理解できる力を養う。共通英語科目「聞く」「読む」「話す」「書く」の英語の 4 技能に加え、自ら探求し、自分の考えを深め、思いを発信する自律 3 技能「調べる」「考える」「伝える」の全 7 技能を養う。

（教育方法）

- ・大学 1、2 年次で習得すべき教養・英語の基礎的能力やアカデミックスキルの基礎を身に付ける。（1 年前期）
- ・大学進学後不可欠となる論文作成能力・表現能力を身に付ける。（1 年前期～2 年後期）
- ・志望学部を決定し、所属する専門分野において最低必要とされる専門知識を身に付ける。（1 年後期～2 年後期）
- ・自身が定めた研究テーマについて継続的に研究を進めていくための能力及びそれを表現する能力を身に付ける。（1 年後期～2 年後期）
- ・専門分野での英語論文読解能力及び表現能力を身に付ける。（1 年前期～2 年後期）

- ・企業訪問、GEA(プレゼンテーションコンテスト)、ボランティア活動、海外留学などを通して、傾聴する力や自身の発信力、積極性を身に付ける。(1 年前期～2 年後期)
- ・オフィス系科目の学習やオンラインコンテンツへの取り組み、LMSの利活用を通じて、デジタルデバイスを活用した問題解決力を身に付ける。(1 年前期～2 年後期)

ECC国際外語専門学校学則

第1章 総則

(目 的)

第1条 本校は学校教育法及び教育基本法に従い語学ビジネス専門課程を設置し、語学教育を基礎としてその理論と実技を教えるとともに近代的なセンスと国際感覚に基づいて実社会に有用な人材を育成することを目的とする。

(名 称)

第2条 本校はECC国際外語専門学校と称する。

(位 置)

第3条 本校は大阪市北区中崎西2丁目1番6号に設置する。

(自己点検・評価)

第4条 本校は、その教育の一層の充実を図り、本校の目的及び社会的使命を達成するため、本校における教育活動等の状況について自ら点検及び評価を行うものとする。

2 前項の点検及び評価の実施に関し、必要な事項は別に定める。

第2章 課程、学科及び修業年限、定員並びに休業日

(課 程、学 科、修業年限、定 員)

第5条 本校の設置課程、学科及び修業年限並びに定員は次の通りとする。

課 程	学 科	修業年限	入学定員	総定員	備考
語学ビジネス専門課程	こども教育研究学科	4	22	88	昼 間
	国際キャリア学科	3	115	345	昼 間
	エアライン学科	2	72	144	昼 間
	国際ビジネス学科	2	100	200	昼 間
	グローバル学科	2	207	414	昼 間
	アジア言語学科	2	80	160	昼 間
	(ホテル・観光学科)※	2	(46)	(92)	昼 間
	日本語学科	2	80	160	昼 間
	日本語学科	1.5	90	180	昼 間
	日本語学科	1	300	300	昼 間
	国際コミュニケーション学科	1	210	210	昼 間
	計		1276	2201	

※ホテル・観光学科は、2022 年度入学生以降の募集を停止する。

(学 年・学 期)

第6条 学年は、4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

2. 課程の学期は次の通りとする。

前期 4月 1日から 9月30日まで

後期 10月 1日から 3月31日まで

(但し、学科・コースにより異なる場合もある。)

(休業日)

第7条 本校の休業日は、次の通りとする。

(1)日曜日

(2)国民の祝日に関する法律が規定する日

(3)夏期休業 8月 1日から 8月31日まで

(4)冬期休業 12月20日から 1月 8日まで

(5)春期休業 3月 1日から 3月31日まで

(6)交通スト・台風・地震等で本校が特に休校と認めた日

(但し、夏期休業、冬期休業、春期休業に関しては、学科・コースにより異なる場合もある。)

2. 前項の規定にかかわらず、学校長が特に必要あると認めるときは、臨時休業を行い又は休業日に授業を行うことがある。

第3章 教育課程・授業時間数及び教員組織

(教育課程、授業時数)

第8条 本校の教育課程及び授業時数等は、別に定める。

2 授業時数の1単位時間は45分とし、年間の授業時数は800時間以上とする。

3 各課程の修了に必要な総時間数の4分の3を超えない範囲で、インターネット等を利用した遠隔授業を行う場合がある。

(授業時数の単位数への換算)

第9条 本校の専門課程の授業科目の授業時数を単位数に換算する場合においては、講義及び演習にあつては15時間をもって1単位、実習、実技にあつては30時間をもって1単位とする。

2 前項の規定にかかわらず、卒業研究等の授業科目の授業時数については、これらに必要な学修等を考慮して、単位数に換算するものとする。

(成績評価)

第10条 授業科目の成績評価は、各学期末において、学期末試験、実習の成果、履修状況等を総合的に勘案して行う。ただし、出席時数が授業時数の75%(国際コミュニケーション学科は別に定める)に達しない者は、その科目について評価を受けることができない。

(他の専修学校等における授業科目の履修)

第11条 他の専修学校、大学等において履修した科目について、各課程の修了に必要な総授業 時数の2分の1を越えない範囲で、当該課程における授業科目の履修とみなすことがある。
なお、その詳細は学内の審査委員会にて審議・決定する。

(始業及び終業)

第12条 本校の始業の時刻は次の通りとする。

課程名	学 科 名	昼夜別	始業時刻	終業時刻
語学ビジネス 専門 課程	こ ども 教 育 研 究 学 科	昼間	9 時 15 分	16 時 45 分
	国 際 キ ャ リ ア 学 科	昼間	9 時 15 分	16 時 45 分
	エ ア ラ イ ン 学 科	昼間	9 時 15 分	16 時 45 分
	国 際 ビ ジ ネ ス 学 科	昼間	9 時 15 分	16 時 45 分
	グ ロ ー バ ル 学 科	昼間	9 時 15 分	16 時 45 分
	ア ジ ア 言 語 学 科	昼間	9 時 15 分	16 時 45 分
	ホ テ ル ・ 観 光 学 科	昼間	9 時 15 分	16 時 45 分
	国 際 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 学 科 午 前 ク ラ ス	昼間	9 時 00 分	13 時 10 分
	国 際 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 学 科 午 後 ク ラ ス	昼間	13 時 40 分	17 時 50 分

(教職員組織)

第13条 本校に次の教職員を置く。

- (1)校 長 1名
- (2)教務主任 1名
- (3)専任教員 20名以上
- (4)講 師 40名以上
- (5)事務職員 5名以上
- (6)学校医 1名以上

第4章 入学・休学・転学・卒業

(入学資格)

第14条 本校に入学できる者は次の通りとする。

高等学校若しくはこれに準ずる学校を卒業した者又は文部科学大臣の定めるところにより、これに準ずる学力があると認められた者。

(入学時期)

第15条 本校の入学時期は毎年4月1日または 10月1日とする。

(入学手続)

第16条 本校の入学手続は次の通りとする。

- (1)本校に入学しようとする者は、本校の定める入学願書に必要事項を記載して、第25条に定める入学検定料を添えて指定期日までに出席しなければならない。
- (2)前号の手続を終了した者に対して、入学試験を行い入学者を決定する。
- (3)本校に入学を許可された者は、入学許可の日から14日以内の指定の日までに第25条の入学金、授業料を添え手続をとらねばならない。

(転入学)

第17条 本校への転入学を希望する者がある場合は、学習の進展が同程度であり、定員に余裕があり、かつやむを得ない事情があると認めた場合には、選考の上許可することができる。

(休学・復学)

第18条 生徒が疾病その他やむを得ない理由によって休学する場合は、診断書及びその事由を記し校長の許可を受けなければならない。

2 年間の授業料その他の納付金を完納していない場合は、休学願を受理しない。

3 休学した者が復学しようとする場合は、届け出て校長の許可を受けなければならない。

(退学)

第19条 退学しようとする者は、その事由を記し校長の許可を受けなければならない。

(課程修了の認定)

第20条 第10条に定める授業科目の成績評価に基づいて、校長は課程修了の認定を行う。

2 所定の修業年限以上在学し、課程を修了したと認めた者には、卒業証書(様式1)を授与する。

(称号の授与)

第21条 前条により、語学ビジネス専門課程エアライン学科、国際ビジネス学科、ホテル・観光学科、総合英語学科、アジア言語学科、国際キャリア学科を修了した者には、専門士(文化・教養専門課程)の称号(様式2)を授与する。こども教育研究学科を修了した者には、高度専門士(文化・教養専門課程)の称号(様式3)を授与する。

第5章 科目等履修

(科目等履修生)

第22条 本校において開設する授業科目に対し、本校生徒以外の者から特定の科目について履修申請があった場合には、本校の教育に支障がない限り、選考の上科目等履修生として当該科目の履修を許可することができる。

2 その他科目等履修生に関する事項は別に定める。

第6章 賞罰

(褒賞)

第23条 成績優秀にして他の模範となる者について褒賞することができる。

(懲戒)

第24条 校長は、本校の規則に違反したり、本校の生徒の本分に反する行為があった場合において、教育上必要と認められる場合には、生徒に対し懲戒を加えることができる。

2. 懲戒の種類は、訓告、停学及び退学とする。

3. 退学は次の各号に該当する場合にこれを命ずる。

(1) 性行不良で改善の見込がないと認められる者

(2) 学力劣等で成業の見込がないと認められる者

(3) 正当な理由がなくて出席が常でない者

(4) 学校の秩序を乱し、その他生徒としての本分に反した者

第7章 入学金及び授業料等

(納付金)

第25条 本校の入学金・授業料等は別表の通りとする。ただし、教材、各行事に要する費用等については、各自が実費を負担するものとする。

2. 補講の費用は別途徴収するものとする。
3. 復学の許可を受けた者は、新たに所属する学年の授業料等を納入するものとする。

第26条 納入後の入学金・授業料等は返却しない。

2. 停学を命じられた者も同様とする。

第27条 年度の全期間を休学する者に対しては、その年度の授業料は徴収しない。

(除籍)

第28条 授業料その他の納付金を2ヵ月以上滞納した者は除籍することができる。

第8章 健康診断

(健康診断)

第29条 学校保健法第6条の規定に基づき、健康診断を毎年1回別に定めるところにより実施する。

第9章 附帯教育事業

(附帯教育事業)

第30条 以下に示す附帯教育事業を設置する。

科名	修業期間	授業時数	総定員	備考
夜間日本語コース	2ヵ月	120時間	100名(5学級)	

2. 附帯教育事業の入学金、授業料、教育課程その他必要な事項は別に定める。

第10章 補則

(日本語学科)

第31条 日本語学科学則は別に定める。

附 則

この学則は、昭和59年 4月 1日より施行する。

昭和63年 4月 1日	一部改訂
平成 6年 9月 1日	一部改訂
平成 7年 2月 1日	一部改訂
平成 7年 2月10日	一部改訂
平成 7年 4月 1日	一部改訂
平成10年 4月 1日	一部改訂
平成11年 4月 1日	一部改訂
平成12年 4月 1日	一部改訂
平成15年 4月 1日	一部改訂
平成16年 4月 1日	一部改訂
平成17年 4月 1日	一部改訂
平成18年 4月 1日	一部改訂
平成21年 4月 1日	一部改訂
平成22年 4月 1日	一部改訂
平成23年 4月 1日	一部改訂
平成25年12月27日	一部改訂(こども教育研究、こども教育、海外インターンシップ学科新設)
平成26年 4月 1日	一部改訂(定員の変更、コースの新設・名称変更)
平成27年 2月19日	一部改訂(学科新設、学科名称変更による別記様式2の変更)
平成27年 4月 1日	一部改訂(第 25 条別表の変更)
平成28年 4月 1日	一部改訂(総合英語学科、アジア言語学科新設)
平成29年 2月28日	一部改訂(新設学科による別記様式2の変更)
平成29年 4月 1日	一部改訂(定員、学費の変更)
平成29年10月 1日	一部改訂(日本語学科定員の変更)
平成30年 2月28日	一部改訂(新設学科による別記様式2の変更)
平成30年 4月 1日	一部改訂(学科名称変更、こども教育学科廃止、カリキュラム表の変更)
平成31年 1月25日	一部改訂(学科名称変更による別記様式2の変更)
平成31年 4月 1日	一部改訂(定員、学期、休業日、納付金等の変更)
令和 2年 4月 1日	一部改訂(定員、休業日、納付金、カリキュラム表の変更、附帯教育事業の設置)
令和 2年10月 1日	一部改訂(カリキュラム表の変更)
令和 3年 4月 1日	一部改訂(国際留学学科の廃止、定員、カリキュラム表の変更、遠隔授業、納付金条文の追加)
令和 4年 4月 1日	一部改訂(学科名称、定員、授業料、カリキュラム表の変更、ただし学科名称の変更は令和3年度以前の入学者に対しては、従前の規定を適用する。)

学校法人山口学園 教務規約

第1章 総則

- 第1条（目的） 教務規約では学校法人山口学園（以下、「本学園」という。）のECC国際外語専門学校、ECCコンピュータ専門学校、ECCアーティスト美容専門学校における年間授業時間数・進級・卒業・単位認定・学籍事項・授業・出席・教育水準維持向上への取り組みなどに関して定めるものとする。

第2章 授業時数・授業時数の単位数への換算

- 第2条（授業時数） 本学園の前後期の必修の授業時数は一部のコースを除き、1年間に900時間とする。
- 2 授業時数は45分を1単位時間とし、1コマの授業は2単位時間（90分）で行う。
 - 3 一週間の授業時数は30時間（15コマ）とし、前期15週・後期15週の合計30週間の授業期間を1年間に設ける。
 - 4 前後期の必修の授業のほかに、長期休暇中に集中講座を開講する。また前後期期間に選択科目を開講する。

第3条（授業時数の単位数への換算）

本学園の専門課程の授業科目を単位数に換算する場合は、一部の科目を除き、15時間をもって1単位とする。

第3章 進級・卒業

- 第4条（進級の要件） 進級該当学年の各コースに設定された単位のうち、58単位を修得しているものに対して、学年末に進級判定会議を開催し、学校長が進級を認定する。（アーティスト美容専門学校は別途設定。）

- 第5条（卒業の要件） 卒業該当学年の各コースに設定された単位のうち、54単位（2年制課程については56単位）を修得しているものに対して、学年末に卒業判定会議を開催し、学校長が卒業を認定する。（アーティスト美容専門学校は別途設定。）

- 第6条（留年） 進級要件・卒業要件を充足しない者は、翌年度も同学年に留める。但し、状況によって、学校長の判断により、特別措置をとる場合もある。
- 2 留年となった場合、前年度に修得した単位は無効となり、再度全科目の受講が必要となる。1年次に留年となった場合は、転科となりその際の入学コースが最初の入学時と異なる場合がある。
 - 3 留年により、入学した学科の修業年限の2倍をこえて在籍することができない。また同一年次において2年を超えての在籍は、認められない。但し、状況により学校長の判断により、特別措置をとる場合もある。

第4章 単位認定

- 第7条（単位認定方法） 各科目の単位認定は、以下の基準を全て満たすことで行う。
- （1）授業出席率が75%（アーティスト美容専門学校美容科実習科目は80%、2022年度入学生より全科目85%）以上であること。
 - （2）総合評価点が60点以上であること。

第8条（総合評価点） 各授業または単元終了時の「テストの点数」及び授業の取り組み状況から決定される「平常点」・「課題点」から決定される。点数配分は各科目の内容により異なる。

第9条（平常点・課題点） 平常点と課題点は、授業の取り組み状況から決定される。点数配分は各科目の内容により異なる。

第10条（学期末試験・評価）

各科目の評価は前期・後期それぞれの期末に実施する。評価結果は保護者または保証人に郵送通知する。（アーティスト美容専門学校美容科通信課程を除く）

第11条（成績評価ランク）

算出された総合評価点に基づき、下記のように成績評価ランクを決定する。

総合評価点	ランク	グレード ポイント	合否	基準
90点～100点	A	4.0	合格	特に優れている。
80点～89点	B	3.0	合格	優れている。
70点～79点	C	2.0	合格	一定の水準を満たしている。
60点～69点	D	1.0	合格	最低限の理解をしている。
0点～59点	F	0.0	不合格	学習目標に達していない。

2 GPA の適用

GPA とは“Grade Point Average”の略で、学生の成績評価方法の一つであり、本学園では学生自身が学習効果を数値化して把握するため、GPA を適用している。履修した科目の評価「A」、「B」、「C」、「D」、「F」に対して、それぞれ「4」、「3」、「2」、「1」、「0」のGP（Grade Point）を与え、取得したポイント（GP×単位数）の合計を履修登録された総単位数で割った、1単位あたりの成績の平均値である。

3 GPA の算出方法

$(4 \times \text{「A」の単位数} + 3 \times \text{「B」の単位数} + 2 \times \text{「C」の単位数} + 1 \times \text{「D」の単位数} + \text{「F」の単位数} \times 0) \div \text{総履修登録単位数}$

※特別単位はGPAの計算に算入されない。

4 客観的指標に関する判定に GPA を利用する際は、各校で当該単年度の全学生※を母集団として算出する。

※国際外語専門学校は日本語学科生、国際コミュニケーション学科生を除く。

第12条（追試験）

追試験とは、総合評価点が単位認定基準を下回った者に対して行われる試験をいう。すべての教科において追試験が行われるとは限らない。

2 原則として、当該科目の出席率が75%以上でなければ、追試験を受験することはできない。

3 追試験の結果、合格した場合においてもその教科の総合評価点は60点となり、「D」評価と判定される。

4 追試験は「追試発表日」に対象者を発表し、各学期末試験期間終了後、追試験期間に行われる。対象者は追試験受験願と1科目につき1000円の追試験受験料を定めら

れた期日までに事務局に提出しなければならない。

5 追試験の代わりに、追課題を課す場合がある。発表と申込方法は追試験に準じる。

6 不認定となった者を対象に補講を行う場合がある。補講で単位を修得した場合その教科は「D」評価と判定される。※補講について有料となる場合がある。

第13条（単位認定区分）本学園では単位認定の対象として「正規単位」と「特別単位」がある。

第14条（正規単位） 「正規単位」として認定する科目は以下の通りとする。

必修科目・ 必修選択科目	コースカリキュラムに記載されている、該当コース生として必修、または選択が必要な科目。
正規選択科目	学園又は各校が開催する必修に準ずる選択科目。

第15条（特別単位） 「特別単位」として認定する対象は以下の通りとする。

（※アーティスト美容専門学校 美容科は対象外）

検定・資格	学園が認定した検定試験に合格した場合、または資格を取得した場合。単位数は検定・資格により異なる。
学園または各校が指定する活動	海外研修、各校 English Plaza、インターンシップへの参加や、コンテスト入賞を単位認定する場合がある。単位数は活動内容により異なる。

2 特別単位については、

（1）原則として正規科目の授業の出席良好な者に対して単位認定される。

（2）10単位を限度に卒業、進級必要単位に加算することができる。

（3）上記以外でも学校長が認めた活動に対し認定される場合もある。

第16条（成績通知） 成績は、学期または必要に応じて、保護者（保証人）あてに、通知される。

第5章 授業

第17条（授業スケジュール・時間割）

授業スケジュール、休暇期間、学校行事日程等は別途「年間スケジュール」として定める。

2 各学科、コース、クラスごとに学習する授業科目を掲載したクラス別の授業時間割を各学期授業開始前のオリエンテーション等にて配布する。

第18条（授業時間帯） 授業時間帯については以下のとおりとする。

時限	時間
1時限目	09:15～10:45
2時限目	11:00～12:30
3時限目	13:30～15:00
4時限目	15:15～16:45
5時限目	17:00～18:30
6時限目	18:45～20:15

※6時限目開講はアーティスト美容専門学校美容科通信課程などの一部のみ

2 最終下校時刻については各校教務課より連絡する。

第19条（学生の呼び出し、学生・教職員の個人情報について）

緊急の場合を除き、授業時間帯の学生の呼び出しには応じない。

2 学生（卒業生を含む）や教職員の住所・電話番号等の問い合わせには、プライバシー保護のため一切応じない。

第20条（交通機関の運転見合わせ・天候等による休講）

交通機関の運転見合わせ、台風などの自然災害による休講は以下のように判断する。

1 天候による休講

（1）該当日に大阪府のいずれかの地域に特別警報か暴風警報が出ている場合、午前7時の段階で解除されなければ、1・2限の授業は休講となる。

（2）該当日の午前10時の段階でも解除されなければ、その日の授業は全て休講となる。

（3）午前7時から午前10時の間に上記の警報が発令された場合は、1・2限の授業は休講となる。午前10時以降に上記の警報が発令された場合は以降のその日の授業は全て休講となる。

2 交通機関の運転見合わせによる休講

学園各校最寄り駅（大阪駅、梅田駅、中崎町駅）発着路線が複数運転見合わせとなり、多数の学生の通学が困難となった場合は、学校長の判断で休講となることがある。

（1）該当日の午前7時の段階で通学困難と判断した場合、1・2限の授業は休講となる。

（2）該当日の午前10時以降も引き続き通学困難と判断した場合、その日の授業は全て休講となる。

（3）該当日の午前7時から午前10時の間に通学困難と判断した場合は、1・2限の授業は休講となる。午前10時以降通学困難と判断した場合は以降のその日の授業は全て休講となる。（帰宅困難が予想されると判断した場合も同様。）

3 地震や津波などの自然災害が発生した場合、特別休講になることがある。

第21条（出席率・欠席・遅刻・離席・早退）

全ての授業科目は、出席率が75%（アーティスト美容専門学校美容科実習科目は80%、2022年度入学生より全科目85%）以上でなければ、授業科目の単位認定は行わない。

2 下記の理由で欠席し、必要な書類を提出した場合は、出席扱いとする。

理由	内容
忌引	○両親7日 ○兄弟姉妹・祖父母・おじ・おば 3日
結婚式	○両親・兄弟姉妹 1日
感染症	○「学校保健安全法施行規則」に定められたものは、出席停止とする。またその期間は同規則に従う。 ＜第1種＞ エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、重症急性呼吸器症候群（SARS）、痘そう、南米出血熱、ペスト、マールブルグ病、ラッサ熱、ポリオ、ジフテリア、鳥インフルエンザ（H5N1） ＜第2種＞ インフルエンザ、百日咳、はしか、おたふくかぜ、

	風疹、水ぼうそう、咽頭結膜熱、結核・髄膜炎菌性髄膜炎 ＜第3種＞ コレラ、細菌性赤痢、腸管出血性大腸菌、腸チフス、パラチフス、流行性角結膜炎、急性出血性結膜炎、溶連菌感染症、ウィルス性肝炎、手足口病、伝染性紅斑、感染症胃腸炎（ノロウィルスなど）、マイコプラズマ感染症等
就職活動	○企業訪問・就職試験・内定後の呼び出し・研修等 ○その他各校進路指導課が認めた場合
天候による自宅待機	○居住地域に暴風警報・避難指示（レベル4以上）が出て自宅待機となった場合
新型コロナウイルス感染症	本人、同居している家族、同居人が、 ○PCR検査で陽性と診断された場合 ○濃厚接触者に認定された場合 ○そのほか、医師が自宅待機を命じた場合
その他	○各校教務課または学校長が認めた場合

（アーティスト美容専門学校美容科は就職活動の公欠は認めない）

3 遅刻は授業開始後20分までとし、20分を超える入室は欠席扱いとなる。

（授業を受けることは可能）。

交通機関の遅れで遅刻をした場合は、各交通機関が発行する「延着証明書」を提出すれば出席扱いとなる。

4 授業中に席を離れたり教室から出た場合は、離席となる。

5 授業終了前に退出した場合は早退となる。

6 遅刻、離席、早退により、合計20分間以上席を離れた場合は欠席扱いとする。

7 （同一科目で）3回の遅刻、離席、早退で、欠席1回とみなす。

第6章 学籍事項及び学費等

第22条（学生証） 学生証は、本学園の学生であることを証明する身分証明書であり、常に携帯しなければならない。

学生証については以下の事項に留意することとする。

＜学生証に関する留意事項＞

（1）学園の教職員の請求があった場合、必ず呈示しなければならない。

（2）休学または退学する場合、または除籍となる場合は、直ちに事務局に返却しなければならない。

（3）学生証を紛失したり、汚損したりしないように取扱いに注意すること。紛失・盗難にあった場合は、すみやかに事務局へ届け出ること。（再発行にあたっては事務局の指示に従うこと。）

第23条（学籍番号・コース略称・クラス略称）

在学中の事務取扱は、学籍番号またはクラス・出席番号によって処理を行う。

2 在籍中、個人やクラスに対して連絡をする場合、コース略称やクラス略称を利用する場合がある。各学校・各コースのコース略称・クラス略称は別途これを定める。

- 第24条（休学） 休学とは、学生が在籍のまま学校を長期間休むことである。
休学は各校学則の該当事項に従い、休学期間は通算2年以内とし、それを超えた場合は退学となる。
2 休学にあたっては、「休学届」を提出しなければならない。
休学届には本人および保護者（保証人）の承認が必要である。
3 休学するには、休学を申し出た当該年度の授業料と諸経費を完納する必要がある。
4 学校から貸与されているPCやタブレットは「休学届」提出時に返却する必要がある。
- 第25条（復学） 復学とは、休学していた学生が再びもとの学校に復帰することである。
休学した者が、届け出て復学することができる。
復学するには復学届の提出と学校長の許可が必要である。
2 復学は許可を受けた翌年度の4月1日からとなる。
年度途中での復学は認められない。
- 第26条（退学） 退学とは、学生が在学中に、特別の理由で学校をやめることである。
本校に在籍した記録は残される。
2 退学するにはクラス担任・教務課と面談したうえ、退学届の提出が必要である。
退学届には本人および保護者（保証人）の承認が必要である。
3 退学を申し出た当該年度の授業料と諸経費を完納する必要がある。
4 学校から貸与されているPCやタブレットは「退学届」提出時に返却する必要がある。
- 第27条（除籍） 除籍とは、台帳から記録を削除することであり、本校に在籍した記録は削除される。
休学・退学届提出後2ヶ月以上、当該年度の授業料と諸経費が完納されていない場合、原則として除籍される。
2 学校から貸与されているPCやタブレットは除籍確定時に返却する必要がある。
- 第28条（編入学） 2年制課程修了後、3年制以上の課程への編入学を認める場合がある。
- 第29条（特待生制度） 入学の際の選考結果などに応じて、年間学費（一部もしくは全額）を免除する特待生制度を設定する。
2 特待生はその成績により、免除額が異なる。
- 第30条（学費） 本学園における学費とは、募集要項に規定する入学金、授業料、施設設備費等をいい、寄付金や学債の負担義務はない。
2 教材費、各種検定受験料、各種行事費、卒業経費等は各自が実費を負担するものとする。
- 第31条（学費納入期日及び納入方法） 入学を許可された者は、学費を所定の期限内に納めなければならない。
2 1年次後期以降の学費は学園の規定する期日までに納入しなければならない。

第32条（学費納入に関する注意事項）

納入後の学費は、理由の如何を問わず一切返還しない。

- 2 学費滞納者は進級、卒業を認めない。また、2ヶ月以上滞納した場合は除籍となる。
- 3 学費納入に関する相談は事務局にて行う。

第33条（奨学金制度） 本学園に在籍し、経済的理由により修学困難な学生のために「日本学生支援機構奨学金」等の奨学金制度を紹介する。

- 2 各奨学金の申込に関する詳細は、募集時期に案内する。
- 3 奨学金制度に関する相談は事務局にて行う。

第34条（褒賞）

本学園の学生は、以下の基準において表彰を受けることができる。

皆勤賞以外の表彰者は教職員が推薦し審査の上、学校長が決定する。

- 1 大阪府知事賞・・・出席率・成績ともに優秀で模範となる学生生活を送った者。
 - 2 大阪府専修学校各種学校連合会会長賞・・・出席率・成績ともに優秀で多くの資格検定試験に合格した者等。
 - 3 学校長賞・・・他の学生からの人望が厚く、模範となる学生生活を送った者
 - 4 皆勤賞・・・各年度において1年間、無遅刻・無欠席であった者。
- （学校の指定する行事を含む場合もある。）

第7章 教育水準維持向上への取り組み

第35条（学校評価） 本学園各校は、その教育の一層の充実を図り、目的及び社会的使命を達成するため教育活動その他の学校運営の状況について、自ら点検及び評価（以下「自己評価」という。）を行い、その結果を公表するものとする。

- 2 本学園各校は自己評価結果を踏まえ、関係者等による評価（以下「学校関係者評価」という。）を行い、その結果を教育活動等に活用するとともに公表するものとする。
- 3 前2項に定める自己評価及び学校関係者評価の実施並びに結果の公表について必要な事項は、別に定める。

第36条（教育課程編成委員会）

文部科学省より職業実践専門課程の認定を受けた本学園各校の学科または申請学科

（ECC国際外語専門学校 エアライン学科、ホテル・観光学科、こども教育研究学科、ECCコンピュータ専門学校 高度情報処理研究学科、マルチメディア研究学科、マルチメディア学科、ECCアーティスト美容専門学校 トータル・メイク学科、アーティスト学科、美容科、以下「職業実践専門課程認定（申請）学科」という。）

は、その教育の一層の充実を図るため、企業、団体等と連携し教育課程編成委員会（以下「委員会」という。）を設ける。

- 2 職業実践専門課程認定（申請）学科は、委員会の意見を活用して、教育課程の編纂を行う。
- 3 前2項に定める委員会の実施並びに意見の活用について必要な事項は、別に定める。

第37条（教員研修） 本学園各校の職業実践専門課程認定（申請）学科は、その教育の一層の充実を図るため、企業、団体等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修等や指導力の修得・向上のための研修等を実施する。教員の業務経験や能力、担当する授業科目や授業以外の担当業務等に応じて、各校教務課が主体となって専攻分野における実務に関する研修等と指導力の修得・向上のための研修等をそれぞれ毎年度1回以上実施するものとする。

第8章 そ の 他

第38条（懲戒） 学校長は、学則に従って教育上必要と認めるとき、以下の懲戒を加えることができる。
退学・停学・出席停止処分について
下記の事項に該当する者には退学・停学・出席停止を命ずることがある。

- ・素行不良で改善の見込みがないと認められる者。
- ・正当な理由なしに出席が常でない者。
- ・学校の秩序を乱し、その他学生としての本分に反した者。
- ・犯罪行為を行った者。

2 除籍・出席停止処分について

下記の事項に該当する者は、除籍・出席停止処分を命ずることがある。

- ・正当な理由をなくして授業料の納付義務を怠り、督促してもなお納付しない者。

第39条（アルバイト） アルバイトは原則許可するが、風俗営業に関わる店舗でのアルバイト、及び深夜アルバイト等学業に支障をきたすものは禁止する。

第40条（施設の利用） 学園内の全ての教室、施設は公共のものであり、大切に扱わなければならない。

2 施設・設備に対し、公共の意識に反する行為を行なった者に対しては、学則に従い、処分する。

3 教室および共有部分に私物を置くことは禁止する。

第41条（事故防止） 盗難事故・交通事故に関しては各自充分注意すること。
事故防止に関して以下の事項に留意すること。

（1）学園には、必要以上の現金や貴重品を持参しないこと。

（2）各自の所持品は自己管理すること。

第42条（バイク・車での登校禁止・自転車通学）

バイク（50cc 含む自動二輪車）又は車での登校は禁止する。

2 自転車で通学をする場合は、自転車保険に加入し事務局にて許可を得た上、指定された場所に駐輪すること。また許可シールを所定の場所に貼り付けること。

第43条（喫煙・携帯電話等）

学園施設・校舎内はすべて禁煙とする。国際外語専門学校生およびコンピュータ専門学校生には、定められた場所でのみ喫煙を許可する。

2 携帯電話は授業の支障とならないよう留意すること。

第44条（留学生特別規則）

以下の事柄を留学生にのみ適用する。

必修授業の出席率が90%を下回った場合、翌年度の学費ランクが下がる。
ただし、3年制以上のコースは、2年次の年間出席率が95%を超えると、学費ランクを元に戻す。

2 資格外活動の許可（入管法第19条（資格外活動の許可）に基づき、アルバイトは1週間につき28時間以内とする。長期休暇期間は1日8時間、1週間40時間までとする。また、夜0:00～5:00までのアルバイトは原則禁止とし、勤務可能な日は卒業式に出席する日までとする。

3 留学生の留年、休学、転科は、学校長が許可した場合のみ認められる。

4 留学生が退学する場合、退学届提出後2週間以内に帰国しなければならない。

第45条（規約の改廃）この規約の改廃は、学園運営会議の承認を受けて行う。

附 則

（附則）

この教務規約は平成20年4月1日より施行する。（山口学園3専門学校の教務規約を統一）

平成21年 4月 1日 一部改訂（授業時数・授業時数の単位数への換算を追加他）

平成22年 4月 1日 一部改訂（進級・卒業単位数の統一他）

平成23年 4月 1日 一部改訂

平成24年 4月 1日 一部改訂（授業時数・授業週数変更他）

平成25年10月11日 一部改訂（学校ごと学校評価、教育課程編成委員会、教員研修を追加）

平成26年 4月 1日 一部改訂

平成27年 4月 1日 山口学園3専門学校の教務規約を再統一し改訂（国際外語・コンピュータの2年生以上を除く進級・卒業単位数変更、成績評価ランク・総合評価点変更、国際外語の2年生以上を除く特別単位認定数の上限設定他）

平成28年 4月 1日 一部改訂（ECCアーティスト美容専門学校に校名変更、進級・卒業単位数と特別単位認定数の除外学年規程削除他）

平成29年 4月 1日 一部改訂（懲戒について変更）

平成31年 4月 1日 一部改訂（成績評価、特別単位、交通機関の運転見合わせ・天候等による休講、休学、復学、退学、除籍、懲戒、留学生特別規則等の変更または追加）

令和 2年 4月 1日 一部改訂（成績評価ランクの規定追加）

令和 3年 4月 1日 一部改訂（新型コロナウイルス感染症による出席停止）

令和 4年 4月 1日 一部改訂（留年、出席率・欠席・遅刻・離席・早退、休学、退学、除籍、ECCアーティスト美容専門学校学科名の変更・美容科出席率の変更または追加）

ECC国際外語専門学校 学校生活の基本ルール

□授業について

私語、立ち歩き、無断の入退室など授業を妨害する行為は特に慎みましょう。また、居眠り、スマートフォンの操作（許可があった場合を除く）、担当講師の許可なく飲食するなど、授業を妨害しない行為であっても慎んでください。また、許可なく授業中の動画・静止画の撮影を禁じます。

担当講師から累積して三度注意を受けた場合は、授業に出席する意思がないものとみなし、欠席扱いとします。また授業の妨害となるため、担当講師から退出するように命じられた場合は、速やかにその指示に従ってください。退出を命じられた授業は欠席扱いとなります。さらに悪質な授業妨害と判断される場合、担任との面談、反省文の提出、保護者への連絡、教務課責任者や学校長との面談を行います。場合により、出席停止、停学、退学の処分となることがあります。

□快適な学内環境の維持について

上記「授業について」に加えて、授業の内外を問わず、理由なく教職員の指示に従わない、暴言、暴行などの学内環境を損なうような行為は、出席停止、停学、退学などの措置を講じます。全ての学校関係者にとって快適な学内環境づくりに向けて、ご協力をお願いします。

□授業の出欠管理について

すべての授業において、ＩＣカードリーダーを使用して出欠管理を行います。

出席登録には学生証が必要です。学生証を忘れた場合は、各館事務局にて「授業出席登録申請用紙」を入手し、各授業にて講師より承認をもらい、１号館１階事務局に３日以内に提出してください。

提出時には登録手数料１００円の支払いが必要です。

□試験について

定期試験や検定試験では、本人確認のため学生証を携帯してください。担当講師から提示するように求められた場合は、速やかに指示に従ってください。

カンニングなど不正行為を行った場合、当該科目だけでなく当該学期のすべての科目の素点を０点とし、出席停止、停学、退学などの処分となることがあります。カンニング行為を行った者だけでなく、故意にカンニング行為に加担した者すべてがルール違反をした者とみなし、同様の処分を科します。

□入館について

ECC国際外語専門学校への入館は防犯上の理由により正面玄関のみとします。

□喫煙について

ECC 国際外語専門学校校内での喫煙は所定の場所のみ可能です。それ以外の場所での喫煙は一切禁止されています。未成年での喫煙を発見した場合や校内において喫煙のポイ捨てを見かけた場合は厳重な処分を科します。マナーの面、防火の面から考えルールを守りましょう。ルールが守られない場合には喫煙所を閉鎖します。

□共同で使用する場所のルール

１～３号館とも教職員室・講師控室・１階教職員用トイレは学生の入室を禁止します。

教職員・講師に伝えたいことがあれば、１階事務局にて呼んでもらうようにしましょう。

エレベーターの混雑を緩和するため、２～５階フロアの移動時は階段を使いましょう。

□情報ネットワークのルール

人が嫌がる可能性のある情報や個人的な情報を、SNS等に掲載することを禁止します。またインターンシップ、企業見学会、内定先企業研修などで知った企業情報をSNS等に掲載することを禁止します。安易な判断が大きな事件に発展することをしっかりと自覚してください。また、学内のwifiを学習目的以外で使わないで下さい。

□コース変更について

本校では、コース毎に定められた修業年度でカリキュラムを設定していますので、入学時から卒業までコース変更をすることはできません。ただし、所属コースで提供している専門性とは異なる進路を希望し、他コースでの学習に能動的に取り組みたい学生は、他コースへの転学科を認めることがあります。定員や選考方法については教務課までお問い合わせください。

ECC国際外語専門学校 留学規程

2021 年 4 月 1 日制定

2022 年 4 月 1 日改訂

（趣旨）

第1条 この規程は、ECC国際外語専門学校（以下「本学」という）の留学の種類、目的、手続等に関し、必要な事項を定めるものとする。

（留学の定義）

第2条 この規程による留学とは、本学の許可の下、外国の大学または語学学校などの教育機関等において学修することをいう。留学先における学修成果については、本学で審査の上、本学で修得した科目として単位を認定することができる。

（留学の種類）

第3条 本学の留学の種類は次の各号のとおりとする。

- （1）コース対象留学
- （2）海外インターンシップ
- （3）短期語学留学
- （4）フリーセレクト語学留学
- （5）個人留学

第4条 コース対象留学は、更なる外国語運用能力の向上を目指し、現地での研修を通じて、専攻ごとの専門知識を実践的に身につける制度である。

第5条 海外インターンシップは、現地企業等のインターンシップに参加し、現地スタッフとともに働きながら、実践的なスキルと専門力を高め、社会人としてのビジネストレーニングを行う制度である。

第6条 短期語学留学は、留学先の言語における読む・書く・聞く・話す・発信するの5技能を集中的に学習することで、外国語運用能力の向上と異文化への理解を図る制度である。

第7条 フリーセレクト語学留学は、ECC海外留学センターLET'Sを媒介とした個人留学であり、英語圏約100校から選択できる制度である。

第8条 個人留学は、本学許可の下、個人が選択した教育機関において学修する制度である。

（留学の期間）

第9条 留学の期間は、留学先の修学期間の始期から終期までとし、原則として1年以内とする。ただし、学校長が、教育上特に必要と認められるときは、1年を限度として延長を許可することがある。

（留学資格審査）

第10条 留学に際しては資格審査を行う。

- (1) 学内成績、出席状況、人物すべてにおいて良好であること。
- (2) 渡航するにあたり、最低限の外国語能力を有していること。
- (3) 心身共に留学に耐えうる健康状態であること。
- (4) 誓約書を提出しており、保護者の同意が得られていること。
- (5) 本校指定の海外旅行保険・留学保険・ワーキングホリデー保険等に参加していること。
- (6) そのほか本学が必要と判断する項目を充足していること。

(留学許可の取消)

第11条 次の各号のいずれかに該当する場合は留学許可を取り消すことがある。

- (1) 進級要件や卒業要件が充足できない場合、または充足できないことが予見される場合。
- (2) 学業成績および出席状況が良好でない場合。
- (3) 留学決定後に退学または休学した場合。
- (4) 本校学則第6章第24条に定める懲戒処分を受けた場合。
- (5) そのほか本学が留学許可を取り消すことが適切と判断した場合。

(渡航の禁止)

第12条 第1項 次の各号のいずれかに該当する場合、渡航を禁止することがある。

- (1) 入国制限および入国後の行動制限措置が行われている場合。
- (2) 外務省より危険情報レベル2以上が発出されている場合。
- (3) 査証が発給できなかった場合、却下された場合。
- (4) 感染症感染患者数が増加傾向にある場合。
- (5) 渡航国において、語学学習および就労（インターンシップ）が不可能な場合。
- (6) 安全なホームステイ先および学生寮が確保できない場合。
- (7) 心身共に留学に耐えうる健康状態でない場合。
- (8) そのほか本学が留学許可を取り消すことが適切と判断した場合。

第2項 上記の状況下であっても、本校指定の海外旅行保険・留学保険・ワーキングホリデー保険等の加入、及び、誓約書の提出を以て渡航を許可する場合がある。

(留学辞退)

第13条 留学決定後において留学を辞退する場合は、辞退届を提出しなければならない。

(留学先決定)

第14条 留学先については個人の希望、および留学資格審査の結果を総合的に判断し本学が決定する。

(帰国命令)

第15条 次の各号のいずれかに該当する場合は留学を中止し、速やかに帰国しなければならない。

- (1) 留学先における学業成績および出席率が所定の基準に達しなかった場合。
- (2) 留学先において違法行為を行った場合。
- (3) 査証が認められない場合。
- (4) 傷病その他やむを得ない理由により留学を続けることができない場合。
- (5) そのほか本学が留学継続を困難と判断した場合。

(留学中の免責事由)

第16条 本規定および本学の指導から逸脱する行為や事故等ならびに次の各号のいずれかに該当する事由については、本人の責任において処理するものとし、本学は一切の責任を負わない。

- (1) 天災地変、不慮の事故、交通事故、政府・公共団体の命令、交通機関の事情による遅延や欠航、ストライキ、テロ、戦争、暴動、海賊、盗難、詐欺、税関規制、流行病、食中毒、うつ病、自死、自傷行為、妊娠、性病など。
- (2) その他管理しえない事由による損害。

(留学期間中の連絡)

第17条 留学期間中の連絡について、本学からの連絡を常に受けられる体制にしておかなければならない。また、留学先の教育機関からの連絡もすみやかに対応できるようにしておかなければならない。

(途中帰国の費用)

第18条 本規定および本学の指導から逸脱する行為や事故等により途中帰国が強いられる場合、また個人的な事情による途中帰国が強いられる場合の帰国にかかる一切の費用は、本人が負担するものとする。

(単位の認定)

第19条 単位の認定について、留学終了後、次に掲げる書類を所定の期日までに、教務課へ提出しなければならない。ただしやむを得ない理由により、所定の期日までに提出ができない場合は、事前に教務課へ連絡をし、指示を受けなければならない。

- (1) 留学先の教育機関が発行した成績証明書またはそれに準ずるもの。
- (2) その他本学が必要と認めた書類。

(改廃)

第20条 この規程の改廃は、学校長が行う。

附則

本規程は、2021年4月1日より施行する。

2022年4月1日 一部改訂（短期語学留学の目的の追加、渡航の禁止の追加、一部文言修正）

ECC 国際外語専門学校 連絡窓口

名 称	学校法人山口学園 ECC国際外語専門学校
所 在 地	〒530-0015 大阪市北区中崎西2丁目1番6号
電話番号	下表参照
受付時間	平日 9:00～17:00
休 み	土曜・日曜・祝日・学校指定の休校日

(電話番号)

部 署	対応内容	電話番号	FAX 番号
教 務 課	授業欠席・電話連絡 など	06-6311-1446	06-6311-1440
事 務 局	各種証明書・学費関 係など	06-6311-1443	
キャリアセンター	進路・就職関係など	06-6311-1447	06-6311-1455
留学生専門課程 (2号館)	授業欠席・学費・進 路、就職関係など	06-6372-1452	06-6372-1544
進学指導センター (大学編入コース、 3号館)	授業欠席・電話連絡 など	06-6366-0146	なし

※フリーダイヤルは、入試相談専用のため使用できません。上記番号へ連絡して下さい。

ECC 国際外語専門学校事務局

事務局の役割・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

■事務局では以下のような事務手続を行います。

証明書の発行	在学証明書・在籍期間証明書・卒業証明書・卒業見込証明書・成績証明書・健康診断書の発行を行います。
各種申請書の設置	各種証明書発行願や住所変更届等の届書を設置しています。
書類等の販売	下記の書類を販売しています。 □履歴書・封筒 1セット 180円 □履歴書用ペン 1本 100円
学割証の発行	片道100kmを超える区間を帰省、受験等の目的で乗車する場合、年間10枚まで（1回につき2枚まで）学割証を発行します。
奨学金の窓口	日本学生支援機構の案内・申請手続等、及び、高等教育の修学支援新制度の案内・申請手続などを行います。
各種検定の申込	資格試験・検定試験の申込窓口となります。 受付期間は各試験により異なります。
出席登録の窓口	学生証を忘れた場合の授業登録の申請窓口となります。 登録手数料：1回あたり100円

証明書の交付を希望するとき・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

■「証明書発行願」に必要事項を記入し、発行手数料を添えて事務局に提出してください。詳細は以下の表を参考にしてください。

証明書	発行に必要な書類	備考
在学証明書	証明書発行願	<u>手数料</u> 1通200円 （英文の場合は400円） <u>発行日</u> 申請日の翌日午後 （事務局が休みの日を除く）
卒業証明書		
卒業見込証明書		
在籍期間証明書		
成績証明書		
健康診断書		

■事務局窓口・郵便にて受付します。電話・メールでの申請は不可です。

■申請・受取時には学生証を必ず呈示してください。

■発行日は諸般の事情にて遅れる場合がありますのでご了承ください。

■英文の場合は1週間程かかります。

※事務局で入金（支払い）を行う際には現金に加えて、電子マネーが利用可能です。利用可能な電子マネーの種類は事務局にて確認して下さい。

学生証・在籍確認票を紛失したとき・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

- 「学生証再交付願」に必要な事項を記入し、交付手数料を添えて事務局に提出してください。また、不正使用により被害を受ける危険もありますので、警察にも届けてください。

項目	発行に必要な書類	備考
学生証の再交付	学生証再発行願	<u>手数料</u> 1,500円 <u>発行日</u> 申請日から約1週間後
在籍確認票の再交付	在籍確認票再発行願	<u>手数料</u> 100円 <u>発行日</u> 申請日の翌日の午後 (事務局が休みの日を除く)

- 事務局窓口・郵便にて受付します。電話・メールでの申請は不可です。
- 発行日は諸般の事情にて遅れる場合がありますのでご了承ください。
- 受取時には学生証または本人であることが証明できる(顔写真付きの)ものを持参してください。

学割の発行を希望するとき・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

- 「学割発行申込願」に必要な事項を記入し、事務局に提出してください。

項目	発行に必要な書類	備考
学割の発行	学割発行申込願	<u>手数料</u> 必要ありません。 <u>発行日</u> 申請日の翌日午後より (事務局が休みの日を除く) <u>発行数</u> 1回の発行に2枚まで申請ができます。

- 事務局窓口のみ受付します。電話・郵便・メールでの申し込み・受け取りは不可です。
- 申請・受取時には学生証を必ず呈示してください。
- 発行日は諸般の事情にて遅れる場合がありますのでご了承ください。
- 学割の使用にあたっては「学割証の発行」を参照にしてください。

住所が変わったとき及び通学経路を変更したとき・・・・・・・・・・・・・・・・

- 住所(保護者住所を含む)、通学経路、氏名など変更事項が発生した場合は、各種変更届に在籍確認票を添えて事務局に提出してください。

学費納入方法と期限・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

学年	納入形態	納入方法	期限等
1年次	3分割納入	年額を3回に分けて納入	① 合格通知後2週間以内 ② 3月11日頃 ③ 7月15日頃
2年次以降	一括納入	年額を全額一括で納入	3月20日頃
	2分割納入	年額を2回に分けて納入	① 3月20日頃 ② 7月20日頃
	提携教育ローン	信販会社による支払い	

※納入期限は変更する場合があります。

※留学生の学費納入方法は上記と異なります。

産業能率大学・自由が丘産能短期大学 併修

□2022 年度 科目修得試験日程（併修生用）

試験期	Web試験期間 正規試験期間（7日間）	レポート締切日	受験票 配布日	WEB体験版 提出締切日
4月期	4/22(金)～4/28(木)	3/11(金)	4/13(水)	3/22(火)
6月期	6/24(金)～6/30(木)	5/6(金)	6/15(水)	5/24(火)
8月期	8/19(金)～8/25(木)	7/1(金)	8/3(水)	7/12(火)
10月期	10/14(金)～10/20(木)	9/2(金)	10/5(水)	9/13(火)
12月期	12/2(金)～12/8(木)	10/21(金)	11/24(木)	11/1(火)
2月期	2/3(金)～2/9(木)	12/2(金)	1/25(水)	1/3(火)

※WEB体験版は一度のみ実施

学校生活にあたって

授業・単位・試験について

授業への出席・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

■限られた修学期間の中で高度な技術を習得するためには集中して学習する必要があります。本学園では授業への出席率を重視し、授業出席率が75%に満たない場合、その科目の単位認定は行なわれません。つまり試験で高得点をとっても、出席率が足りなければ単位認定は行われません。まず授業に出席し、担当講師の指導を受けた上でその科目の技術を習得するよう心がけましょう。

■日々の健康管理に留意して、授業の出席を心がけるようにしてください。また、各個人の出席率は個人で把握するようにしてください。

■授業開始後20分以内の入室は遅刻とし、20分を超える入室は欠席扱いとします。ただし授業を受講することは可能です。授業終了前に退出した場合は早退とします。

やむをえず離席する場合は、担当講師の許可が必要です。なお、遅刻、離席、早退の合計が20分を超えれば欠席扱いとします。

同一科目での遅刻・早退・離席を3回行なった場合、1回欠席として扱います。

■交通機関の遅れで遅刻した場合、登校し授業に行く前に、各交通機関が発行する「延着証明書」を事務局まで提出してください。承認を得た場合は出席扱いとします。

■やむをえず、授業を欠席する場合は、授業が始まる前に必ず学校に連絡してください。

■すべての授業において、ICカードリーダーを使用しての出欠管理を行います。出席登録時には学生証が必要です。学生証を忘れた場合は、各館事務局にて「授業出席登録申請用紙」を入手し、各授業にて講師より承認をもらい、1号館1階事務局に提出してください。提出時には登録手数料100円の支払いが必要です。

単位の認定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

■本学園では単位認定の対象として「正規単位」と「特別単位」があります。

正規単位

必修科目・必修選択科目	コースカリキュラムに記載されている、該当コース生として必修または、選択が必要な科目。
正規選択科目	各校が独自に開催する自由に選択できる科目。

特別単位

選択科目	ECC国際外語専門学校で開催する自由選択科目。
検定・資格	学園が認定した検定試験に合格、または資格を取得した場合。単位数は検定・資格により異なる。
コンテスト	学内または外部で行なわれるコンテストに入賞・入選した場合。単位数は内容により異なる。
研修・課外活動	学園または各校が認める研修や野外・課外の活動や特定の学校行事に参加した場合。単位数は内容により異なる。

特別単位認定制度の適用について

■原則として正規科目の授業の出席良好な者に対して単位認定されます。

■上記以外でも学校長が認めた活動に対し認定される場合もあります。

■各科目における単位は以下の条件によって認定されます。

- | |
|---|
| (1) 授業出席率が75%以上であること。
正規科目の場合・・・
(2) 総合評価点が60点以上であること。
選択科目の場合・・・
(2) 授業担当講師などの定める基準を満たすこと。 |
|---|

成績の評価・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

- 成績は「総合評価点」に基づいて決定されます。総合評価点は100点満点で、各授業や学期末におこなわれる試験の点数や、授業への取組状況、授業態度などの平常点、授業で出された課題提出状況などの課題点の合計で計算されます。
- 科目によっては課題点だけや平常点と課題点の合計だけで計算される場合もあり、試験の点数、平常点、課題点の割合は科目によって異なります。
- 総合評価点の結果に基づいて「評価ランク」が決定されます。点数に応じる評価ランクは「教務規約第11条（成績評価ランク）」の記載とおりです。

進級・卒業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

- 各学校の学則に定められた必要単位数を修得し、学費・諸経費をすべて納入した者に対して、学年末に学校長が進級（卒業）を認定します。
- 進級・卒業単位数・要件は各学校・各コースにより異なります。
- 進級要件・卒業要件を満たさない場合は、留年する場合があります。留年となった場合、前年度に修得した単位は無効となり、もう一度全科目の受講が必要です。
- 1年次に留年し、もう一度同じ学年となる場合は、転科となります。この場合、前年度と同じコースに在籍できるとは限りません。
- 進級・卒業単位不足者に対して追加履修科目（補講、有料）を開講する場合があります。

試験について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

- コースにおいて正規授業として組み込まれている科目は各学期（前期／後期）末や授業内にて試験を行う科目があります。追試験については以下を参考にしてください。

追試験・ 追課題	□総合評価点が単位認定基準を下回った場合、「追試験」「追課題」を行う場合があります。すべての教科において追試験・追課題が行われるとは限りません。 □その科目の出席率が75%以上でなければ、追試験・追課題を受験することは原則としてできません。 □追試験・追課題の結果、合格した場合においてもその教科の総合評価点は60点となり、「D」評価となります。 □追試・追課題対象者は受験願と1科目につき1,000円の受験料を定められた期日までに事務局に納入しなければなりません。
-------------	---

成績について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

- 成績報告書は前後期期末に、また前後期中間には出席状況報告を保護者または保証人に通知します。
- 保護者または保証人に通知する各期末の成績報告書には、各科目の評価点、評価ランク、出席率および担任の所見が明記されますが、事務局で発行する成績証明書には単位を修得した科目の評価ランクのみが記載されます。（一部学科で記載事項が異なる場合があります。）

学生表彰・特待生制度

■本学園生は全員、以下のような表彰の対象となります。皆勤賞以外の表彰者は、教職員が推薦し審査の上、学校長が決定します。

大阪府知事賞	出席率・成績ともに優秀で模範となる学生生活を送った者。
大阪府専修学校各種学校 連合会会長賞	出席率・成績ともに優秀で多くの資格検定試験に合格した者等。
学校長賞	他の学生からの人望が厚く、模範となる学生生活を送った者または団体。
皆勤賞	各年度において1年間、無遅刻・無欠席であった者。

■成績優秀な学生に対する特待生制度があります。

特待生制度	☐ 入学の際の選考結果や在籍時の成績に応じて、年間学費（一部もしくは全額）を免除する特待生制度があります。 ☐ 特待生はその成績により、免除額が異なります。 ☐ 2年次以降の特待生は、次年度授業料請求時の書面で連絡します。
-------	--

学費・奨学金制度

学費について

■本学園における学費には入学金・授業料・施設設備費等が含まれます。2年次以降、入学金は必要ありません。

■在籍を許可された者は、学費を所定の期限内に納めなければ進級、卒業が認められません。

■いったん納入された学費は、4月1日以降、理由の如何を問わず一切返還されません。

学費および教材費等納入の留意事項

■納入期限の1ヶ月前に指定の銀行振込用紙を同封した書類を郵送します。

■指定の銀行における振込以外の納入（現金持参による事務局での支払いなど）はできません。

■振込の際は、本学園指定の振込用紙を使用して銀行窓口にて行なってください。

（三菱UFJ銀行（三菱UFJダイレクト/ATM/窓口）にて手続きをされた場合は、銀行振込手数料は当学園負担となります。）

■ATMでも納入は可能ですが、学生氏名・学籍番号等の入力漏れがないように注意してください。

（他行のATMを利用された場合は、銀行振込手数料はご依頼人様負担になります。）

■国の教育ローン（日本政策金融公庫）・銀行ローンの申込みにおいて本学園生における手続き代行はしておりません。各取り扱い窓口に直接申し込んでください。

奨学金制度・学費納入に関する相談

■日本学生支援機構奨学金は事務局が扱っています。毎年4月に学内にて説明会を実施します。

■本校は高等教育の修学支援新制度（無償化）の対象校です。4月以降に学内にて説明会を実施します。

日本学生支援機構のホームページ、進学資金シミュレーターなども参考にしてください。

■奨学金制度は政府政策の変更などにより制度変更・廃止される場合があります。

■地方自治体によっては独自の奨学金制度を実施しているところもあり、本学園生も対象となっています。詳しくは各自治体にお問い合わせください。

■特に何らかの理由により家計が急変し、学業継続が困難になった場合や学費納入に関して困ったことがあれば、事務局にご相談ください。

■奨学生に認定された後、長期欠席・休学・退学等の異動事由が生じた場合は、速やかに事務局へ届け出てください。

学生証・学籍番号・通学定期券・自転車通学

学生証・学籍番号

- 学生証は、本学園生であることを証明する身分証明書であり、常に携帯しておいてください。在学中のすべての事務手続きは、学籍番号、またはクラス・出席番号によって処理を行ないます。
- 学生証は紛失・盗難・汚損などのないように取り扱いに注意してください。もし、紛失や盗難にあった場合は、必ず事務局へ届け再発行の手続きをしてください。また、警察署へも届けてください。
- 再発行手数料は各校事務局に問い合わせてください。
- 授業受講時及び学園の施設等を利用する場合、学生証を呈示する必要があります。
- 通学定期券を購入する場合、学生証と在籍確認票の両方が必要です。
- 学生証は、休学、退学、除籍などで、本学園生の身分を失った場合は、直ちに事務局へ返却してください。

通学定期券の購入

- 通学定期券は、所定の最寄り駅から本学園の最寄り駅までの区間に限り購入することができます。
- 購入区間については、年度はじめに事務局の指示に従って申請したものが、通学定期発行控に記入されますので、必ず通学証明書（在籍確認票）に記入された利用交通機関・通学区間で購入してください。それ以外での定期券の購入はできません。
- 通学定期券購入の際は、駅に備え付けの定期乗車券購入申込書に必要事項を記入して、学生証と在籍確認票とともに、定期購入窓口にて提出してください。
- 住所変更などにより、通学区間に変更があった場合には、速やかに「変更届」を提出し、通学証明書（在籍確認票）の変更手続を行なってください。
- 定期券を使って交通機関を利用する場合は、必ず学生証と通学証明書（在籍確認票）を携帯し、係員の請求があった場合は、いつでも呈示してください。

学割証の発行

- 学割証は、本学園生が、片道営業キロが100kmを超える区間を乗車する場合、割引普通乗車券を1人1回に限り購入できる証明書です。原則として、帰省・就職活動・受験・スクーリング・保護者旅行随行・見学などの目的に使用する場合に限り発行します。
- 学割証は、事務局備え付けの学割発行申込願に必要事項を記入し、学生証を添えて申し込んでください。
- 交付枚数は年度毎に1人10枚迄に限られ、1回の発行枚数は原則として2枚以内です。

学割証の使用については学割証裏面の注意事項を厳守することはもちろん、次の事項に注意してください。

☐ 学割証は本人に限り使用できますが、学生証・在籍確認票を携帯しない場合は使用できません。

☐ 学割証は、片道100kmを超える区間を乗車・乗船する場合に使用でき、有効期間は発行日から3か月以内です。

通学定期・自転車通学.....

■通学定期券・学割証は、以下のような不正使用を絶対にしないでください。

- ☐ 通学区間・最寄り駅の虚偽申請（定期券の場合）
- ☐ 本人以外が使用する
- ☐ 学生証・在籍確認票を持たずに使用する
- ☐ 通用期間経過後に使用する
- ☐ 表示事項を改変し使用する
- ☐ キセル乗車（乗車駅と降車駅近くの乗車券を使い、中間の料金をごまかすこと）する

■不正が発覚した場合、通学定期券は没収され、乗車区間の3倍に相当する運賃が請求されます。そればかりか、学校は通学定期券購入・学割証発行の特典を喪失し、以降本人だけでなく、他の学生全員が、通学定期券の購入と学割証の利用ができなくなります。

■そのような事態を招いた学生は、学則に従い退学の処分を行います。

■自転車通学を希望する場合は、事務局に申し出て所定の手続きを行ってください。

（年度登録費300円）

■大阪府では自転車保険の加入が義務付けられています。必ず加入するようにしてください。

こんな時は？

アルバイトをするとき……………

- アルバイトは学業に支障がない範囲に限って認めます。
- ただし、風俗営業に関わる店舗でのアルバイトに従事することは認めません。
(アルバイトを認めない業種例) 客を接待して飲食させる店、パチンコ店、マージャン店など。
- 学業に支障をきたすとみられる深夜のアルバイト等は認められません。
- 留学生は資格外活動の勤務時間を必ず守ってください。

相談したいときや悩みがでてきたとき……………

- ひとりで解決しようとせずに、早めに誰かに相談しましょう。
 - ・学校生活全般の質問や悩み、休学・退学の相談は担任の先生にしましょう。
 - ・学費の相談は事務局にしましょう。
 - ・進路相談は、担任かキャリアセンターの先生にしましょう。
 - ・体調が悪くなった時は保健室があり、看護師が常駐しています。
 - ・心の問題には、学生相談室のカウンセラーが対応します。

落とし物や忘れ物をしたとき……………

- 落とし物や忘れ物の問い合わせはまず、ところあたりのある場所をさがし、それでもなければ事務局に問い合わせてください。ただし、すべての落とし物や忘れものが事務局に届くわけではないのでテキストなど自分の荷物には名前を記入し、しっかり自己管理してください。
- 落とし物や忘れ物を見つけたときは、事務局へ届けてください。
- 落とし物や忘れ物は、各学期終了後、処分します。
- まれに学内での盗難なども発生します。以下のことに十分注意してください。

- ☐ 学校には、必要以上の現金や貴重品を持参しないでください。
- ☐ お金は各自で自己管理してください。
- ☐ 教室を離れるときには貴重品は必ず身につけてください。

台風や地震等の非常時には……………

- 学内にいて火事や地震が発生した場合は、学内放送などで避難誘導を行ないます。担当の先生の指示に従ってあわてずに行動してください。
- 台風や地震の災害時や交通機関の運転見合わせの場合は、休講となる場合があります。
- 休講の判断は「教務規約第20条」をご覧ください。
- 特別休講の規定に該当しなくても災害時は無理をして学校に来る必要はありません。それによって出席率が不利にならないように対処します。
<無理をして学校に来ない方が良い場合>
- 大阪府以外の場所に住んでいて、その府県に暴風警報などが出ている場合。
- 警報などは出ていないが、公的な交通機関が動いていない場合。
- 家から出ることによって明らかに危険な状況の場合。
- 上記の理由で来られない場合、学校に連絡をしてください。

各種受付期間について……………

- 奨学金・検定試験の申請などのように受付期間を定めてある場合は、期間終了後の受付は一切行ないませんので特に注意が必要です。

呼び出し・照会.....

■電話口への取次ぎはできません

保護者の方や友人等から電話による呼び出しを学校に依頼される場合がありますが、学校では学生一人ひとりの居場所について把握することはできません。従って、電話口への取次ぎや放送は一切行いませんので、予め保護者の方や友人たちに知らせておいてください。

■学生（卒業生を含む）や教職員の住所・電話番号等の問い合わせには一切応じることができません。

各種申請手続

休学・復学・退学の申請

休学	休学とは、学生が在籍のまま学校を長期間休むことです。 やむを得ない理由で休学を希望する場合は、事前に担任と相談の上、「休学願」にその理由を記入し、病気の場合は診断書などを添えて担任に提出してください。 □休学期間は通算2年以内となっています。 □「休学願」は担任または教務課より受け取ってください。 □休学するには、休学を申し出た当該年度の授業料と諸経費を完納する必要があります。
復学	復学とは、休学していた学生が再びもとの学校に復帰することです。 休学者が復学を希望する場合は、復学願に必要事項を記入し事務局に提出してください。「復学願」は事務局に準備してあります。 □復学は許可を受けた翌年度の4月1日からとなり、年度途中での復学は認められません。 □休学者が復学した場合、休学前の学年で取得した単位はすべて認められます。
退学	退学とは、学生が在学中に特別の理由で、自発的に学校をやめることです。 やむを得ない理由で退学を希望する場合は、まず担任の先生に相談してください。本学において退学を希望するものに対しては、以下の事項を確認しその確認が取れた時点で「退学願」を本人に渡します。 ・退学する理由がはっきりしていること。 ・退学後の進路がはっきりしていること。 ・退学する学生の学費を出している方（保護者等）の同意を得ていること。 担任の先生や教務課と相談後、退学が決定したら「退学願」を渡します。「退学願」に必要事項を記入後、学生証・在籍確認票を添えて提出してください。 □退学を申し出た当該年度の授業料と諸経費を完納する必要があります。

＊日本学生支援機構の奨学生、及び高等教育の修学支援新制度の対象者が休学・退学・復学する場合は、すみやかに事務局に申し出てください。

編入学

■教務課の規定する方法により、編入学を認める場合があります。

やむを得ない理由で欠席するとき

■すべての授業において、やむを得ない理由で欠席する場合は、該当の授業を出席扱いとすることがあります。

■この場合、かならず「欠席届」を事務局で受け取り、担任に1週間以内に提出してください。

「欠席届」が出ていない場合は出席扱いなどの処置は行いませんので、必ず「欠席届」を提出してください。その際に証明する資料も提出もしくは提示が必要な場合があります。

詳しくは「教務規約第21条」をご覧ください。

■インフルエンザなどの法定伝染病で欠席する場合は、医師の診断書または病名や登校禁止期間が証明される書類を提出してください。

就職活動などで欠席する場合

■企業訪問・就職試験・内定後の就職先からの呼び出し・事前研修等の理由で欠席する場合は、就職活動欠席届」を報告書等の書類と共に担任に提出してください。認められた場合、当該授業は出席扱いとなります。

■「就職活動欠席届」の書類の流れ

- ① 「就職活動欠席届」をキャリアセンターにて入手する。
- ② 必要事項を記入の上、キャリアセンターへ申請。
- ③ 説明会、入社試験等に参加（説明会の場合は担当者様の署名もしくは資料が必要）。
- ④ 5授業日以内にキャリアセンターに提出する。

有効期間を過ぎて提出しても受理されない場合があります。学期末は授業終了日の翌日までです。

欠席する場合、遅刻・離席（早退）する場合.....

- 授業を欠席する場合は必ず担任もしくは学校まで連絡してください。
- 遅刻（離席、早退を含む）により、合計20分間以上席を離れた場合は欠席とします。
- 遅刻（離席、早退を含む）3回で、欠席1回とします。

住所が変わったとき.....

- すみやかに「変更届」と「学生証」・「在籍確認票」を事務局に提出してください。「変更届」は事務局に準備してあります。

通学経路を変更したとき.....

- すみやかに「変更届」と「在籍確認票」を事務局に提出してください。「変更届」は事務局に準備してあります。

[地震]

○まず身の安全を守る

鞆などで頭の保護をします。身近に何も無いときには、手のひらを下向きにして、頭を手で覆います。机の下に潜りましょう。大きな揺れが続くのはせいぜい1分間程度です。揺れではじき出されないように、テーブルの脚をしっかりとつかみましょう。机が無い場所なら太い柱に身をよせて姿勢を低くして頭を守って下さい。

○エレベーターは使わない

動いている場合は、すばやく、階数ボタンを全部押しましょう。階の途中で停止し、閉じこめられた場合はあわてずに連絡ボタンを押し、係員の指示に従いましょう。地震発生後、エレベーターを使うのは絶対に避け、階段を使いましょう。

○戸を開けて出口を確保

揺れが激しいとドアや窓が変形して開かなくなり、室内に閉じ込められたりします。

○外へ逃げるときはあわてずに

外に逃げるときには、瓦やガラス・看板などの落下物に注意して避難します。落ち着いた行動が大切です。

●地震発生時に学校にいなかった場合

落ち着いたら安否サイトにて安否状況を入力してください。

URL <http://anpi.ecc.ac.jp/>



安否サイトアクセスできない場合、各校まで電話をしてください。

ECC 国際外語専門学校 06-6311-1446

日本語学科 06-6372-1444

ECC コンピュータ専門学校 06-6374-0144

ECC アーティスト美容専門学校 06-6373-1447

[火災]

○煙の中を逃げる時は、出来るだけ姿勢を低くして

煙の中を逃げる時は、出来るだけ姿勢を低くします。階段も同じようにします。室内なら壁づたいに、廊下なら中央を通過して逃げましょう。

○濡れタオルで口を覆い、煙を防ぐ

濡れタオルで口を覆い、煙を防ぎます。ナイロン袋に空気を入れてかぶれば、1分半程度は呼吸ができます。

○一旦逃げ出したら、二度と中には戻らない

個人情報保護に関する基本方針

学校法人山口学園は個人情報の取り扱いに関して、個人情報の保護に関する法律を遵守し、関係各省の個人情報保護ガイドラインに準拠します。又、個人情報の収集、利用および提供を行うために以下の基本的対応を掲げ、これを守っていきます。

1. 個人情報の取得は、適法かつ公正な手段によって行います。
2. 取得する個人情報の利用目的は通知又は公表し、利用目的の達成に必要な範囲で個人情報を利用いたします。
3. 事前の同意がない限り、取得した個人情報を第三者へは提供いたしません。第三者へ提供する場合には、取得時又は情報提供前に同意を得ます。
4. 取得した個人情報は、学園内ルールに基づき安全な場所に保管し、管理します。個人情報への不正アクセス、漏洩等のリスクに対し、技術面および組織面から必要な対策、予防措置を実施いたします。不要になった個人情報は、適切な方法で確実に廃棄または消去します。
5. 個人情報の管理を適切に行うために管理責任者を定め、学園内における管理体制を整備します。
6. 個人情報に関する事故が発生した場合には、関係する本人、その他関係者に直ちに報告し、その損害を最小限に抑えるために必要な措置を講じます。
7. 自己の個人情報の開示、訂正、削除を求められた場合は、法令の規定による場合などを除き、合理的な範囲でこれに応じます。
8. 個人情報に関する法律の改正等、社会情勢の変化や経営環境等に照らして、個人情報に関する学園内ルールを継続的に見直し、改善していきます。
9. 個人情報を取扱う役員および教職員に対し、個人情報に関する法令や学園内ルールを守るための役割と責任および違反した場合の措置の教育を実施します。

以上

学校法人 山口学園
理事長 酒元 英二
平成17年4月1日

■学生相談室

学生相談室では、皆さんが学校生活を快適に過ごしていけるように、カウンセラーが心理的サポートを行っています。ひとりで考えることも大事だけれど、誰かに聴いてもらうことですっきりすることもあるはず…。

気持ちがモヤモヤした時やつらい時は、気軽に来室してください。自分自身の性格、友人関係、家族関係、恋愛、進路、将来についてなど気軽に相談できます。3校どの学生相談室でも利用可能です。

また学生相談室は、ハラスメント窓口ともなっています。ひとりで悩まずに相談してください。

相談者のプライバシーは厳守されますので、ご安心ください。

OECCアーティスト美容専門学校内相談室

【場所】アーティスト美容専門学校1号館3階

【電話】06-6375-0021 【Mail】gakuso2@ecc.ac.jp

【開室日・担当者】

月（小浦）・・・・・・10：00～18：00

火・水（矢倉）・・・・・・10：00～16：30

木（小浦）・・・・・・10：00～17：00

金（陳）・・・・・・10：00～18：00

OECC国際外語専門学校内相談室

【場所】国際外語専門学校3号館2階

【電話】06-6311-1457 【Mail】gakuso3@ecc.ac.jp

【開室日・担当者】

月・金（小原）・・・・・・10：00～18：00

火（小浦）・・・・・・10：00～18：00

水（西崎）・・・・・・10：00～18：00

木（矢倉）・・・・・・10：00～16：30

OECCコンピュータ専門学校内相談室

【場所】コンピュータ専門学校1号館2階

【電話】06-6377-8574 【Mail】gakuso1@ecc.ac.jp

【開室日・担当者】

月（矢倉）・・・・・・10：00～16：30

火（小原） 木（西崎） 金（安田）10：00～18：00

水（松本）・・・・・・10：00～17：30

■保健室

看護師・養護教諭が常駐し、みなさんが安心して安全に学校生活を送れるよう応援しています。

ベッドが用意されており、学内で気分が悪くなったり、怪我をした際に一時的に利用できます。

体調不良が続いている、体のことで相談したいなどがあれば、気軽に保健室を利用してください。

※怪我・火傷・捻挫打撲等に対応する医薬品は置いていますが、飲み薬等は置いていません。

緊急に病院へ行く必要がある場合は、すぐ近くにいる教員に申し出てください。

【場所】コンピュータ専門学校1号館2階

【電話】06-6372-6144

【開室日時】月～金・・・9：30～17：30

【担当者】松本・森田・古本

ECC社会貢献・国際交流センター

ECC 社会貢献・国際交流センターでは、学生を主体とした社会貢献／ボランティア活動を行っています。
詳しくはセンターのホームページ <https://npo.ecc.ac.jp/> をご覧ください。

1、ボランティア活動参加の流れ

①まずはボランティア登録をしよう！

ボランティアに興味がある人はセンターのホームページまたは下の QR コードから「ボランティアに参加してみたい（初回登録）」フォームにアクセスして、入力の上送信ください。センターから面談日程の調整メールを送りますので必ず確認ください。

②センターでスタッフと面談

事前にセンターのホームページの「活動報告」「活動予定（参加応募）」をチェック。面談の際、興味や関心があることをスタッフに教えてください。あなたに合った活動を紹介します。

③活動に参加申し込み

参加したい活動が決まったら、ホームページの「ボランティアに応募する」から参加申し込み。

④活動に参加しよう！

事前説明会（ミーティング）のある活動は必ず説明会に参加の上、いよいよ活動へ。

⑤活動を振り返ろう！

活動して気づいたこと、学んだことを振り返って次の活動に活かしましょう。

2、センター学生スタッフも募集中！

センターの運営に関わる「学生スタッフ」を募集しています。学生リーダー・サブリーダーのもと、年間を通じて様々なボランティア活動に関わることができます。学校を越えた仲間（日本人学生・留学生）と出会えますよ！「学生スタッフ」の詳細についてはセンターのホームページをご覧ください。また興味がある人にはセンタースタッフが面談時に詳しく説明します。

ECC社会貢献・国際交流センター

【場所】ECC コンピュータ専門学校 1 号館 2 階

【TEL】06-6372-1474

【メール】peace@ecc.ac.jp 【URL】<https://npo.ecc.ac.jp/>

【開室日時】月～金、9:30～18:30



ECCで「ECO（エコ）しよう！」キャンペーン

- 山口学園 3 校は、環境問題への取り組みを学園あげて行なっています。
無駄な「電気」は利用していませんか。
水道を流しっぱなしにしていませんか。
みんなで協力して、すこしでも地球温暖化に歯止めをかけていきましょう。



山口学園の Global 教育

詳しくはホームページで確認してみよう！



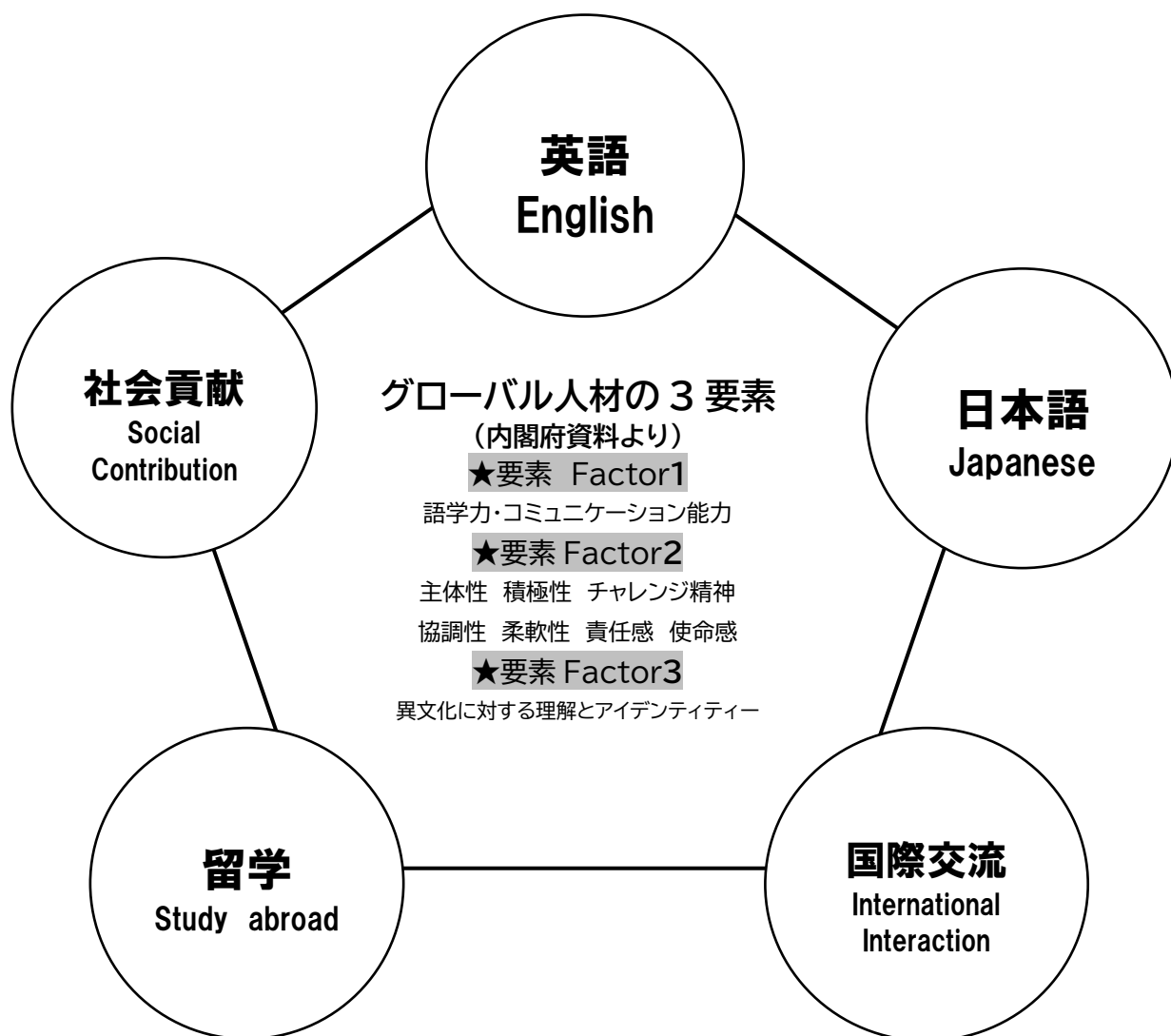
★内閣府のグローバル人材育成の 3 要素

- ・語学力/コミュニケーション能力
- ・異文化理解/アイデンティティの養成
- ・主体性・積極性、チャレンジ精神、協調性・柔軟性、責任感・使命感

★山口学園の Global 教育の 5 つの柱

内閣府の 3 要素の実現をする為に山口学園は以下の5つの柱で Global 教育を推進します。

- 1 全学生を対象に世界共通言語である英語教育を提供。
- 2 全留学生を対象に日本社会や母国の日系企業で活躍できるように日本語教育を提供。
- 3 学校/学年/学科/国籍/人種の枠を超えた国際交流活動の提供。(世界34の国と地域から)
- 4 海外の文化に触れ、言葉や職業を学べる留学/海外研修プログラムを提供。
- 5 企業・地域・NPO・官庁での社会貢献プログラムを通じて人間力を高めるプログラム提供。



※プログラム内容及び実施時期は社会情勢、最少催行条件などにより中止や変更になる場合があります。

山口学園のグローバル教育プログラム紹介①

プログラム		実施時期	主催	内容	対象者	申し込み方法
英語	EIP (Kokusai)	前期:4月18日～7月26日 後期:10月3日～1月30日 時間:月火水 13:00-13:20 木金 08:40-09:00	国際外語 1号館6階 (EIP)	"No Japanese, No Silence"がルールのECC International Plaza(EIP)。毎週決められたTopicに関して、All Englishで外国人講師と英語で会話するプログラム。文法が間違えていても発音に自信がなくても大丈夫。失敗を恐れずにどんどんコミュニケーションを楽しみましょう。	山口学園 全学生	●対面実施で行なう場合は直接EIPへ。オンライン形式で実施する場合は予約制。Google Meetを使って行ないます。オンライン形式になった場合は学生アプリにて参加方法について連絡。
	EIP (Artist)					
	EGP (Computer)	前期:4月11日～8月2日 後期:9月26日～2月6日 ※金曜日・休講日はclose 時間:12:50-13:20	コンピュータ 1号館1階 (EGP)	外国人講師と英会話を楽しみながら、語学力を磨く。トークの話題はゲーム。好きなゲームのジャンルやストーリーについて自由に会話。先生から丁寧に教えてもらえます。	コンピュータ: 全学生	●自由参加 直接EGPへ
	ELC (英語学習支援)	前期:4月11日～8月2日 後期:9月26日～2月6日 (12/19-1/5 Close) 時間:09:00-17:00 *学校行事により変更になる場合もあります。	国際外語 1号館8階 (ELC) English Learning Center	・英語図書貸出(一度に2冊まで、最長2週間)	山口学園 全学生	●自由参加 直接ELCへ アドバイス 自分でコツコツ英語学習をして、マンツーマンで先生の指導を受けます。独りではなく、仲間とともに歩んでいける場所。学習支援ツールには、英単語マラソン(英検準2級・2級・準1級)、TOEICマラソン(分野別・レベル別)をはじめ、英語4技能(読む・書く・聴く・話す)の向上を意識した学習ドリルを用意。 ELC利用者は英語力が顕著に伸びています。
				・各種英語の質問対応		
				・学習支援ツール・「〇〇マラソン」各種の提供		
				・英検各級ライティング添削、指導		
				・英検各級面接 / スピーキング練習、指導		
				・英語スピーチ / プレゼン原稿添削、指導		
				・英文添え状添削、指導		
				・英文履歴書添削、指導		
				・各種英語面接の練習、指導		
				・大学編入学入学試験解答・解説		
				・学習相談		
	全日本ECC英語スピーチコンテスト	学校大会 7月18日(月) 全国大会 9月18日(日)	・学校大会 国際外語1号館 ・全国大会 ECC本社ビル	英語レベルにより暗唱の部と弁論の部に分かれる。全国のECC(外語学院・ジュニア・国際外語)の各地区予選を通過した学生による英語スピーチコンテスト。このイベントに取り組むこと自体が英語力アップのモチベーションに繋がる。	発表者:国際 予選通過者 聴衆者:希望 者	●予選会:詳細は学生アプリで配信。原稿等書類選考通過後に学校大会へ。学校大会にて暗唱の部、弁論の部からそれぞれ3名ずつが全国大会へ。
	Global Education Awards	2023年2月9日(木)	常翔ホール (大阪工業大学梅田キャンパス)	学園のGlobal教育で得た経験と成果を発表するプレゼンテーション大会。すべての人が感動と情報を共有することで"Global Education"の価値を高める。留学生は日本語で、その他は英語で発表。学園挙げての大イベント。	発表者:各校 予選通過者 聴衆者:山口 学園全学生	●予選会:詳細は各校から発表。 各学校大会12月頃→選出者→GEA本大会
	International Beautians' Program	オリエンテーションで告知	アーティスト 2号館	IBPとは、選抜制の英会話特別授業。国内での外国人との接客、海外での勤務などに対応できる英会話力・グローバルマインドを習得し、国際的に活躍できる美容技術者を目指す。	アーティスト IBP試験合格者	●IBP試験登録→受験→合格者
日本語交流	Buddy Program	前期:4月28日～7月29日 後期:10月25日～2月3日 時間:火曜・金曜 18:45～19:25	国際外語2号館1階 (日本語学科)	世界約34の国と地域からやって来た留学生と日本人学生が友達になれる国際交流プログラム。日本語会話を通じて異文化や日本文化を学ぶ。日本人や外国人とのコミュニケーションの取り方を学ぶ。	山口学園全 学生	●説明会 前期:4月20日・4月22日 後期:10月18日・10月21日 いずれも18:45～19:25 →登録 ●直接Buddy Program参加→登録
	英語でグローバル体験プログラム	期間:5月～2月	国際外語1号館 (SR)	大阪府が運営するプログラム。高校生、中学生を対象に、学内の空港カウンター、機内サービス施設を活用し、外国人教師と留学生が英語を使って実践的英語体験を実施。大阪の高校生・中学生は英語でコミュニケーションができる喜びを体験し、留学生は日本人と交流できるプログラム。	英語が出来る 留学生	●説明会(前期・後期実施)→登録 詳細は追って連絡。
国際交流	世界の料理	随時案内	国際外語2号館 (日本語学科)	世界の食文化を通じてそれぞれの国に興味を持つ交流プログラム。料理を作り、出来上がった料理を皆で食べながら自国の料理との比較する。	山口学園全 学生	●希望者(先着順) 日本語学科1階事務局→申込
	天神祭り			日本三大祭の一つである「天神祭り」でお神輿担ぎを体験する。	日本語学科 留学生	
	紅白歌合戦			紅白歌合戦は日本で大晦日の夜に行われる伝統的なテレビ番組。留学生は日本語の歌で、日本人学生は外国語の歌で戦うイベント。	山口学園全 学生	

山口学園のグローバル教育プログラム紹介②

プログラム		実施時期	主催	内容	対象者	申し込み方法
国際交流	華道体験	随時案内	国際外語 2号館 (日本語学科)	花を生活の中に取り入れ華道の心に触れるプログラム。	留学生	●希望者(先着順) ●日本語学科1階事務局 →申込
	駅伝体験			日本独自のスポーツである「駅伝」に参加。ECCでは日本人と留学生が多国籍チームを作り大会の2ヶ月前から練習し、びわこ駅伝に挑む。	ランニングが得意な学生歓迎	
	茶道体験			日本の伝統文化で「一期一会」の心でおもてなしする茶道の作法を体験するプログラム。	留学生	
	浴衣・ヘアアレンジ体験			ECCアーティスト美容専門学校の学生が留学生に浴衣の着付と和風のヘアアレンジをする。	留学生/アーティスト生	
	Global College Network Student Ambassadors	2022年11月中旬予定	国際外語 1号館8階 (GEC)	ECC山口学園はGlobal College Network(世界12のカレッジが加盟)に参加。世界中の学生たちと国際交流を通じて親睦を深める。	国際外語 (選抜)	●希望者→面接→選出 ●詳細は追って連絡。 ※コロナ禍で実施できない場合あり。
留学	ハイブリッド型オンライン留学	2022年8月中旬～ 2022年9月初旬～ いずれも2～3週間 2023年2、3月も予定	国際外語 1号館8階 (GEC)	セブ講師による対面型のグループレッスンと現地セブ講師によるマンツーマンのオンラインレッスンを組み合わせたハイブリッド型オンライン留学。マンツーマンのオンラインレッスンのみも予定し、希望者の学びの形式を選択できるラインナップを用意。	山口学園 全学生	●希望者 募集時期は追って連絡。 申込者多数の場合は抽選。
	英国/豪州短期留学	①2023年2月10日～3月5日 ②2023年3月3日～3月26日	国際外語 1号館8階 (GEC)	イギリスもしくはオーストラリアの語学学校で学ぶ渡航型短期留学プログラム。世界各国からの留学生との交流を通して異文化理解とコミュニケーション力をアップ。	山口学園 全学生	●希望者 募集時期は追って連絡。 申込者多数の場合は抽選。 ※コロナ禍で実施できない場合あり。
	海外研修 (英国シェフィールド・ロンドン)	2022年9月(予定)	アーティスト 2号館	City & Guilds提携の現地美容サロン、カレッジ等での美容研修、語学研修を予定。原則ホームステイでの留学となりホストとのコミュニケーション、交流を体験することにより美容技術だけでなく生活面/文化面でも英国スタイルを学習する。	アーティスト美容 美容科/トップス スタイリスト	●希望者 募集時期は追って連絡。 ※コロナ禍で実施できない場合あり。
	海外研修 (米国NY)	2022年9月(予定)		コース別に分かれての美容技術を中心にした現地のメックアップスクールでの研修もしくはメイクアップブランドの店舗での研修を受講予定。	アーティスト美容 トータルビュー ティsstylist/ハ ヘアメイクア ーティスト	●希望者 募集時期は追って連絡。 ※コロナ禍で実施できない場合あり。
	海外研修 (米国LA)	2023年1月(予定)		コース別に分かれての美容技術を中心にした現地のメックアップスクールでの研修もしくはメイクアップブランドの店舗での研修を受講予定。現地の美容を学ぶ学生との交流を通して異文化理解を深める。	アーティスト美容 トータルビュー ティsstylist/ハ ヘアメイクア ーティスト/ビ ューティアド バイザー/特 殊メイク・造 形アーティスト/	●希望者 募集時期は追って連絡。 ※コロナ禍で実施できない場合あり。
	フィンランドゲーム留学	2022年9月(予定)	コンピュータ (2号館)	北欧のIT先進国であるフィンランドの大学で現地の学生とゲーム制作や、ゲーム会社を見学する。英語力・専門力・コミュニケーション力が伸び、国際的な視野が広がる。	コンピュータ 生 ゲームクリエイ ティブカレッ ジ	●追って連絡。
	セブ島IT留学	2023年3月頃		フィリピンセブ島のITスクールで、英会話とWEBデザイン・ITプログラミングを英語で学ぶ。IT業界で使う英語力と同時に、海外でのWEBサイト・IT開発が学べる。	コンピュータ 生 ITカレッジ	●追って連絡。
社会貢献活動	社会貢献ボランティアプログラム	年間を通じて様々な活動を実施しています。詳しくは社会貢献・国際交流センターのホームページ→ https://npo.ecc.ac.jp/ の「活動予定(参加応募)」で確認下さい。また、センターの「学生スタッフ」も募集中です。	コンピュータ 1号館2階 社会貢献・国際交流センター	クリーン中崎町・中崎町落書き消し活動・梅田まち案内エスコート・豊崎宮夏祭り・お初天神夏祭り・済美カーニバル(夏祭り)・梅田ゆかた祭り・北区民カーニバル・OSAKA光のルネサンス・中崎町キャンドルナイト・小児科病棟クリスマス会・キッズプラザ大阪・サタデークラス・こども食堂・赤十字献血・「あっとほーむ」・アイハウスde多文化体験・四天王寺ワッソ・国際マラソン大会(語学ボランティア、給水ボランティア)・ビジネスプランコンペedge・東北復興支援イベント・募金活動・フードドライブ・ホームレス支援・使用済み切手やエコキャップ収集、等	山口学園 全学生	●登録方法 ①初回登録を→ https://npo.ecc.ac.jp/reg から ②センターでスタッフ面談→あなたに合った活動を紹介③ホームページの「活動予定(参加応募)」→「ボランティアに応募(2回目以降)」から申込、④事前説明会のある活動は必ず出席し、活動に参加、⑤活動の振り返り(活動して気づいたこと、学んだことを振り返る。)

(注意) プログラム内容及び実施時期は社会情勢、最少催行条件、等により中止や変更になる場合があります。

3校共通 検定・資格単位認定数 一覧

取得すると単位認定される主な資格……………

下記一覧は学園で単位認定される検定・資格の主なもので、合格した場合、記載の単位数が認定されます。それ以外の検定・資格についても単位認定される場合がありますので、事務局に合格証の控えを提出してください。学校長より認められた場合は単位が認定されます。※単位は入学後受験し、取得した場合に適用します。TOEIC、TOEFLは年度ごとに最も高いスコアを年度末（3月）に認定し、単位付与します。

【語学系】

名称	単位	名称	単位
TOEIC (L & R) 900 点以上	4	中国語検定 1 級	4
TOEIC (L & R) 800 点以上	3	中国語検定準 1 級	4
TOEIC (L & R) 700 点以上	2	中国語検定 2 級	4
TOEIC (L & R) 600 点以上	2	中国語検定 3 級	4
TOEIC (L & R) 500 点以上	1	中国語検定 4 級	3
TOEIC (L & R) 400 点以上	1	中国語検定準 4 級	2
TOEIC(Speaking) 160-200 点	4	JTF ほんやく検定・翻訳士 1 級	4
TOEIC(Speaking) 140-150 点	3	JTF ほんやく検定・翻訳士 2 級	4
TOEIC(Speaking) 120-130 点	2	JTF ほんやく検定・翻訳士 3 級	4
TOEIC(Speaking) 90-10 点	1	JTF ほんやく検定 4 級	3
TOEIC(Writing) 170-200 点	4	JTF ほんやく検定 5 級	3
TOEIC(Writing) 150-160 点	3	文芸翻訳検定 1 級	4
TOEIC(Writing) 120-140 点	2	文芸翻訳検定準 1 級	4
TOEIC(Writing) 90-110 点	1	文芸翻訳検定 2 級	3
TOEFL (ITP) 600 点以上	4	文芸翻訳検定 3 級	3
TOEFL (ITP) 550 点以上	3	文芸翻訳検定 4 級	2
TOEFL (ITP) 450 点以上	2	文芸翻訳検定 5 級	1
TOEFL (IBT) 100 点以上	4	工業英語能力検定 1 級	4
TOEFL (IBT) 79 点以上	3	工業英語能力検定 2 級	4
TOEFL (IBT) 45 点以上	2	工業英語能力検定準 2 級	3
英検 1 級	4	工業英語能力検定 3 級	3
英検準 1 級	3	工業英語能力検定 4 級	2
英検 2 級	2	HSK (中国語能力認定試験) 6 級	4
英検準 2 級	1	HSK (中国語能力認定試験) 4-5 級	3
英検 3 級	1	HSK (中国語能力認定試験) 2-3 級	2
国連英検特 A 級	4	HSK (中国語能力認定試験) 1 級	1
国連英検 A 級	4	韓国語能力試験 (TOPIK) 5・6 級	3
国連英検 B 級	3	韓国語能力試験 (TOPIK) 3・4 級	2
国連英検 C 級	2	韓国語能力試験 (TOPIK) 1・2 級	1
国連英検 D 級	1	「ハングル」能力検定 1 級	4
幼保英検 1 級	4	「ハングル」能力検定 2 級	3
幼保英検準 1 級	3	「ハングル」能力検定 3～準 2 級	2
幼保英検 2 級	2	「ハングル」能力検定 5～4 級	1
幼保英検 3 級	1	日本語教育能力検定	4
幼保英検 4 級	1	日本語能力試験 N1	2
フランス語検定 1・準 1 級	4	日本語能力試験 N2	1
フランス語検定 2 級	3	日商ビジネス英語検定 1 級	3
フランス語検定準 2 級	2	日商ビジネス英語検定 2 級	2
フランス語検定 3・4・5 級	1	日商ビジネス英語検定 3 級	1
観光英語検定 1 級	3	ビジネス日本語能力テスト J1+ (600-800 点)	4
観光英語検定 2 級	2	ビジネス日本語能力テスト J1 (530-599 点)	3
観光英語検定 3 級	1	ビジネス日本語能力テスト J2 (420-529 点)	2
通訳案内士・第 1 次英語筆記試験合格	4	ビジネス日本語能力テスト J3 (320-419 点)	1

【コンピュータ系】

名称	単位	名称	単位
サーティファイ Word1 級	3	サーティファイ Excel1 級	3
サーティファイ Word2 級	2	サーティファイ Excel2 級	2
サーティファイ Word3 級	1	サーティファイ Excel3 級	1
サーティファイ PowerPoint 上級	2	サーティファイ PowerPoint 初級	1
Microsoft Office Specialist	1		

【旅行・貿易・ホテル系】

名称	単位	名称	単位
国内旅行業務取扱管理者試験（国家資格）	3	エリアスペシャリスト※	2
総合旅行業務取扱管理者試験（国家資格）	4	AMADEUS SPECIALIST	2
旅程管理主任者試験 国内	1	日本貿易実務検定 A 級	4
旅程管理主任者試験 総合	2	日本貿易実務検定準 A 級	4
旅行地理検定上級	4	日本貿易実務検定 B 級	3
旅行地理検定中級	3	日本貿易実務検定 C 級	2
旅行地理検定初級	2	通関士試験（国家資格）	4
世界遺産検定 1 級	4	国際航空貨物取扱士（ディプロマ）	4
世界遺産検定 2 級	3	レストランサービス技能検定 3 級（国家資格）	4
世界遺産検定 3 級	2	サービス介助士	2
世界遺産検定 4 級	1	観光検定 1 級	3
ユニバーサルマナー検定 2 級	2	観光検定 2 級	2
ユニバーサルマナー検定 3 級	1	観光検定 3 級	1

※エリアごとの認定、ただし各学期に認定されるのは 1 エリアのみ。

【ビジネス系】

名称	単位	名称	単位
ビジネス実務マナー検定 1 級	3	サービス接遇実務検定 1 級	3
ビジネス実務マナー検定 2 級	2	サービス接遇実務検定準 1 級	3
ビジネス実務マナー検定 3 級	1	サービス接遇実務検定 2 級	2
ビジネス文書技能検定 1 級	3	サービス接遇実務検定 3 級	1
ビジネス文書技能検定 2 級	2	日本漢字能力検定 1 級	4
ビジネス文書技能検定 3 級	1	日本漢字能力検定準 1 級	4
秘書技能検定 1 級	3	日本漢字能力検定 2 級	3
秘書技能検定準 1 級	3	日本漢字能力検定準 2 級	2
秘書技能検定 2 級	2	日本漢字能力検定 3 級	1
秘書技能検定 3 級	1	日商簿記技能検定 1 級	4
ビジネス能力検定 1 級	3	日商簿記技能検定 2 級	3
ビジネス能力検定 2 級	2	日商簿記技能検定 3 級	2
ビジネス能力検定 3 級	1	全経簿記能力検定 1 級	3
ビジネス電話検定実践級	3	全経簿記能力検定 2 級	2
ビジネス電話検定知識 A 級	2	全経簿記能力検定 3 級	1
ビジネス電話検定知識 B 級	1	マナープロトコール検定 2 級	2
硬筆書写技能検定 1 級	4	マナープロトコール検定 3 級	1
硬筆書写技能検定準 1 級	3	安全保障輸出管理実務能力認定試験（STC Advanced）	2
硬筆書写技能検定 2 級、準 2 級	2	安全保障輸出管理実務能力認定試験（STC Associate）	1
硬筆書写技能検定 3 級	1	グローバル人材ビジネス実務検定 3 級	1

就職活動に備えて ～ 入学当初から意識しておくこと ～

入学当初から意識し、取り組んで欲しい事項を次に6点あげています。すぐには結果の出せないことばかりですが、将来就職活動を行う上で大切なものです。

(1) 『やりたいこと』を明確にする

□将来の就職活動に備え、「自分のやりたいこと」をよく考えて、明確にしておきましょう。

- ・単なる憧れではなく、「何故それがしたいのか」を具体化します。
- ・やりたいことを明確にすることによって、満足のいく就職活動に繋がります。

(2) 『やりたいこと』に対応した準備を行う

□資格を取得する為の勉強をしましょう。

- ・資格を取得することで自信がつきます。
- ・たとえ不合格になっても、勉強したことは必ず役に立ちます。

(3) 卒業前年次までの成績が大事

□応募書類として、卒業前年次までの成績表を企業へ提出します。

□授業にはきちんと出席し、しっかりと勉強することから就職活動が始まっているのです。

(4) 時事問題に関心をもつ

□時事問題は筆記試験や面接試験などでよく出題されます。

□普段から新聞やインターネット等で、ニュースを見る習慣を身に付けましょう。

(5) 社会人としてのマナーを身につける

□正しい言葉遣いで、挨拶がきちんとできることが社会人としての最低限のマナーです。

□普段から先生や目上の人と正しい会話をすることで、マナーは自然に身につきます。

(6) 熱中できる何かを見つける

□学生生活を有意義に過ごしましょう。

- ・熱中できる何かを見つけて、いつも輝いた自分でいましょう。

努力しても必ず成功するとは限りません。しかし、成功した人（成功する人や成果を出す人）は必ず他人には見えない努力をしています。いつかきっと成功する自分の姿を信じて、昨日のあなたより今日のあなたが良くなる努力を積み重ねましょう。

【進学（学園各校再進学・大学編入学 など）】

(1) 学園内再進学……………

■本学園の各校を卒業後、卒業する学校または他の2校への再進学者を募集する場合があります。詳細は、各校教務課にて説明します。

(2) 大学編入学……………

■専門士を取得できるコースを卒業すると、大学編入試験合格後、大学の2年次または3年次に編入学することができます。詳細は各校教務課にて説明します。

ECC国際外語専門学校 就職指導スケジュール(キャリアセンター主催分)

《補足事項》・◆印のものは、原則として就職希望者必須参加（授業含む）とします。◇印は「申込み制」で行います。
 ・詳細日程は適時連絡します（都合により日程や内容が変更される場合もあります）。
 ・こども教育コースについては、コース特性を活かした内容で別途実施します。

	実施日	概 要
卒業前年	前期開始～	◆「キャリアデザイン[基礎編]」授業開始 ※コースにより科目名称、内容は異なります ・自己分析/業界・企業研究を中心に、就職活動上で必要となる基礎部分を習得します
	6/27(休講日)	◆第1回就職ガイダンス/ eラーニング説明会 ※対象：就職希望者（こども教育コース生は別途実施） ・入学時点で心掛けて、取り組んでおくべきことについて説明します ・基礎学力の向上を目的に学園が準備しているeラーニングシステムの活用方法について説明します
	夏期休暇期間中	◆第1回模擬面接&個人面談 ・夏期休暇期間を活用し、面接の「基本的な所作」を習得します。あわせて個人面談を行います ◇就職筆記試験対策 講座（申込み制） ・就職活動時に実施される筆記試験対策として、多くの企業で用いられている「SPI適性検査」の対策を中心にを行います
	後期開始～	◆「キャリアデザイン[完成編]」授業開始 ※コースにより科目名称、内容は異なります ・来春から始まる就職活動を円滑に行うために必要な就職力（履歴書/OpenES完成、面接力など）を高めます ◆「キャリアリサーチ」授業開始 ※総合英語コース生のみ ・就職先が多岐にわたる総合英語コース生対象に「各種業界/仕事研究セミナー」「業界人によるセミナー」「企業人との交流会」「企業見学会」「プレゼン大会」などを実施し、就職力強化を図ります
	10/21(休講日)	◆第2回就職ガイダンス ※対象：就職希望者（こども教育コース生は別途実施） ・本格的に就職活動を行う前の準備期間中にしておくべきことについて説明します [内容] 内定獲得のための重要ポイント/今後の指導予定/先輩の就職活動体験談等
	11/上旬	◇第1回業界研究セミナー（申込み制） ・業界研究の一環として、先輩が多数活躍している業界の動向、仕事内容、活動の注意点、求める人物像等について説明します ◇「SPI適性試験」学内模擬試験（申込み制）※エアライン、総合英語、アジア言語コース生は必須 ・現時点での基礎学力の程度を把握するために、SPI模擬試験を学内にて実施します
	11/19	◇就職保護者会 ※全コース生対象 ・就職の動向/内定獲得のためのポイント/本学の取り組みと支援体制/皆様へのお願い等保護者各位に説明します
	1/27(休講日)	◆第3回就職ガイダンス/履歴書用写真撮影 ※対象：就職希望者（こども教育コース生は別途実施） ・本格的な就職活動時期を直前に控え、就職活動の留意事項について詳しく説明します [内容] 活動スケジュール/求人情報収集・応募方法/会社説明会参加上の留意事項/採用試験の形式 ・学内にてプロのカメラマンによる履歴書用写真撮影を行います
	2/上旬	◆「求職票」の提出 ※対象：就職希望者全員（就職以外の進路選択者は別途「進路決定届」提出）
	春期休暇期間中	◆第2回模擬面接/個人面談 ・春期休暇期間を活用し、卒業前年の到達目標である「自己PR」「面接での基本的な所作」の完成度を確認します ◇各種講座開催[面接基礎完成、履歴書/OpenES完成、筆記試験、ディスカッション]（申込み制） ◇第2回業界研究セミナー（申込み制）：3月から多数開催する会社説明会に先立ち主要業界に絞り行います ◇関空/ホテル見学会（申込み制）※社会情勢等により中止する場合があります ・業界研究の一環として、関西国際空港やホテルの見学会を行います。
	3/1～	◆求人票公開 ◇学内企業説明会開始（申込み制）

卒業 年次	前期開始～	◆「キャリアデザイン[実践編]」授業開始 ※コースにより名称名称、内容は異なります ・受験企業に応じた自己PR・志望動機の完成/面接対策、他就職活動状況に応じて実践的な内容で行います
	4～6月	◇学内企業説明会強化 ・学内にて企業説明会を多数開催し、以降の受験に際しても、応募取りまとめ～書類添削、面接指導他、徹底した個別指導により内定獲得に導きます。 ◇求人情報提供会 ・先輩が活躍中等優良求人を中心に紹介します。積極的に参加し、早期内定獲得を実現させましょう。
	5/下旬	◆学内合同企業説明会（全学生対象、留学生対象に分けて実施予定） ・複数企業の人事担当者を招へいし、説明会を開催します。一日で効率よく複数企業の説明を聞くことが出来ます
	7/上旬	◆第4回就職ガイダンス/個人面談 ※対象：就職希望者で未決定者 ・夏期休暇期間中の就職活動の仕方について説明/個人の状況に応じた指導を行います
	10月～ ※適時実施	◆内定者ガイダンス ※対象：就職決定者 ・就職決定者に対して、入社後の留意事項について説明します

ECC 国際外語専門学校 施設の利用

施設の利用にあたっては、閉館時刻を厳守して下さい……………

- 平日の閉館時間 19:00
- 土曜日 17:30 (1号館のみ)、授業実施外の平日 18:00
- 日・祝・指定休暇は休館となります。
- 行事等により閉館時間を変更することがあります。

図書室・保健室・パソコンコーナー・学生ラウンジ等……………

■ 本校では学生及び教職員にネームタグの携帯を義務付けています。学校の全ての施設を利用する場合に必要なとなりますので、常に携帯してください。

図書室 (1号館7階)	☐ 常時自習室として使用できます。 ☐ 図書室内の新聞・書籍は自由に閲覧できます。 ☐ 飲食や私語は厳禁です。
自習室	☐ 利用できる教室は掲示または放送によりお知らせします。 ☐ 共用スペースですので入室後は静粛にしてください。 ☐ ひとりで独占せず、譲り合って利用してください。
保健室 (3号館2階)	☐ 学内で気分が悪くなったり、けがをした際に一時的に利用する為のスペースです。利用する時は1階事務局で所定の手続きを行なってください。 ☐ 保健室では、大きな怪我、急性の病気・風邪などには対応できません。病院に行く必要がある場合はすぐに近くにいる教員に申し出てください。
EIP (ECC International Plaza) (1号館6階)	☐ 山口学園の「国際力」を支援するシンボリックなスペースです。 ☐ 使用方法、スケジュールは別途案内します。
ELC (ECC Learning Center) (1号館8階)	☐ 英語に関する疑問をすべて解消できるスペースです。 ☐ 使用方法、スケジュールは別途案内します。
パソコンコーナー (1号館7階図書室内)	☐ コピー機を設置しています。(有料) ☐ パソコン(インターネット可)を設定しています。学生用として使用することができます。パソコンコーナー設置のコピー機よりプリントアウトできます。(有料)
キャリアセンター (1号館3階)	☐ 就職関連の様々な相談や資料を閲覧できるスペースです。就職指導教員が常駐していますので積極的に利用しましょう。
大学編入/進学資料室 (3号館1階)	☐ 大学編入学試験合格のための論文作成や専攻の研究に必要な図書の貸し出しや閲覧ができます。 ☐ 編入学試験の過去問題や、大学の募集要項、卒業生の受験報告書などの試験のためのデータを閲覧、コピーすることができます。 ☐ 図書閲覧やパソコンを使用できるスペースもあります。 ※利用には学生証が必要です。
その他	学生ラウンジ ☐ 1号館5階、3号館4階に設置しています。 ☐ 共用スペースですので、長時間の占有や、他の人に迷惑のかかる行為は控えてください。又ごみは各自で始末してください。 喫煙スペース ☐ 成人を迎えている方は、所定のスペースのみ喫煙可能です。 ☐ 校内の指定喫煙スペース以外での喫煙は厳禁です。

教室のインターホン……………

- 各教室にはインターホンが設置されていますが、教員間の連絡や緊急時のみ使用するもので学生の使用は厳禁です。

各種施設・設備の利用にあたって……………

- 教室に私物を置くことは禁止されています。机の引き出しなども同様です。
- 図書室、パソコンコーナー、PC 教室、LL 教室、EIP、ELC、各実習室内での飲食は禁止です。
- 施設・設備に対し、公共の意識に反する行為を行った者に対しては、学則に従い、処分される場合があります。
- 教室・実習室・実習機その他、すべて本校の施設は公共のものです。自分のものと同じように、大切に扱ってください。
- 教室の鍵を借りたい場合は 1 F 事務局まで申し出てください。

学生証を携行しましょう……………

- 授業の出席登録に学生証が必要です。
- 校舎利用にあたって、平日夜間（18：30 以降）および土・日・祝祭日は、セキュリティの関係で正面扉がロックしています。指定の場所に学生証をかざすことにより、扉を開けることができます。
- 本校の施錠時間帯は時期により異なります。掲示板等で確認してください。

ECCアーティスト美容専門学校校内サロン紹介

★ネイルサロン「LAPUA」～ラプア～

ECCアーティスト美容専門学校内に
ある本格的なネイルサロンです。

営業時間： 月～金曜日（11：00～19：00）

定休日： 土日祝・当校が定める休日

ECCアーティスト美容専門学校2号館1F

ご予約： <http://salon.ecc.ac.jp/lapua>

お問い合わせ：06-6375-4144



ハンドモデル
ハンドケア
無料！



LAPUA ECC
Instagram



ご予約は
こちらから

ハンドモデル募集！！

- ★スタッフが希望する条件を満たしている方
 - ★コンテストのモデル参加が可能な方
 - ★スタッフのアドバイスを守り、お手入れに通っていただける方
- ☆特典として月1回のケアを無料でさせていただきます☆

山口学園3校の学生は

ネイルサロンの料金が
半額になります！！



← 学生のサロンワークの
様子を動画にしました！
是非ご覧ください♪

◆ヘアサロン「embellir」～アンベリール～

美容師資格を所持した学生がサロンワーク実習を
行っております。年間100名以上のヘアモデル
を施術し美容師の実力を磨きます。
ぜひモデルとしてお越し下さい。

Menu

各90分

メニューにヘッドスパが誕生!!

- ・カット
- ・カラー
- ・ヘッドスパ



実施日

学校規定により実施。

予約

ご予約はこちら ⇒



ヘアモデル募集



☆講師が常にサポートしております。どうぞご安心してお越しください。

ECC Local Guide Map

2号出入口



ECC国際外語専門学校

① 1号館 ② 2号館 ③ 3号館

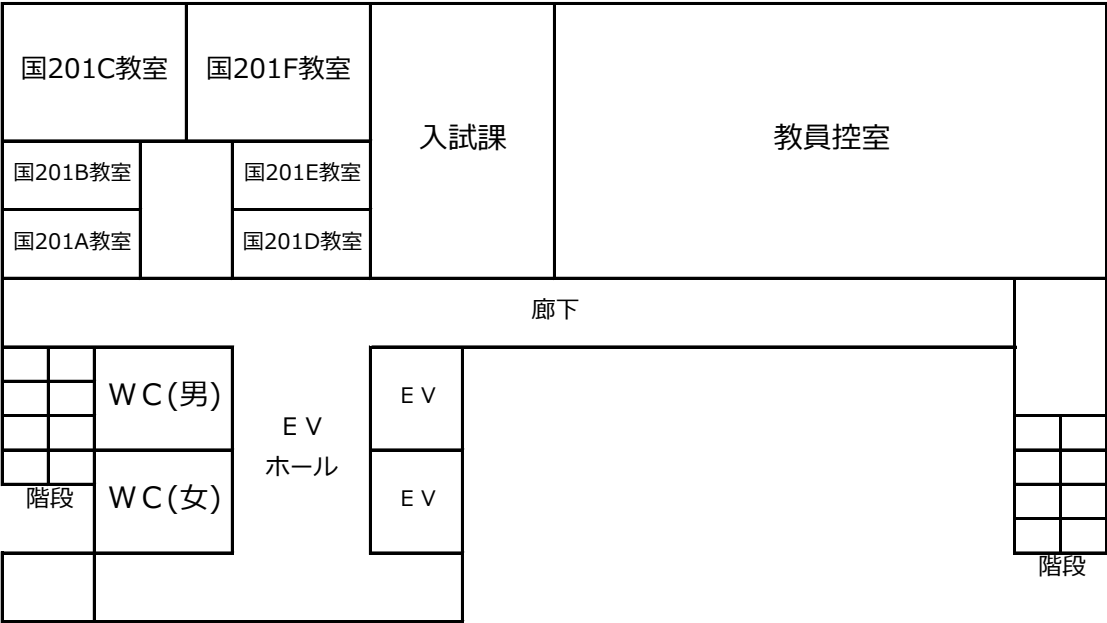
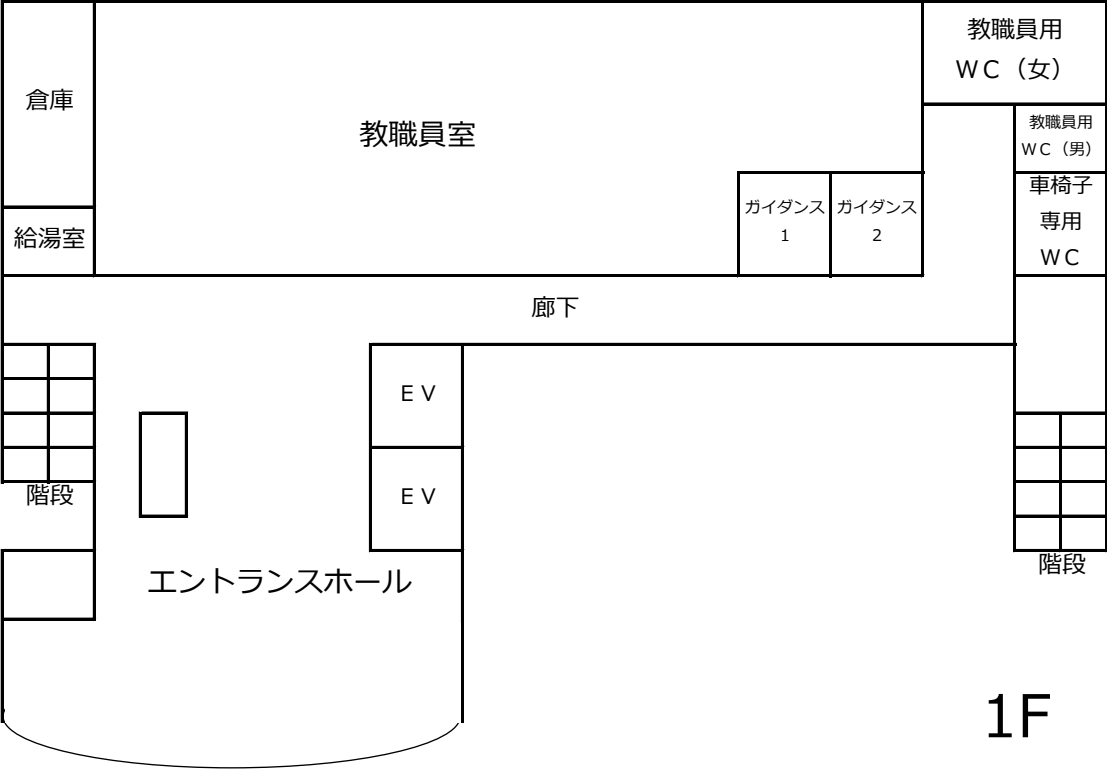
ECCコンピュータ専門学校

④ 1号館 ⑤ 2号館 ⑥ 3号館 ⑦ 4号館 ⑧ 5号館

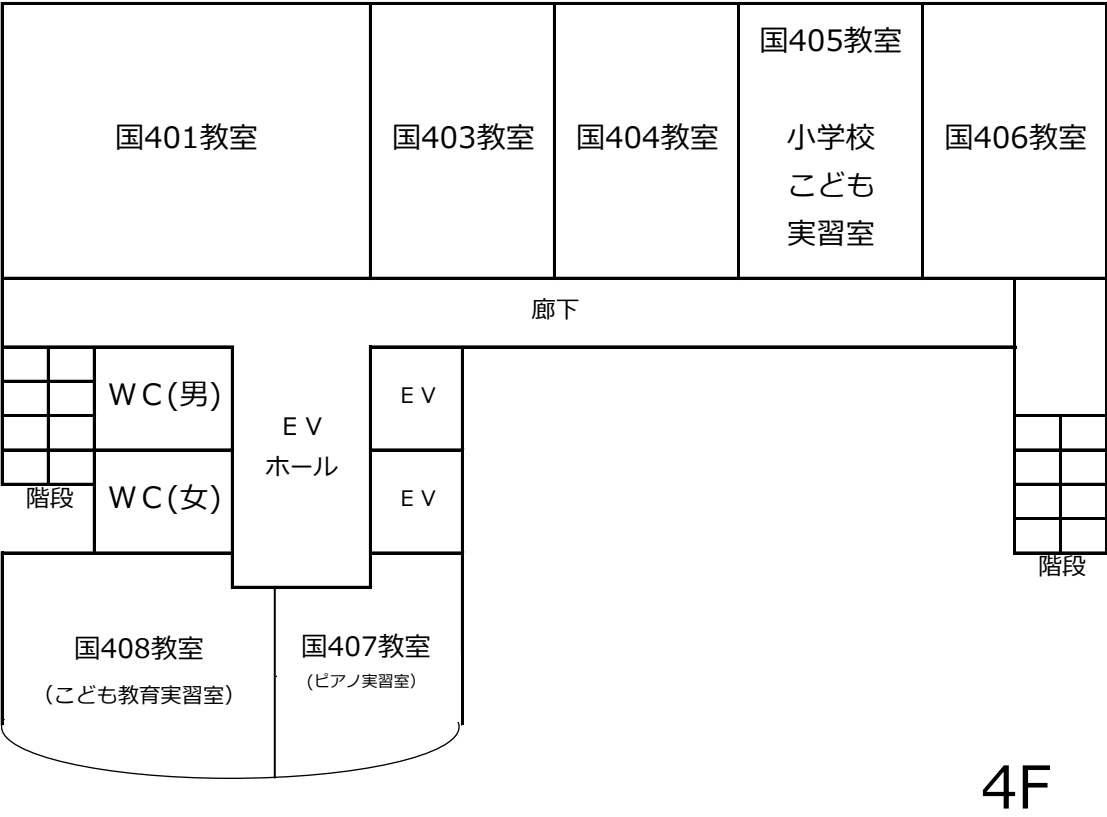
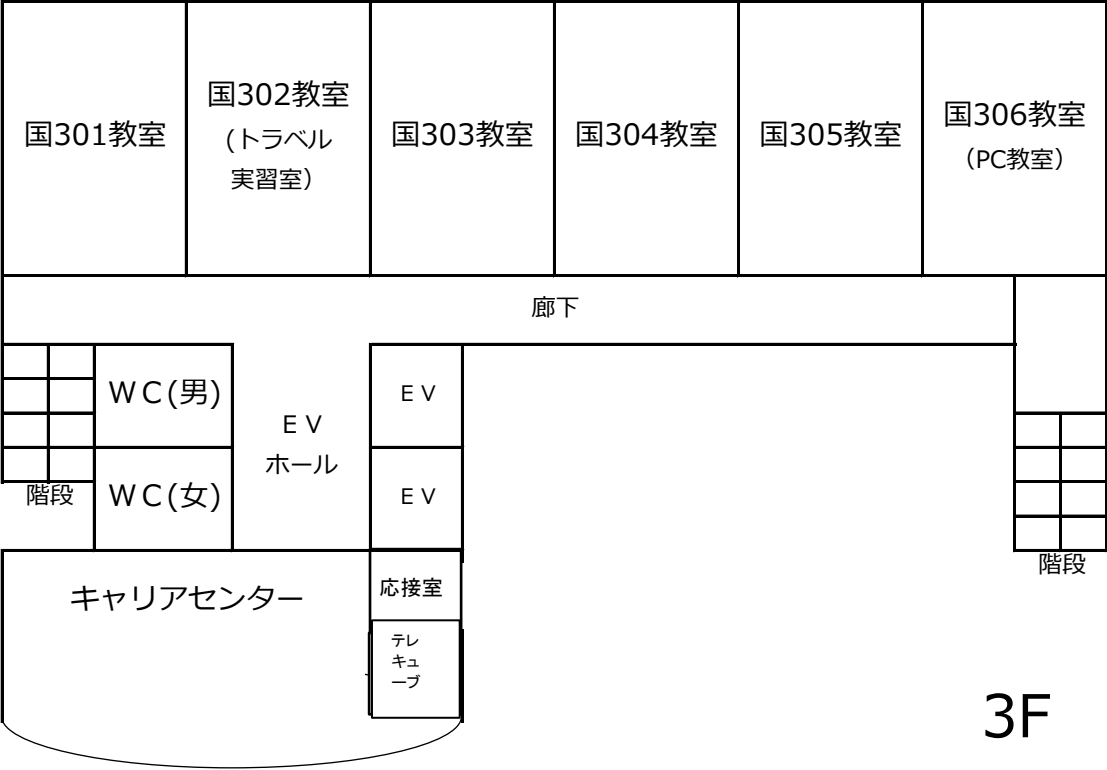
ECCアーティスト美容専門学校

⑨ 1号館 ⑩ 2号館 ⑪ 3号館

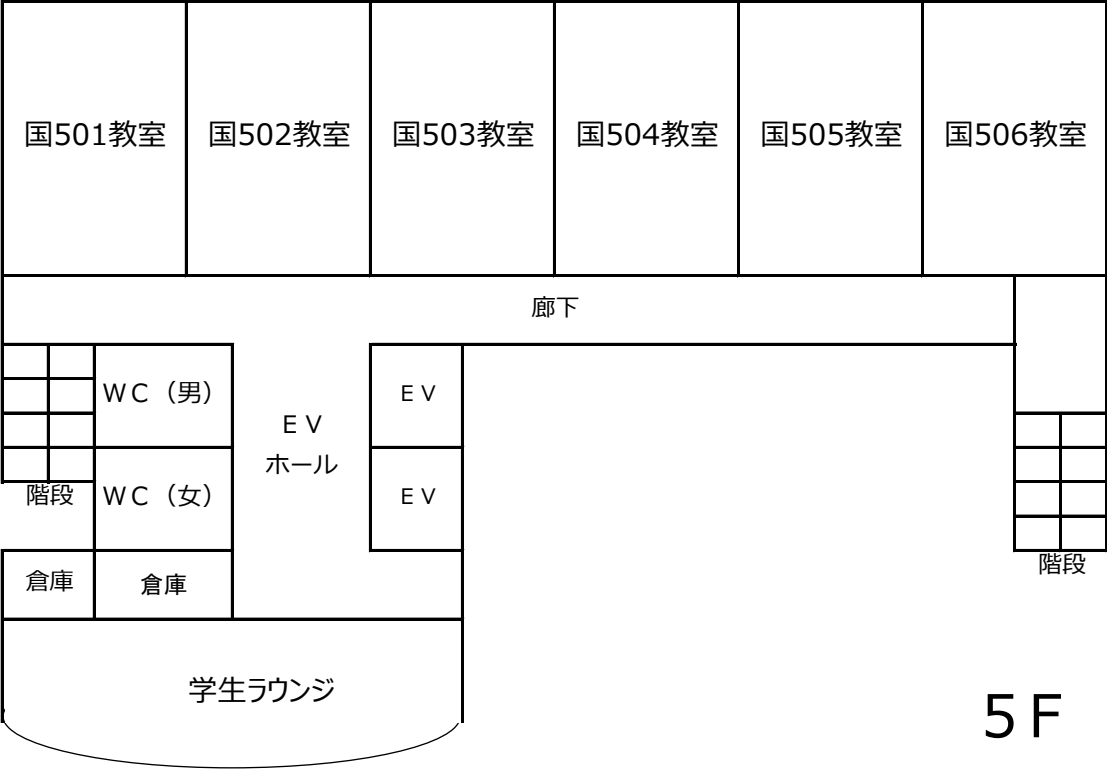
国際外語専門学校 1号館 校舎案内図 1F・2F



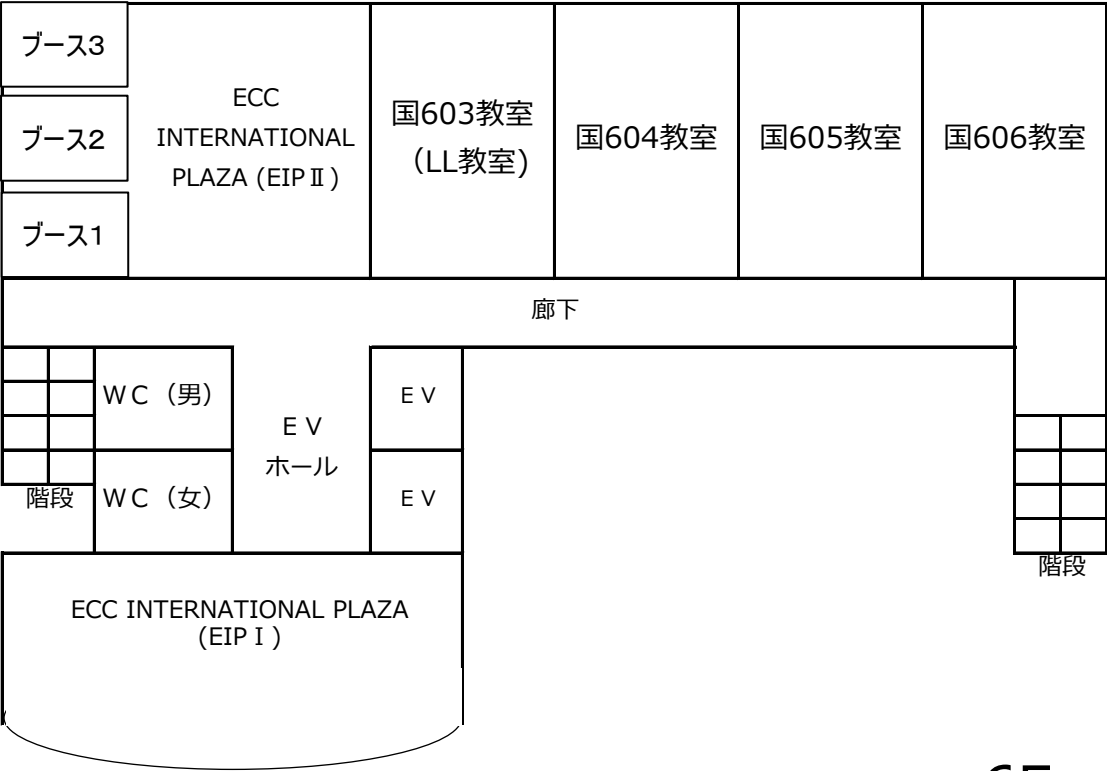
国際外語専門学校 1 号館 校舎案内図 3 F ・ 4 F



国際外語専門学校 1 号館 校舎案内図 5 F ・ 6 F

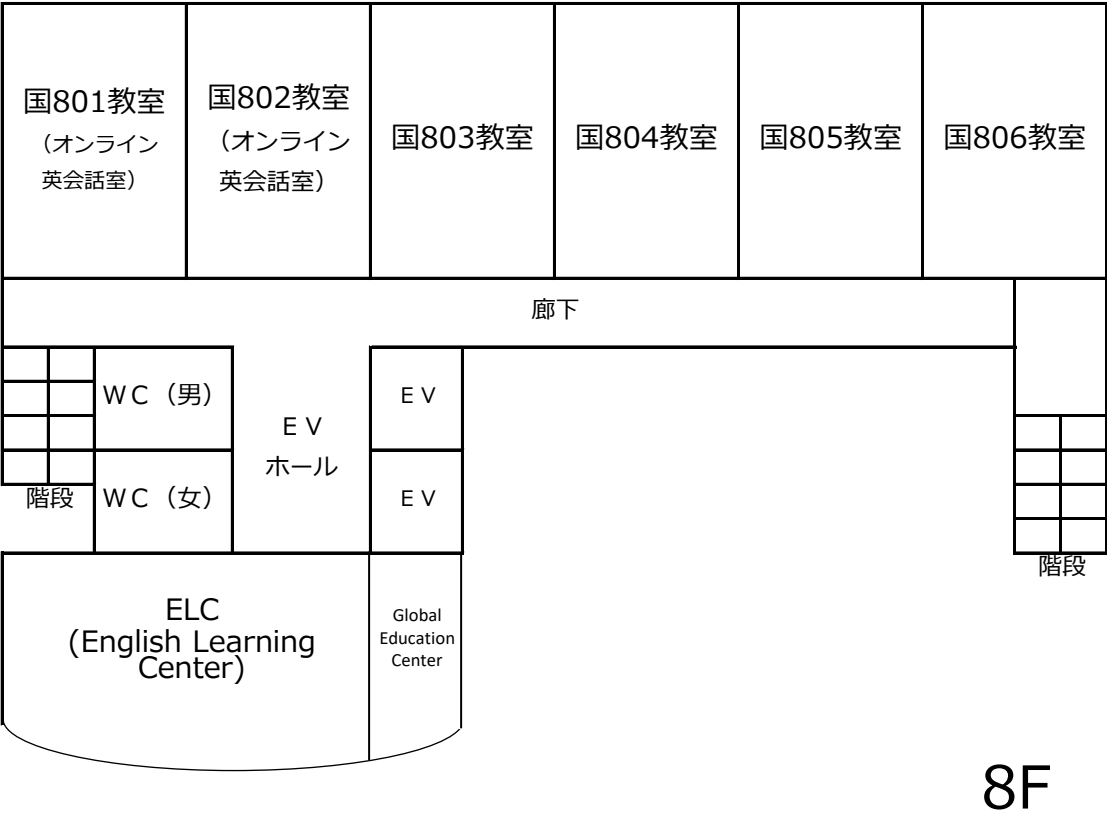
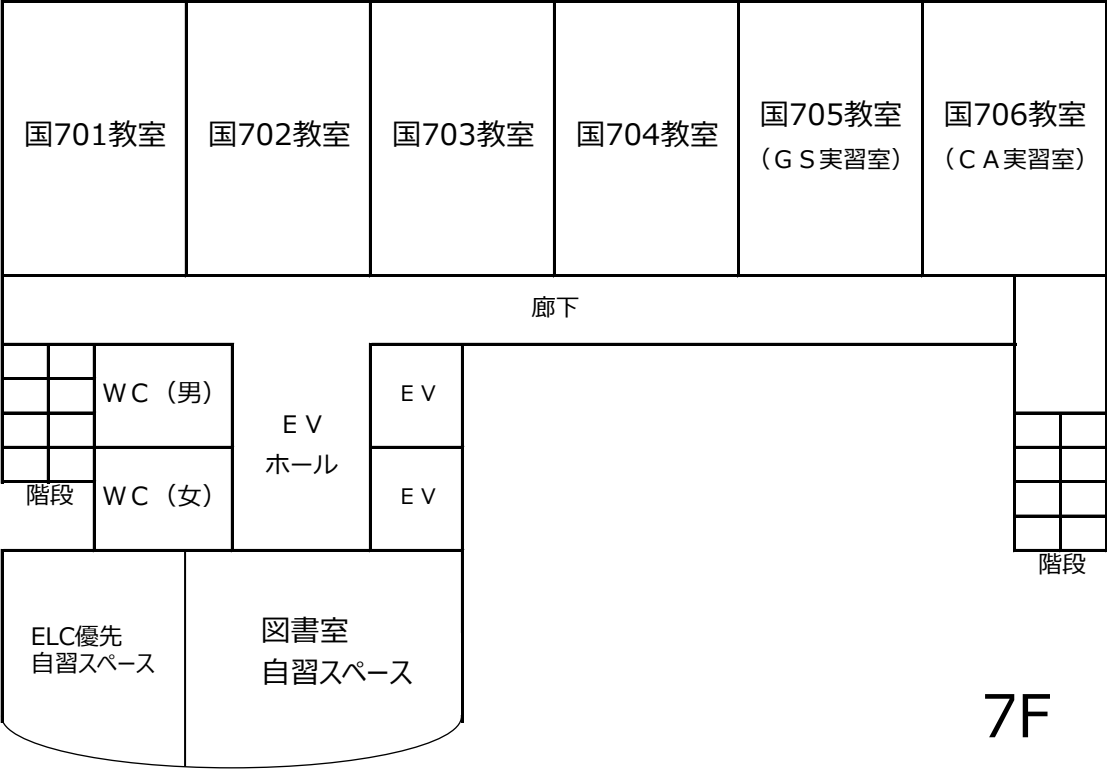


5 F

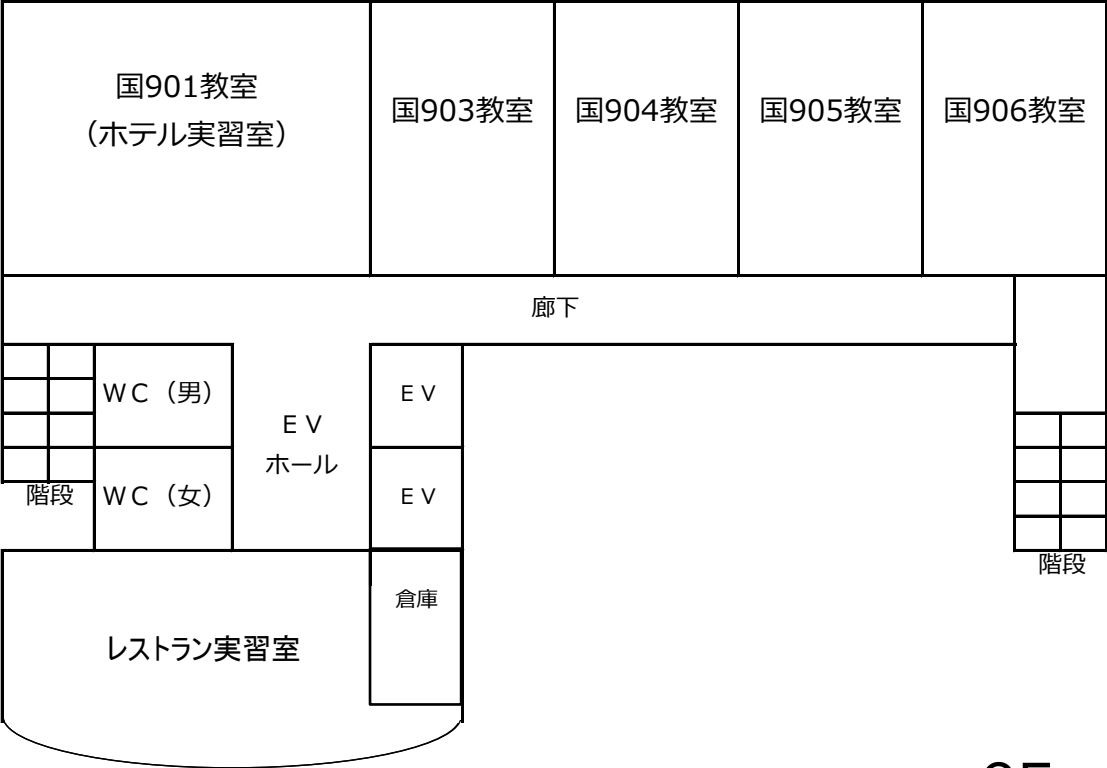


6 F

国際外語専門学校 1 号館 校舎案内図 7F・8F

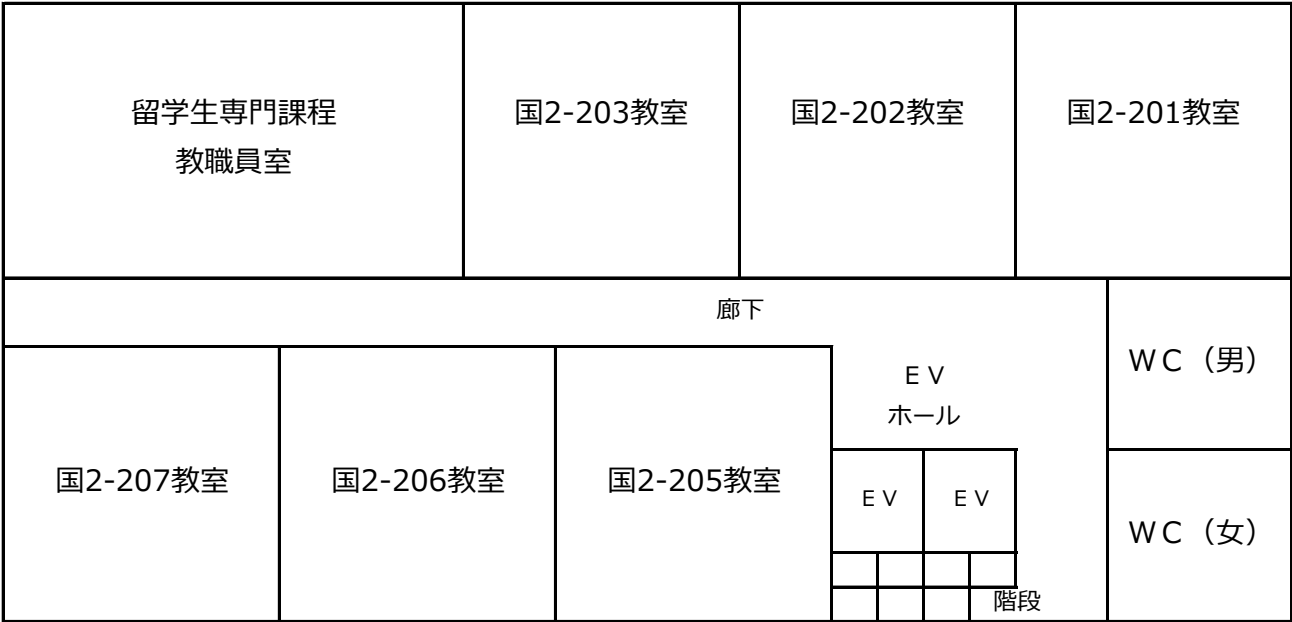


国際外語専門学校 1 号館 校舎案内図 9 F



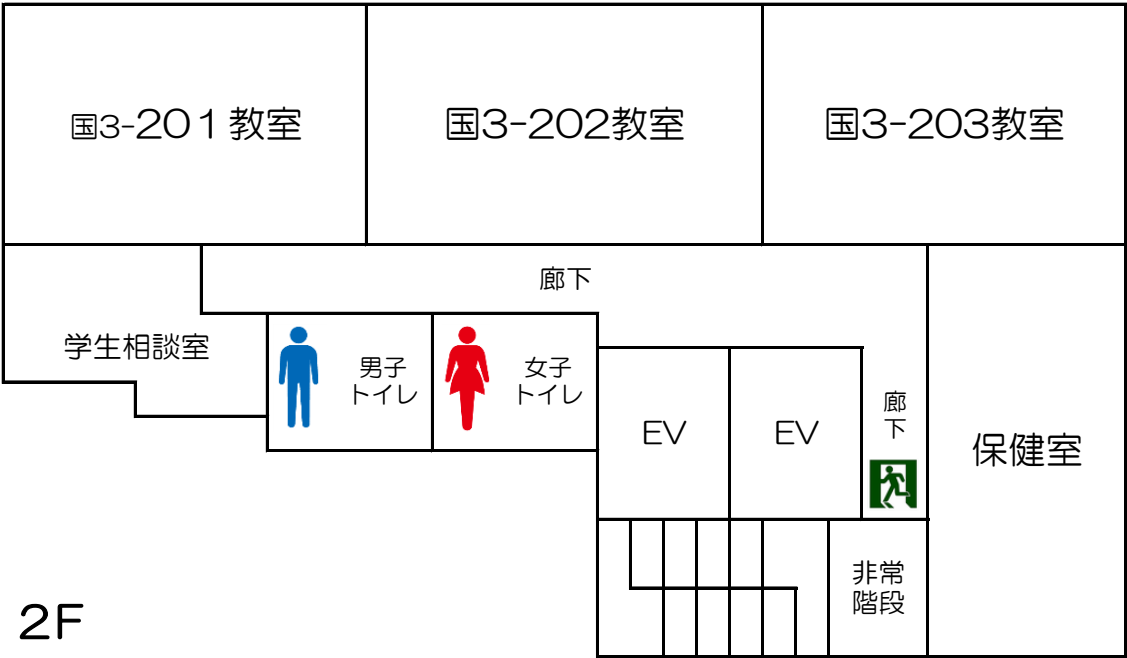
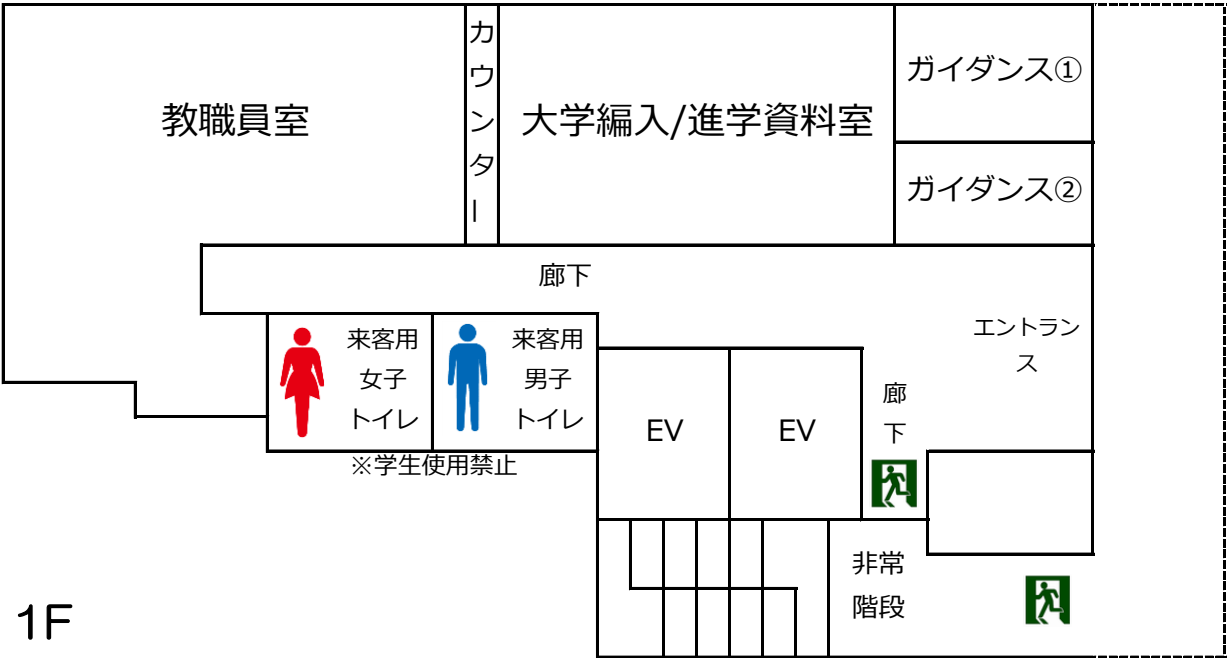
9F

国際外語専門学校 2 号館 校舎案内図 2F

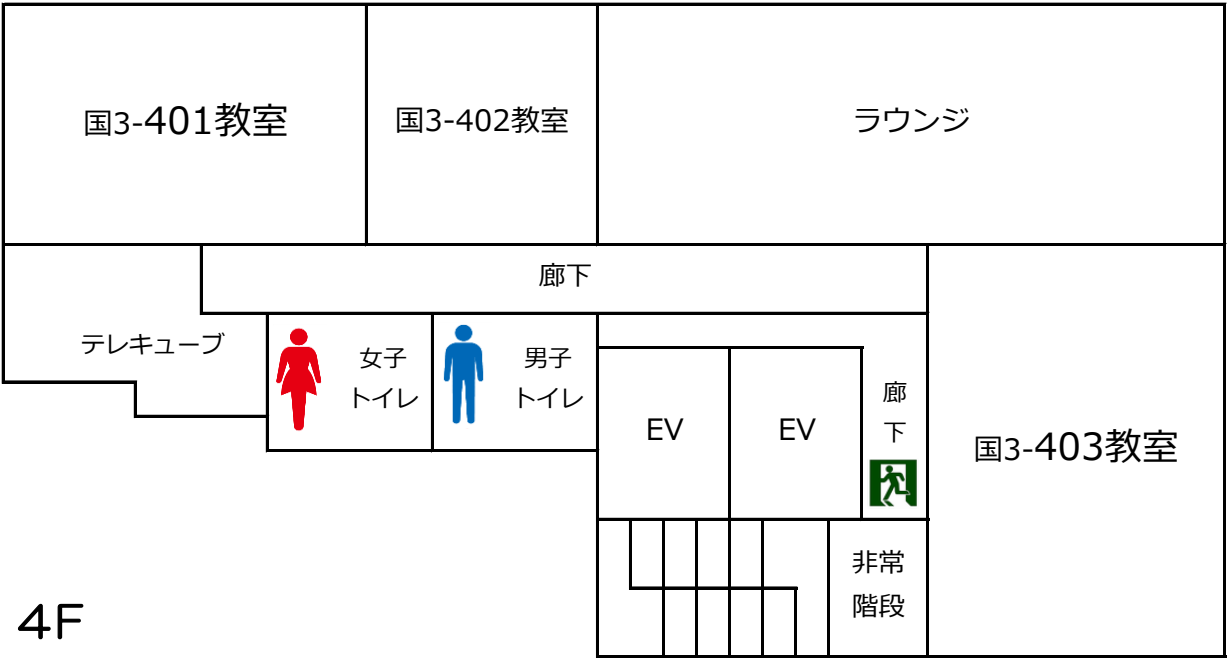
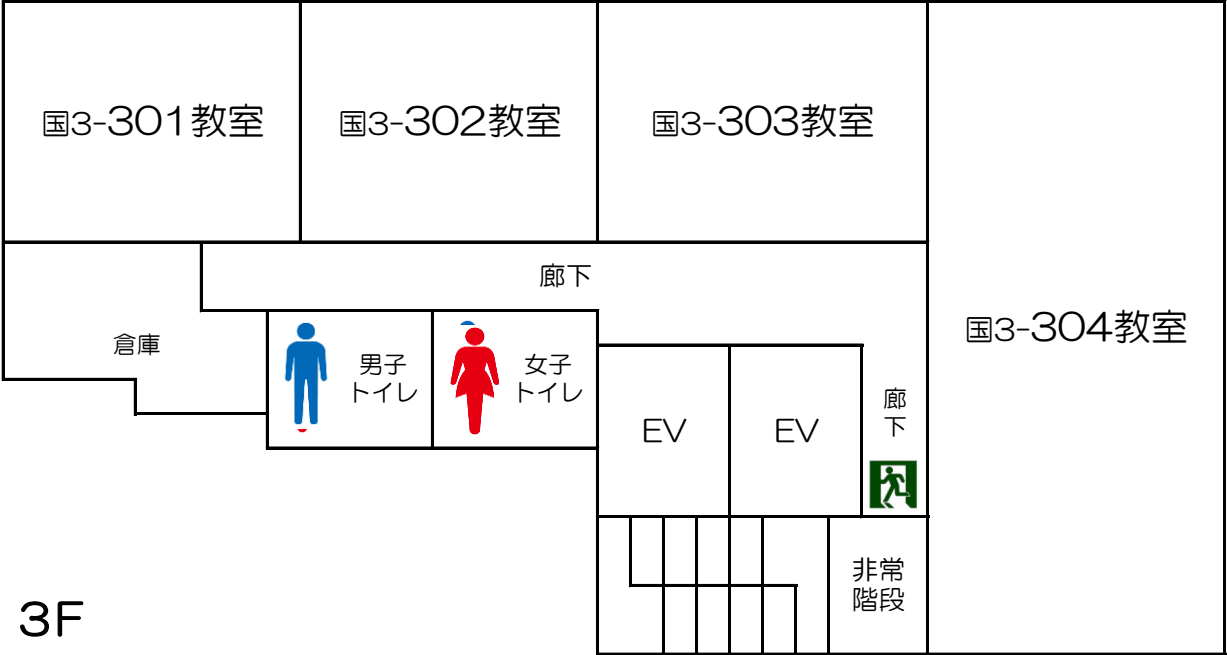


2F

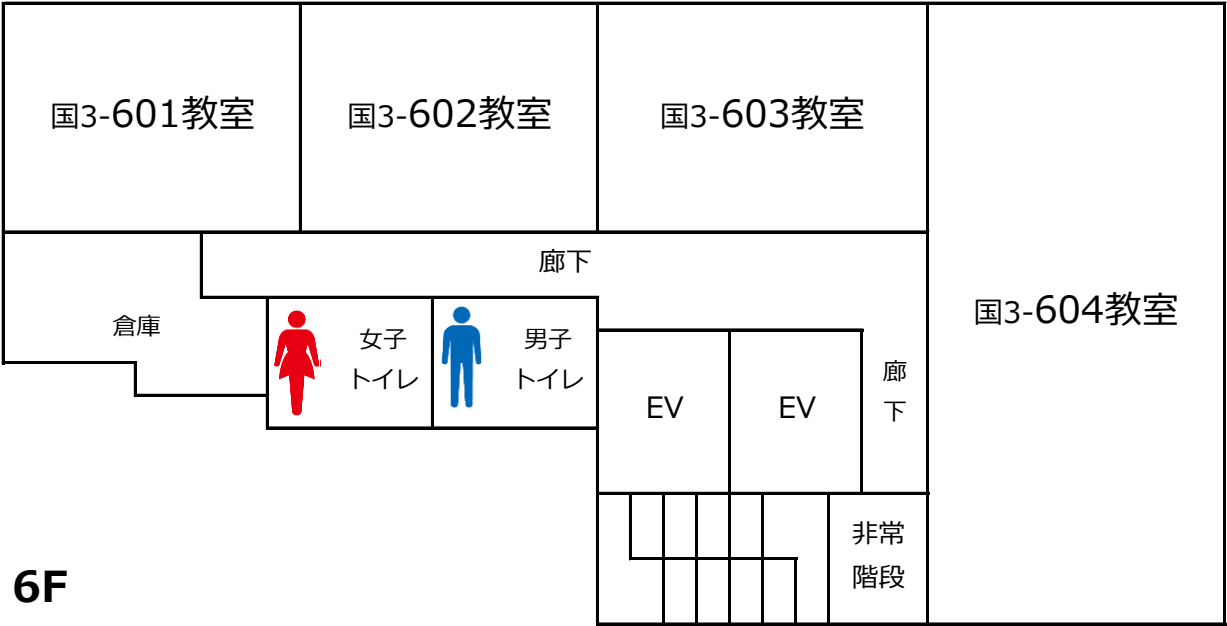
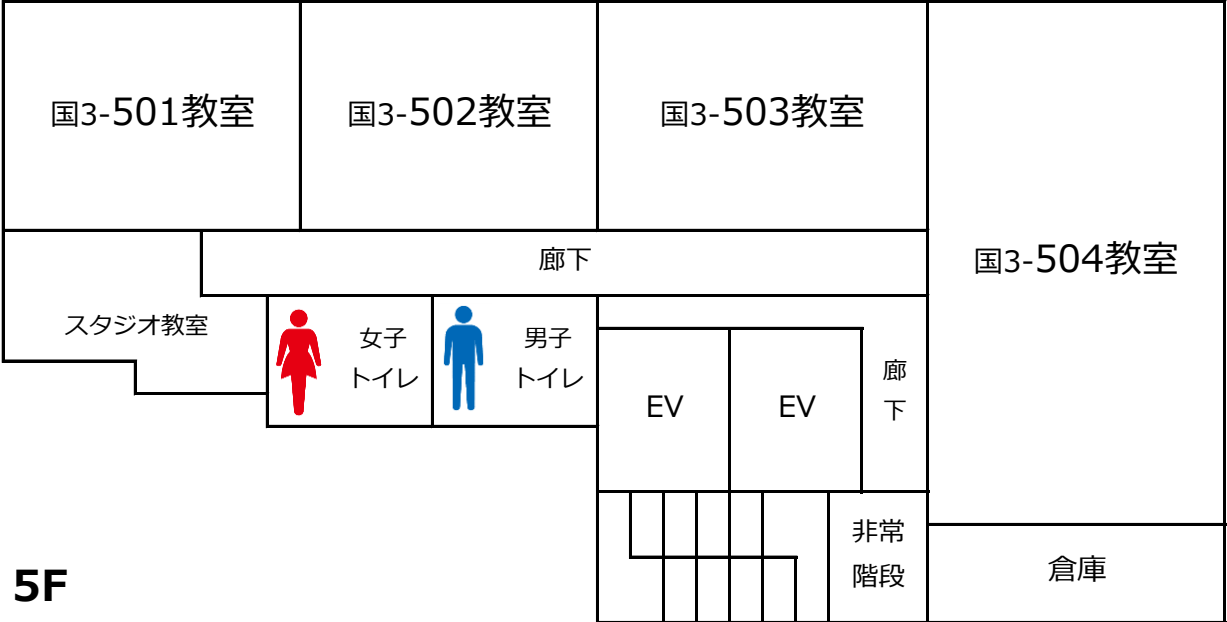
国際外語専門学校3号館 校舎案内図 1F・2F



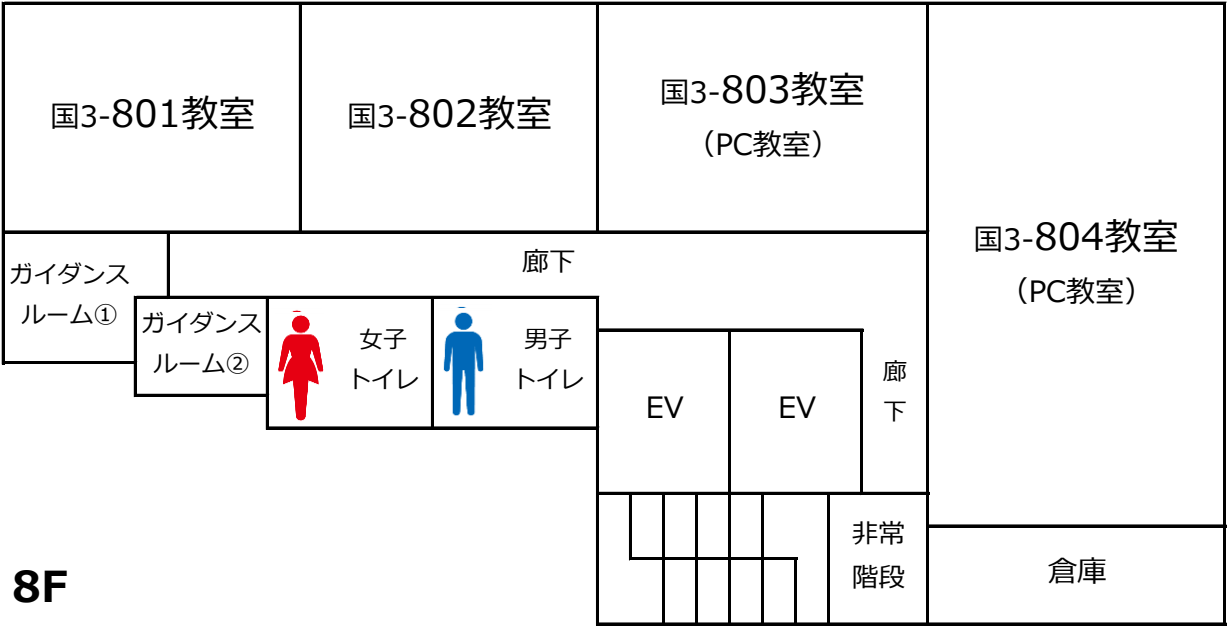
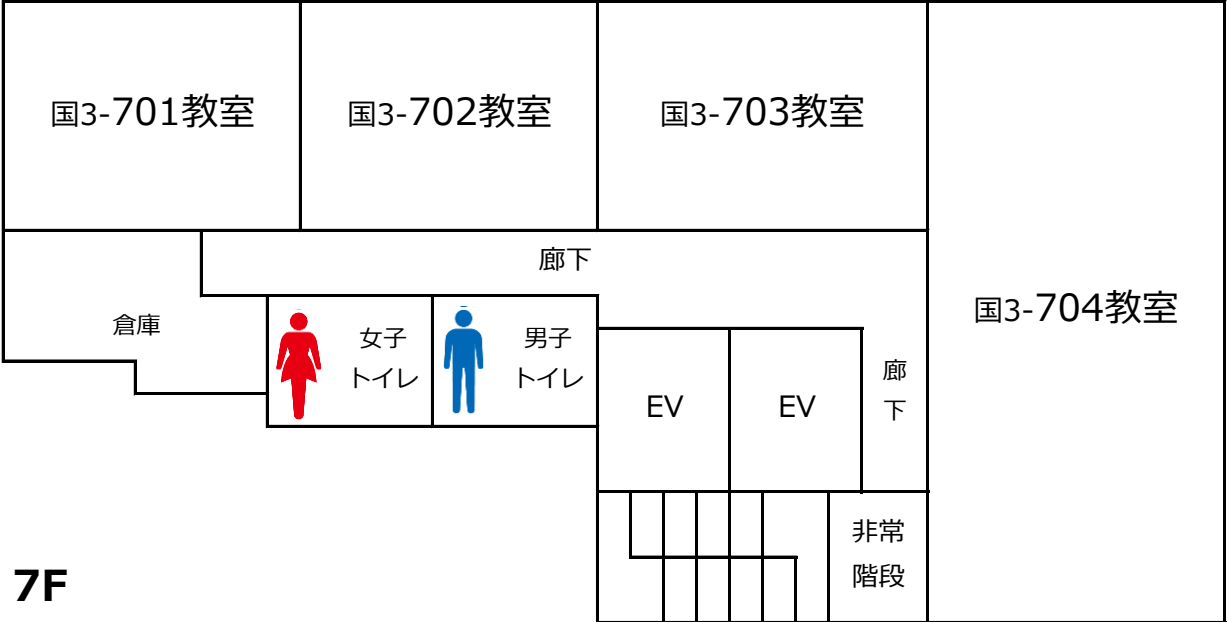
国際外語専門学校3号館 校舎案内図 3F・4F



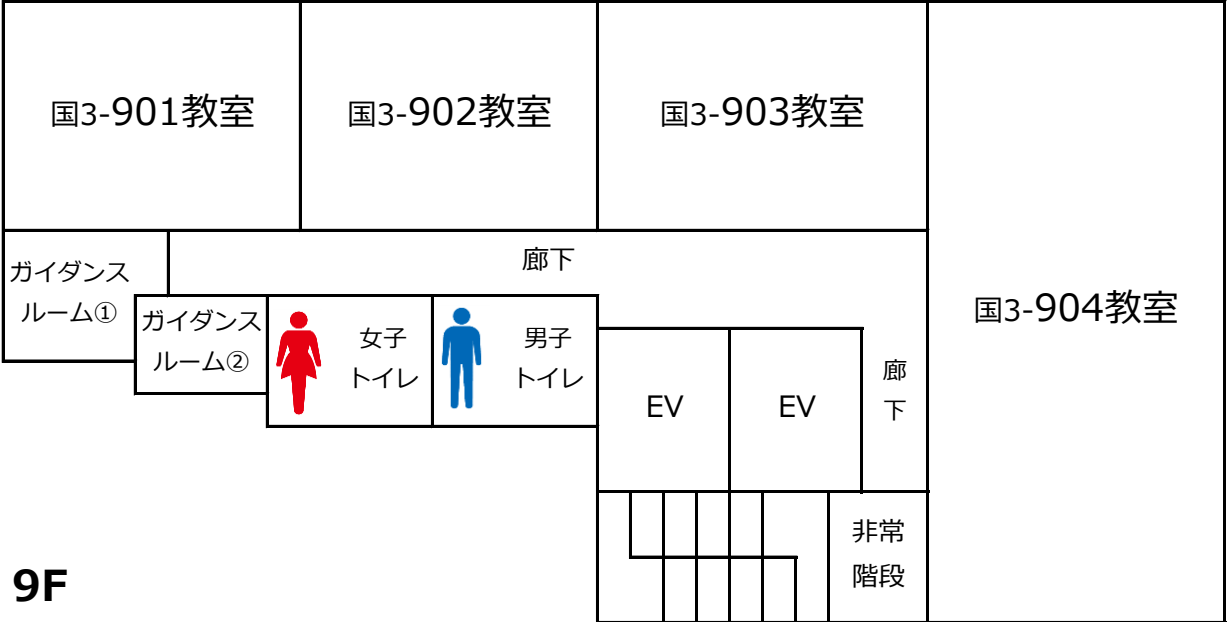
国際外語専門学校3号館 校舎案内図 5F・6F



国際外語専門学校3号館 校舎案内図 7F・8F



国際外語専門学校3号館 校舎案内図 9F



9F

年間スケジュール（年間スケジュールは今後変更の可能性があります）

2022年4月						
日程	授業	全体		進学指導センター（大学編入コース）	キャリアセンター	
		行事	試験			
4/1	金		新入生留学生オリエンテーション			
4/2	土					
4/3	日					
4/4	月					
4/5	火		入学式	入学式		
4/6	水		新入生ハンドブックオリエンテーション	新入生ハンドブックオリエンテーション		
4/7	木		新入生健康診断	新入生健康診断/産能オリエンテーション		
4/8	金		新入生コース別オリエンテーション	新入生コース別オリエンテーション		
4/9	土					
4/10	日					
4/11	月	①	前期授業開始	前期授業開始		
4/12	火	①				
4/13	水	①				
4/14	木	①				
4/15	金	①				
4/16	土		TOEIC①2年	TOEIC①2年		
4/17	日					
4/18	月	②				
4/19	火	②				
4/20	水	②				
4/21	木	②				
4/22	金	②		産能WEB試験期間		
4/23	土		TOEIC①1年	TOEIC①1年/産能WEB試験期間		
4/24	日			産能WEB試験期間		
4/25	月	③		産能WEB試験期間		
4/26	火	③		産能WEB試験期間		
4/27	水	③		産能WEB試験期間		
4/28	木	③		産能WEB試験期間		
4/29	金		[昭和の日]	[昭和の日]		
4/30	土					

年間スケジュール（年間スケジュールは今後変更の可能性があります）

2022年5月						
日程		授業	全体		進学指導センター（大学編入コース）	キャリアセンター
			行事	試験		
5/1	日					
5/2	月	④				
5/3	火		[憲法記念日]		[憲法記念日]	
5/4	水		[みどりの日]		[みどりの日]	
5/5	木		[こどもの日]		[こどもの日]	
5/6	金	③				
5/7	土					
5/8	日					
5/9	月	⑤				
5/10	火	④				
5/11	水	④				
5/12	木	④				
5/13	金	④				
5/14	土		英検突破講座希望者		英検突破講座希望者	
5/15	日					
5/16	月	⑥				
5/17	火	⑤				
5/18	水	⑤				
5/19	木	⑤				
5/20	金	⑤				
5/21	土		英検突破講座希望者		英検突破講座希望者	
5/22	日					
5/23	月	⑦				
5/24	火	⑥				
5/25	水	⑥				
5/26	木	⑥				
5/27	金	⑥				
5/28	土		英検突破講座希望者		英検突破講座希望者	
5/29	日					
5/30	月	⑧	中間評価		中間評価	
5/31	火		休講日/スポーツ大会		休講日/スポーツ大会	就職セミナー

年間スケジュール（年間スケジュールは今後変更の可能性があります）

2022年6月						
日程		授業	全体		進学指導センター（大学編入コース）	キャリアセンター
			行事	試験		
6/1	水	⑦				
6/2	木	⑦				
6/3	金	⑦				
6/4	土		1年保護者会		1年保護者会	
6/5	日		英検1次		英検1次	
6/6	月	⑨				
6/7	火	⑦				
6/8	水	⑧	中間評価		中間評価	
6/9	木	⑧	中間評価		中間評価	
6/10	金	⑧	中間評価		中間評価	
6/11	土					
6/12	日			サービス接遇検定		
6/13	月	⑩				
6/14	火	⑧	中間評価		中間評価	
6/15	水	⑨				
6/16	木	⑨				
6/17	金	⑨				
6/18	土					
6/19	日					
6/20	月	⑪				
6/21	火	⑨				
6/22	水	⑩				
6/23	木	⑩				
6/24	金	⑩			産能WEB試験期間	
6/25	土				産能WEB試験期間	
6/26	日				産能WEB試験期間	
6/27	月		休講日		休講日/産能WEB試験期間/2年中間ゼミ発表会	第1回就職ガイダンス
6/28	火	⑩			産能WEB試験期間	
6/29	水	⑪			産能WEB試験期間	
6/30	木	⑪			産能WEB試験期間	

年間スケジュール（年間スケジュールは今後変更の可能性があります）

2022年7月						
日程	授業		全体		進学指導センター（大学編入コース）	キャリアセンター
			行事	試験		
7/1	金	⑪				
7/2	土					
7/3	日		英検2次A日程		英検2次A日程	
7/4	月	⑫				
7/5	火	⑪				
7/6	水	⑫				
7/7	木	⑫				
7/8	金	⑫				
7/9	土					
7/10	日		英検2次B日程		英検2次B日程	
7/11	月	⑬				
7/12	火	⑫				
7/13	水	⑬			1年専攻説明会	
7/14	木	⑬				
7/15	金	⑬				
7/16	土		TOEIC②2年		TOEIC②2年	
7/17	日					
7/18	月		[海の日]スピコン学校大会		[海の日]スピコン学校大会	
7/19	火	⑬				
7/20	水	⑭				
7/21	木	⑭				
7/22	金	⑭				
7/23	土		TOEIC②1年		TOEIC②1年	
7/24	日					
7/25	月	⑭				
7/26	火	⑭				
7/27	水	⑮	期末試験		期末試験	
7/28	木	⑮	期末試験		期末試験	
7/29	金	⑮	期末試験		期末試験	
7/30	土					
7/31	日					

年間スケジュール（年間スケジュールは今後変更の可能性があります）

2022年8月					
日程	授業	全体		進学指導センター（大学編入コース）	キャリアセンター
		行事	試験		
8/1	月	⑮	期末試験	期末試験	
8/2	火	⑮	期末試験	期末試験	
8/3	水	予備	授業予備日	授業予備日/1年基礎ゼミ発表会	
8/4	木	予備	授業予備日	授業予備日	
8/5	金				アジア言語生企業研修&面談
8/6	土				
8/7	日				
8/8	月				
8/9	火				
8/10	水				
8/11	木		[山の日]	[山の日]	
8/12	金		閉館日	閉館日	
8/13	土		閉館日	閉館日	
8/14	日		閉館日	閉館日	
8/15	月		閉館日	閉館日	
8/16	火		閉館日	閉館日	
8/17	水		閉館日	閉館日	
8/18	木		閉館日	閉館日	
8/19	金		閉館日	閉館日/産能WEB試験期間	
8/20	土			産能WEB試験期間	
8/21	日			産能WEB試験期間	
8/22	月			2年前倒し授業/1年夏期講習/産能WEB試験期間	
8/23	火			2年前倒し授業/1年夏期講習/2年出願説明会/産能WEB試験期間	
8/24	水			2年前倒し授業/1年夏期講習/産能WEB試験期間	
8/25	木			2年前倒し授業/1年夏期講習/産能WEB試験期間	
8/26	金			2年前倒し授業/1年夏期講習	
8/27	土				
8/28	日				
8/29	月		TOEIC合宿	2年前倒し授業/1年夏期講習	
8/30	火		TOEIC合宿	2年前倒し授業/1年夏期講習	
8/31	水		TOEIC合宿	2年前倒し授業/1年夏期講習	

年間スケジュール（年間スケジュールは今後変更の可能性があります）

2022年9月						
日程	授業	全体		進学指導センター（大学編入コース）	キャリアセンター	
		行事	試験			
9/1	木	TOEIC合宿		2年前倒し授業/1年夏期講習		
9/2	金	TOEIC合宿		2年前倒し授業/1年夏期講習		
9/3	土			2年保護者会		
9/4	日					
9/5	月	SIC		SIC/2年前倒し授業	就職面談/筆記試験対策	
9/6	火	SIC		SIC/2年前倒し授業	就職面談/筆記試験対策	
9/7	水	SIC		SIC/2年前倒し授業	就職面談/筆記試験対策	
9/8	木	SIC		SIC/2年前倒し授業	就職面談/筆記試験対策	
9/9	金	SIC		SIC/2年前倒し授業	就職面談/筆記試験対策	
9/10	土					
9/11	日					
9/12	月	SIC		SIC/2年前倒し授業	就職面談/筆記試験対策	
9/13	火	SIC		SIC/2年前倒し授業	就職面談/筆記試験対策	
9/14	水	SIC		SIC/2年前倒し授業	就職面談/筆記試験対策	
9/15	木	SIC		SIC/2年前倒し授業	就職面談/筆記試験対策	
9/16	金	SIC		SIC/2年前倒し授業	就職面談/筆記試験対策	
9/17	土					
9/18	日	学内杯		学内杯		
9/19	月	[敬老の日]		[敬老の日]		
9/20	火					
9/21	水					
9/22	木	後期オリエンテーション		後期オリエンテーション		
9/23	金	[秋分の日]		[秋分の日]		
9/24	土					
9/25	日					
9/26	月	① 後期授業開始		後期授業開始		
9/27	火	①				
9/28	水	①				
9/29	木	①				
9/30	金	①				

年間スケジュール（年間スケジュールは今後変更の可能性があります）

2022年10月						
日程		授業	全体		進学指導センター（大学編入コース）	キャリアセンター
			行事	試験		
10/1	土		英検突破講座希望者		英検突破講座希望者	
10/2	日					
10/3	月	②				
10/4	火	②				
10/5	水	②				
10/6	木	②				
10/7	金	②				
10/8	土		英検突破講座希望者		英検突破講座希望者	
10/9	日		英検1次		英検1次	
10/10	月		【スポーツの日】		【スポーツの日】	
10/11	火	③				
10/12	水	③				
10/13	木	③				
10/14	金	③			産能WEB試験期間	
10/15	土				産能WEB試験期間	
10/16	日				産能WEB試験期間	
10/17	月	③			産能WEB試験期間	
10/18	火	④			2年中間評価/産能WEB試験期間	
10/19	水	④			2年中間評価/産能WEB試験期間	
10/20	木	④			2年中間評価/産能WEB試験期間	
10/21	金		休講日		休講日	第2回就職ガイダンス
10/22	土		TOEIC③2年		TOEIC③2年	
10/23	日					
10/24	月	④			2年中間評価	
10/25	火	⑤				
10/26	水	⑤				
10/27	木	⑤				
10/28	金	④			2年中間評価	
10/29	土		TOEIC③1年		TOEIC③1年	
10/30	日					
10/31	月	⑤				

年間スケジュール（年間スケジュールは今後変更の可能性があります）

2022年11月						
日程	授業		全体		進学指導センター（大学編入コース）	キャリアセンター
			行事	試験		
11/1	火	⑥				
11/2	水	⑥				
11/3	木		[文化の日]校友会		[文化の日]校友会	
11/4	金	⑤				
11/5	土			サービス接遇検定		
11/6	日		英検2次A日程		英検2次A日程	
11/7	月	⑥				
11/8	火		休講日		休講日	
11/9	水	⑦				
11/10	木	⑥				
11/11	金	⑥				
11/12	土					
11/13	日		英検2次B日程		英検2次B日程	
11/14	月	⑦				
11/15	火	⑦				
11/16	水	⑧	中間評価		1年中間評価	
11/17	木	⑦				
11/18	金	⑦				
11/19	土					就職保護者会(Web)
11/20	日					
11/21	月	⑧	中間評価		1年中間評価	
11/22	火	⑧	中間評価		1年中間評価	
11/23	水		[勤労感謝の日]		[勤労感謝の日]	
11/24	木	⑧	中間評価		1年中間評価	
11/25	金	⑧	中間評価		1年中間評価	
11/26	土		1年保護者会			
11/27	日					
11/28	月	⑨				
11/29	火	⑨				
11/30	水	⑨				

年間スケジュール（年間スケジュールは今後変更の可能性があります）

2022年12月					
日程	授業	全体		進学指導センター（大学編入コース）	キャリアセンター
		行事	試験		
12/1	木	㊟			
12/2	金	㊟		産能WEB試験期間	
12/3	土			産能WEB試験期間	
12/4	日			産能WEB試験期間	
12/5	月	㊟		産能WEB試験期間	
12/6	火	㊟		産能WEB試験期間	
12/7	水	㊟		産能WEB試験期間	
12/8	木	㊟		産能WEB試験期間	
12/9	金	㊟		2年前倒し終了	
12/10	土		GEA学校大会	GEA学校大会	
12/11	日				
12/12	月	㊟			
12/13	火	㊟			
12/14	水	㊟			
12/15	木	㊟			
12/16	金	㊟	年内最終授業日	年内最終授業	
12/17	土				
12/18	日				
12/19	月		前夜祭	前夜祭	
12/20	火		地球祭	地球祭	
12/21	水				
12/22	木				
12/23	金				
12/24	土		閉館日	閉館日	
12/25	日		閉館日	閉館日	
12/26	月		閉館日	閉館日	
12/27	火		閉館日	閉館日	
12/28	水		閉館日	閉館日	
12/29	木		閉館日	閉館日	
12/30	金		閉館日	閉館日	
12/31	土		閉館日	閉館日	

年間スケジュール（年間スケジュールは今後変更の可能性があります）

2023年1月						
日程		授業	全体		進学指導センター（大学編入コース）	キャリアセンター
			行事	試験		
1/1	日		閉館日		閉館日	
1/2	月		閉館日		閉館日	
1/3	火		閉館日		閉館日	
1/4	水		閉館日		閉館日	
1/5	木					
1/6	金	⑫	授業再開		授業再開	
1/7	土					
1/8	日					
1/9	月		[成人の日]		[成人の日]	
1/10	火	⑫				
1/11	水	⑫				
1/12	木	⑫				
1/13	金	⑬				
1/14	土		TOEIC④1年		TOEIC④1年	
1/15	日					
1/16	月	⑫				
1/17	火	⑬				
1/18	水	⑬				
1/19	木	⑬				
1/20	金	⑭				
1/21	土		TOEIC④2年		TOEIC④2年	
1/22	日		英検1次		英検1次	
1/23	月	⑬				
1/24	火	⑭				
1/25	水	⑭				
1/26	木	⑭				
1/27	金		休講日		休講日	第3回就職ガイダンス/写真撮影
1/28	土					
1/29	日					
1/30	月	⑭				
1/31	火	⑮	期末試験		期末試験	

年間スケジュール（年間スケジュールは今後変更の可能性があります）

2023年2月						
日程		授業	全体		進学指導センター（大学編入コース）	キャリアセンター
			行事	試験		
2/1	水	⑮	期末試験		期末試験	
2/2	木	⑮	期末試験		期末試験	
2/3	金	⑮	期末試験		期末試験/産能WEB試験期間/2年合格祝賀会	
2/4	土				産能WEB試験期間	
2/5	日				産能WEB試験期間	
2/6	月	⑮	期末試験		期末試験/産能WEB試験期間	
2/7	火	予備	授業予備日		授業予備日/産能WEB試験期間	
2/8	水	予備	授業予備日		授業予備日/産能WEB試験期間	
2/9	木		GEA		GEA/産能WEB試験期間	
2/10	金					
2/11	土		〔建国記念の日〕		〔建国記念の日〕 1年保護者会	
2/12	日			サービス接遇検定		
2/13	月		SPIC		1年春期講習	履歴書写真撮影(予備日)
2/14	火		SPIC		1年春期講習	学内説明会/対策講座
2/15	水		SPIC		1年春期講習	学内説明会/対策講座
2/16	木		SPIC		1年春期講習	学内説明会/対策講座
2/17	金		SPIC		1年春期講習	学内説明会/対策講座
2/18	土					
2/19	日		英検2次A日程		英検2次A日程	
2/20	月		SPIC			学内説明会/対策講座
2/21	火		SPIC			学内説明会/対策講座
2/22	水		SPIC			学内説明会/対策講座
2/23	木		〔天皇誕生日〕		〔天皇誕生日〕	
2/24	金		SPIC			学内説明会/対策講座
2/25	土					
2/26	日		英検2次B日程		英検2次B日程	
2/27	月				研究発表会/先輩後輩交流会	
2/28	火				1年春期講習	

年間スケジュール（年間スケジュールは今後変更の可能性があります）

2023年3月						
日程		授業	全体		進学指導センター（大学編入コース）	キャリアセンター
			行事	試験		
3/1	水				1年春期講習	学内説明会/対策講座
3/2	木				1年春期講習	学内説明会/対策講座
3/3	金				1年春期講習	学内説明会/対策講座
3/4	土					
3/5	日					
3/6	月				1年春期講習	学内説明会/対策講座
3/7	火				1年春期講習	学内説明会/対策講座
3/8	水		卒業式		卒業式	
3/9	木				1年春期講習	学内説明会/対策講座
3/10	金				1年春期講習	学内説明会/対策講座
3/11	土					
3/12	日					
3/13	月				1年春期講習	学内説明会/対策講座
3/14	火				1年春期講習	学内説明会/対策講座
3/15	水				1年春期講習	学内説明会/対策講座
3/16	木				1年春期講習	学内説明会/対策講座
3/17	金				1年春期講習	学内説明会/対策講座
3/18	土					
3/19	日					
3/20	月				1年春期講習	学内説明会/対策講座
3/21	火		[春分の日]		[春分の日]	
3/22	水				1年春期講習	
3/23	木					
3/24	金					
3/25	土					
3/26	日					
3/27	月					
3/28	火					
3/29	水					
3/30	木					
3/31	金					

ECC国際外語専門学校 学科・コース一覧

学科	コース	専攻	学年	クラス略称
アジア言語	アジア言語	韓国語	1	AGk1
アジア言語	アジア言語	韓国語	2	AGk2
エアライン	エアライン	キャビンアテンダント	1	ALc1
エアライン	エアライン	グランドスタッフ	1	ALg1
エアライン	エアライン	キャビンアテンダント	2	ALc2
エアライン	エアライン	グランドスタッフ	2	ALg2
国際ビジネス	大学編入		1	DH1
国際ビジネス	大学編入	言語文化	1	DHgb1
国際ビジネス	大学編入	国際関係	1	DHkk1
国際ビジネス	大学編入	政治学・政策学	1	DHss1
国際ビジネス	大学編入	法学	1	DHh1
国際ビジネス	大学編入	社会学	1	DHsk1
国際ビジネス	大学編入	心理学	1	DHsr1
国際ビジネス	大学編入	経済学	1	DHkz1
国際ビジネス	大学編入	経営学	1	DHke1
国際ビジネス	大学編入	言語文化	2	DHgb2
国際ビジネス	大学編入	国際関係	2	DHkk2
国際ビジネス	大学編入	政治学・政策学	2	DHss2
国際ビジネス	大学編入	法学	2	DHh2
国際ビジネス	大学編入	社会学	2	DHsk2
国際ビジネス	大学編入	心理学	2	DHsr2
国際ビジネス	大学編入	経済学	2	DHkz2
国際ビジネス	大学編入	経営学	2	DHke2
グローバル	国際ビジネス	国際貿易	1	KBkb1
グローバル	国際ビジネス	国際物流・通関士	1	KBut1
グローバル	グローバルビジネス		1	GB1
グローバル	グローバルホテル		1	GH1
グローバル	総合英語	総合英語	1	SE1
国際ビジネス	国際ビジネス	国際貿易	2	KBkb2
国際ビジネス	国際ビジネス	国際物流・通関士	2	KBut2
国際ビジネス	国際ビジネス	グローバルビジネス	2	KBgb2
国際ビジネス	国際ビジネス	グローバルホテル	2	KBgh2

学科	コース	専攻	学年	クラス略称
こども教育研究	こども教育	保育士・幼稚園教諭	1	KEh1
こども教育研究	こども教育	保育士・幼稚園教諭・留学	2	KEh2
こども教育研究	こども教育	保育士・幼稚園教諭・留学	3	KEh3
こども教育研究	こども教育	保育士・幼稚園教諭・留学	4	KEh4
総合英語	総合英語	総合英語	2	SEs2
総合英語	総合英語	語学留学	2	SEg2
ホテル・観光	トラベル		2	TR2
ホテル・観光	ホテル		2	HT2
国際キャリア	海外インターンシップ	エアライン	1	IAL1
国際キャリア	海外インターンシップ	ホテル	1	IHT1
国際キャリア	海外インターンシップ	総合英語	1	ISE1
国際キャリア	国際エアライン		1	KAL1
国際キャリア	国際ホテル		1	KHT1
国際キャリア	グローバル英語		1	GE1
国際キャリア	グローバル英語		2	GE2
国際キャリア	海外インターンシップ	エアライン	2	IAL2
国際キャリア	海外インターンシップ	ホテル	2	IHT2
国際キャリア	国際エアライン		2	KAL2
国際キャリア	国際エアライン		3	KAL3
国際キャリア	海外インターンシップ	エアライン	3	IAL3
国際キャリア	海外インターンシップ	ホテル	3	IHT3
国際キャリア	海外インターンシップ	総合英語	3	ISE3

